



令和3(2021)年度 学生による授業評価アンケート 分析報告書

令和4年 12月 1日

國學院大學

教育開発推進機構 教育開発センター

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

令和3年度『学生による授業評価アンケート分析報告書』巻頭言

教育開発推進機構長 石川則夫

教職員の方々におかれましては常日頃から教育開発推進機構・教育開発センターへ多々ご協力、ご支援を賜りまして誠に有難うございます。

令和3（2021）年度の学生による授業評価アンケート分析報告書をお届けいたします。個々の授業の集計結果につきましては、本学のLMSである「K-SMAPYⅡ」を通して当該授業担当の先生方が閲覧可能となっておりますが、こちらの報告書は、全体の傾向を集計・分析した内容となります。

授業評価アンケートの実施結果は、先生方にとってご担当授業の成果のひとつともなりますので、ご参照の上、受講生からの反応についてご検討いただき、今後の授業の展開方法について考える上で、役立ていただければ幸いです。

今年で3年目に入った新型コロナ感染状況は、この秋以降やや落ち着いた状況に見えますが、これから冬を迎えて、第8波などという事態になるのかが心配されます。授業担当の先生方にはご心労いかばかりかと推察申し上げますが、教育開発センターといたしましても事態を注視し、必要な準備は怠りなく努めて行きたいと存じます。

さて、先生方には先刻ご承知のように令和4年度は大学評価（認証評価）を受ける年度にあたりまして、この10月には、2日間の実地調査を受けたところであります。教育開発推進機構への個別質問も受けたところ、特にFD研修活動について質疑がありました。全学的な規模で実施するFD研修も重要ですが、一つの授業改善もまた重要な課題と再認識した次第です。その際の基礎的なデータとなるのが、この授業評価アンケート結果の分析データとなります。どうか学生による授業評価アンケートの実施につきましてご理解を賜りまして、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

目次

令和3年度『学生による授業評価アンケート分析報告書』巻頭言	1
1. 調査の概要	4
1-1 調査目的	5
1-2 調査方法	5
1-3 調査対象科目	5
1-4 調査期間	5
1-5 回答率	6
1-6 回答した学生の内訳	6
1-7 設問項目	7
2. 前期集計結果	9
2-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)[設問 1～18] ※設問 16 は4章で扱うため除外	10
3. 考察(1)設問間のクロス表分析(前期)	23
○授業の実施形態に対する学生の反応について	
1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q17・Q18)	24
2. 1回あたりの授業時間(配信時間)に対する学生の反応(Q10×Q11)	34
3. 授業時間(配信時間)の長さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q11×Q17・Q18)	35
4. 課題の量の多さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q12×Q17・Q18)	36
5. 予習・復習・課題にかけた時間が、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q16×Q17・Q18)	37
○学生の達成度・総合満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証	
1. 教員による授業前の明確な指示・説明がなされていたか(Q2×Q17・Q18)	38
2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q4×Q17・Q18)	39
3. 教員はスムーズに授業を進行できていたか(Q5×Q17・Q18)	40
4. 教員が提供した教材は理解の助けになったか(Q6×Q17・Q18)	41
5. 授業における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q7×Q17・Q18)	42
6. 課題や小テストによる理解の定着を図っていたか(Q8×Q17・Q18)	43
7. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q9×Q17・Q18)	44
8. 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていたか(Q13×Q17・Q18)	45
9. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q14×Q17・Q18)	46
4. 考察(2)本学学士課程学生の学修時間の現状(前期)	47
4-1 学士課程全体における学修時間の分布	48
4-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布	49
4-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	50
4-4 回答学生の所属学部×学年別に見た学修時間の分布	51
4-5 回答学生の学年×所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	52
5. 自由記述設問の検討(前期)	56
5-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係	57
5-2 代表的な肯定的意見	58
5-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係	59
5-4 代表的な消極的意見	60

6. 後期集計結果	61
6-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)[設問 1～18] ※設問 16 は4章で扱うため除外	62
7. 考察(1)設問間のクロス表分析(後期)	75
○授業の実施形態に対する学生の反応について	
1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q17・Q18)	76
2. 1回あたりの授業時間(配信時間)に対する学生の反応(Q10×Q11)	86
3. 授業時間(配信時間)の長さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q11×Q17・Q18)	87
4. 課題の量の多さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q12×Q17・Q18)	88
5. 予習・復習・課題にかけた時間が、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q16×Q17・Q18)	89
○学生の達成度・総合満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証	
1. 教員による授業前の明確な指示・説明がなされていたか(Q2×Q17・Q18)	90
2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q4×Q17・Q18)	91
3. 教員はスムーズに授業を進行できていたか(Q5×Q17・Q18)	92
4. 教員が提供した教材は理解の助けになったか(Q6×Q17・Q18)	93
5. 授業における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q7×Q17・Q18)	94
6. 課題や小テストによる理解の定着を図っていたか(Q8×Q17・Q18)	95
7. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q9×Q17・Q18)	96
8. 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていたか(Q13×Q17・Q18)	97
9. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q14×Q17・Q18)	98
8. 考察(2)本学学士課程学生の学修時間の現状(後期)	99
8-1 学士課程全体における学修時間の分布	100
8-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布	101
8-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	102
8-4 回答学生の所属学部×学年別に見た学修時間の分布	103
8-5 回答学生の学年×所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	104
9. 自由記述設問の検討(後期)	108
9-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係	109
9-2 代表的な肯定的意見	110
9-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係	111
9-4 代表的な消極的意見	112
10. 教員ベスト30(専任・兼任教員) ～到達目標達成度・総合満足度に基づく～	113
11. 全体総括(まとめ)	116
資料編	126
集計データ	127
奥付	153

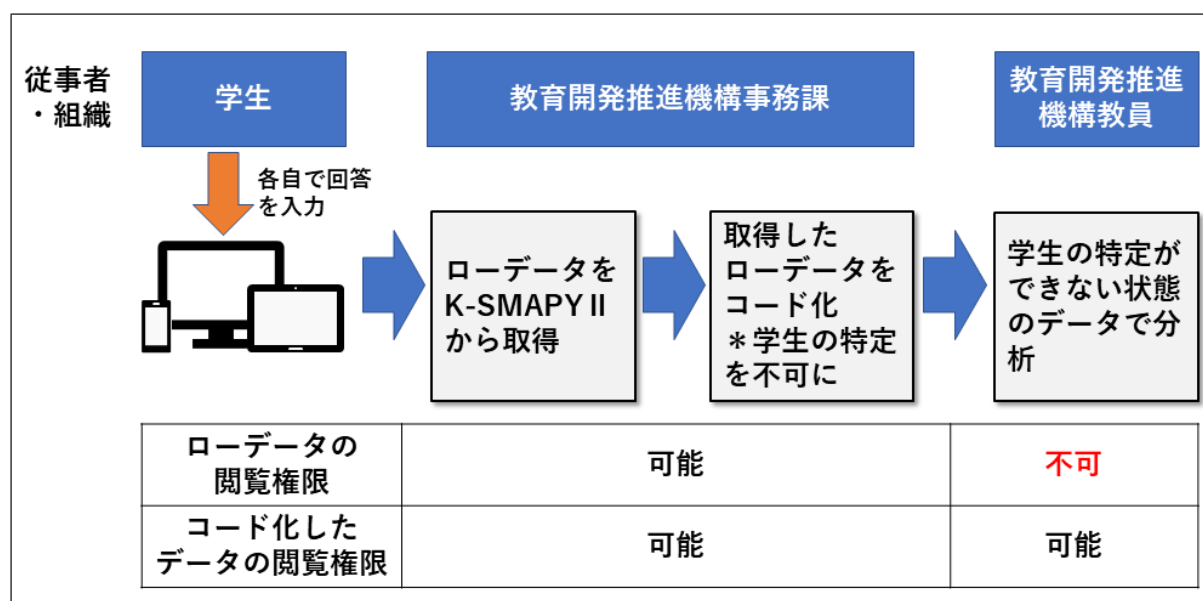
1. 調査の概要

1-1 調査目的

「学生による授業評価アンケート」は、本学学生の授業に対する取り組みの実態を把握し、授業改善の基礎資料とすること、さらには基礎資料の活用により教員に自らの授業運営を振り返る機会を提供することで、学修効果を改善させ、本学学士課程教育の質保証を達成することを目的とする。

1-2 調査方法

- 本学の学生支援システムであるK-SMAPY IIを用いて、WEB上で実施
- K-SMAPY IIでの実施に伴い配慮すべき学生に関する個人情報の管理については、教育開発センター委員会での議論に従い、細心の注意を払う体制を構築する。
- 具体的な調査手順、体制は、以下のとおり。



「学生による授業評価アンケート」実施方法と、各課職員および教員の役割

1-3 調査対象科目

原則、全授業科目を対象とするが、下記の授業科目については調査・分析対象から除外した。

- 卒業論文指導科目
- 政治インターンシップ
- インターンシップⅡ
- 教育実習ⅠB(事後指導)
- 博物館実習Ⅲ(実地見学)
- 保育実習
- 認定科目
- 神道学専攻科・別科の科目
- 履修登録者数10名以下の科目
- その他、サマーセッション等の集中講義科目

1-4 調査期間

前期： 令和3年 6月29日(火) ～ 令和3年 7月20日(火)
後期： 令和3年12月17日(金) ～ 令和4年 1月24日(月)

1-5 回答率

前期回答件数	23,789件
前期履修登録者数	96,453件
前期回答率	24.7%

後期回答件数	13,332件
後期履修登録者数	85,147件
後期回答率	15.7%

1-6 回答した学生の内訳

【前期】

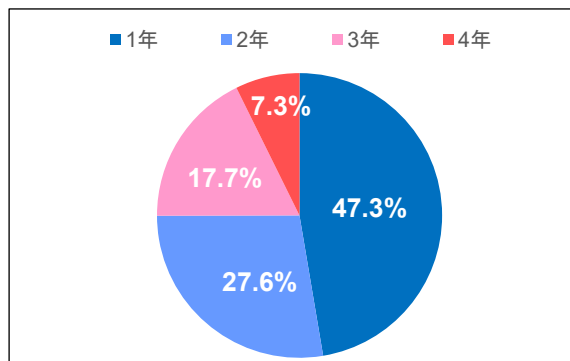
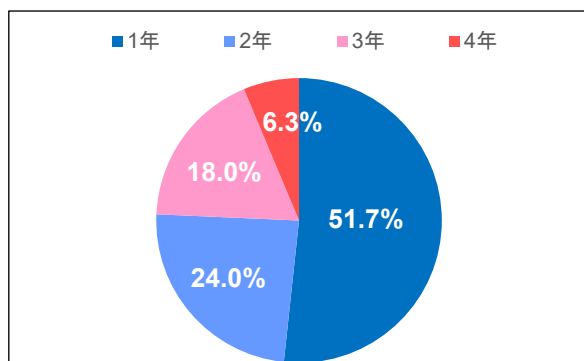
回答した学生の学年

1年生	12,289件
2年生	5,717件
3年生	4,291件
4年生	1,492件

回答した学生の所属学部

文学部	8,639件
法学部	4,448件
経済学部	4,610件
神道文化学部	2,360件
人間開発学部	3,644件
専攻科	88件

n=23,789



【後期】

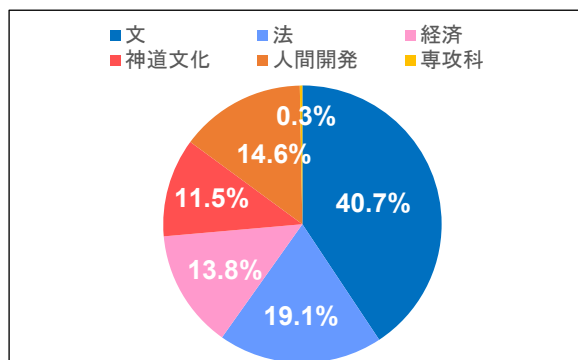
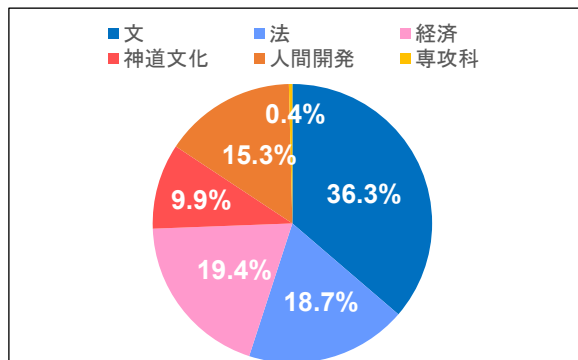
回答した学生の学年

1年生	6,309件
2年生	3,682件
3年生	2,363件
4年生	978件

回答した学生の所属学部

文学部	5,425件
法学部	2,542件
経済学部	1,846件
神道文化学部	1,537件
人間開発学部	1,944件
専攻科	38件

n=13,332



※注記: 回答した学生の所属学部について

「専攻科」(神道学専攻科)生は本報告書での集計対象外であるが、神道文化学部の授業を合同で受講してアンケートに回答した者については、当該授業の回答者にカウントして集計・分析の対象としている。

1-7 設問項目

■令和3年度「学生による授業評価アンケート」設問項目一覧(前期・後期共通)

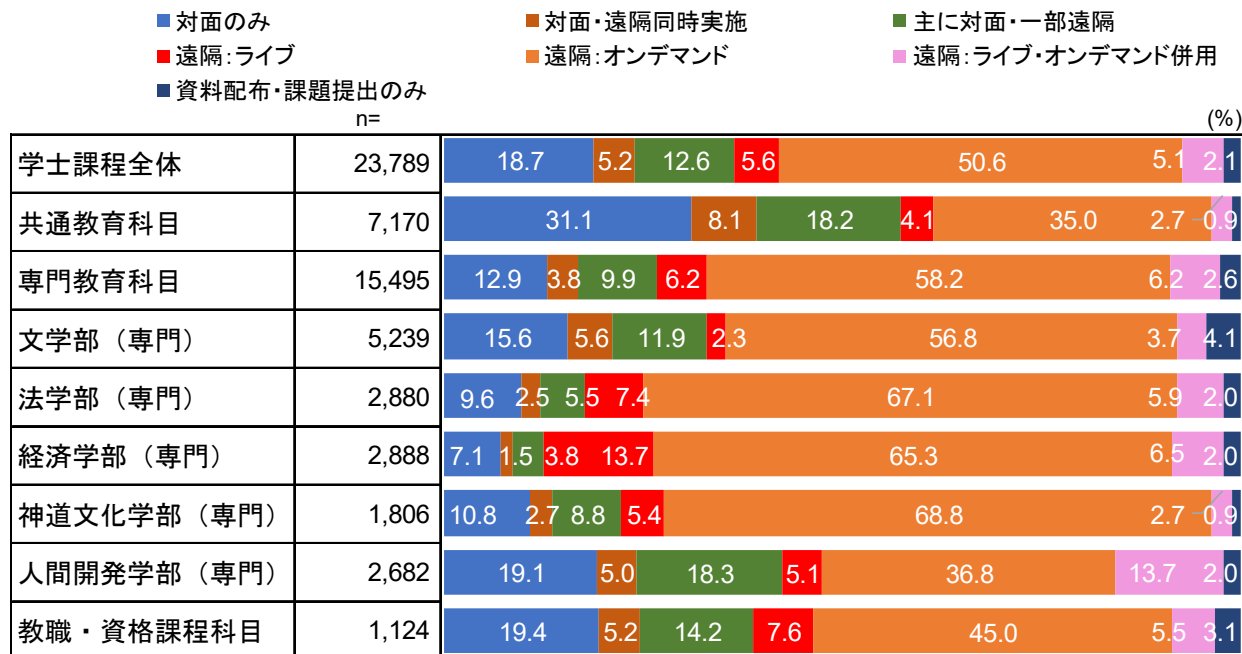
No.	設問	形式	選択肢・入力欄
1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	単一選択	対面のみ 対面・遠隔同時実施(ハイブリッド授業) 主に対面・一部遠隔(ブレンド授業) 遠隔:ライブ(リアルタイム) 遠隔:オンデマンド(動画配信) 遠隔:ライブ・オンデマンド併用 Web上での資料配布・課題提出のみ
2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか(資料配布・課題提出のみの授業は、設問6と同じ回答を選択してください)。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか(資料配布・課題提出のみの授業は「講義・配信なし」を選択してください)。	単一選択	講義・配信なし、10分未満、10分以上～20分未満、20分以上～30分未満、30分以上～40分未満、40分以上～50分未満、50分以上～60分未満、60分以上～75分未満、75分以上～90分未満、90分以上
11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか(資料配布・課題提出のみの授業は「講義・配信なし」を選択してください)。	単一選択	長すぎる、やや長い、ちょうどよい、やや短い、短すぎる、講義・配信なし
12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	単一選択	多すぎる、やや多い、ちょうどよい、やや少ない、少なすぎる
13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない

15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか(およその感覚で構いません)。	単一選択	学修時間ゼロ、10分未満、10分以上～20分未満、20分以上～30分未満、30分以上～40分未満、40分以上～50分未満、50分以上～60分未満、60分以上～75分未満、75分以上～90分未満、90分以上～120分未満、120分以上～150分未満、150分以上～180分未満・180分以上～240分未満・240分以上～300分
17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くどう思わない
19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。(自由記述・400字以内)	自由記述	(400字以内・任意回答)
20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。(自由記述・400字以内)	自由記述	(400字以内・任意回答)

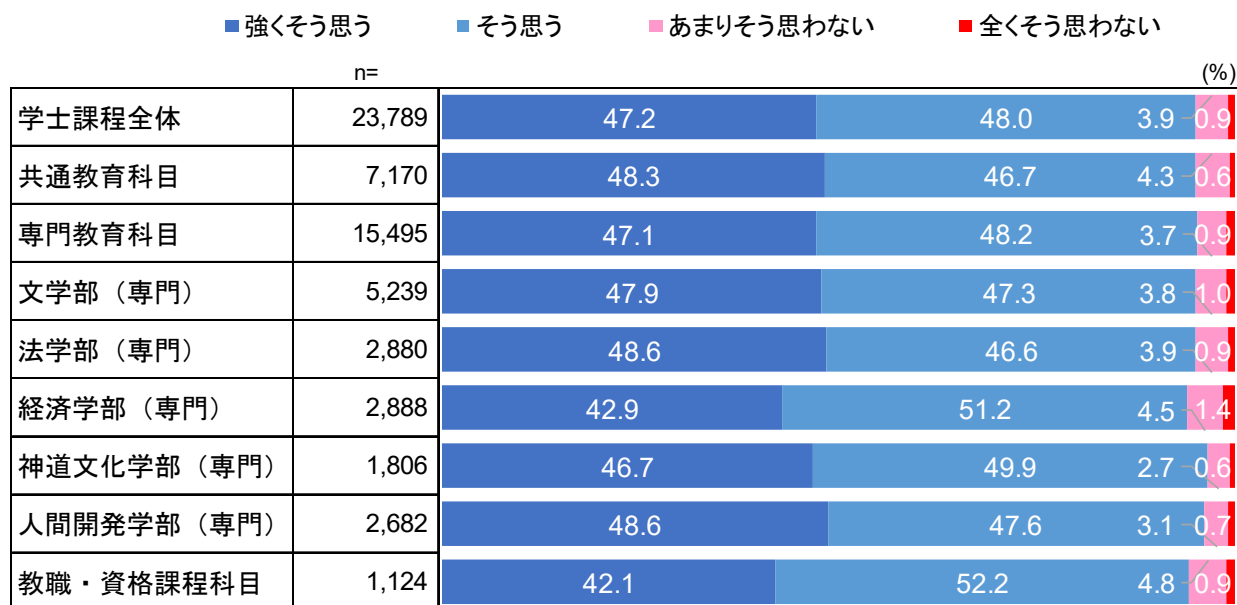
2. 前期集計結果

2-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)

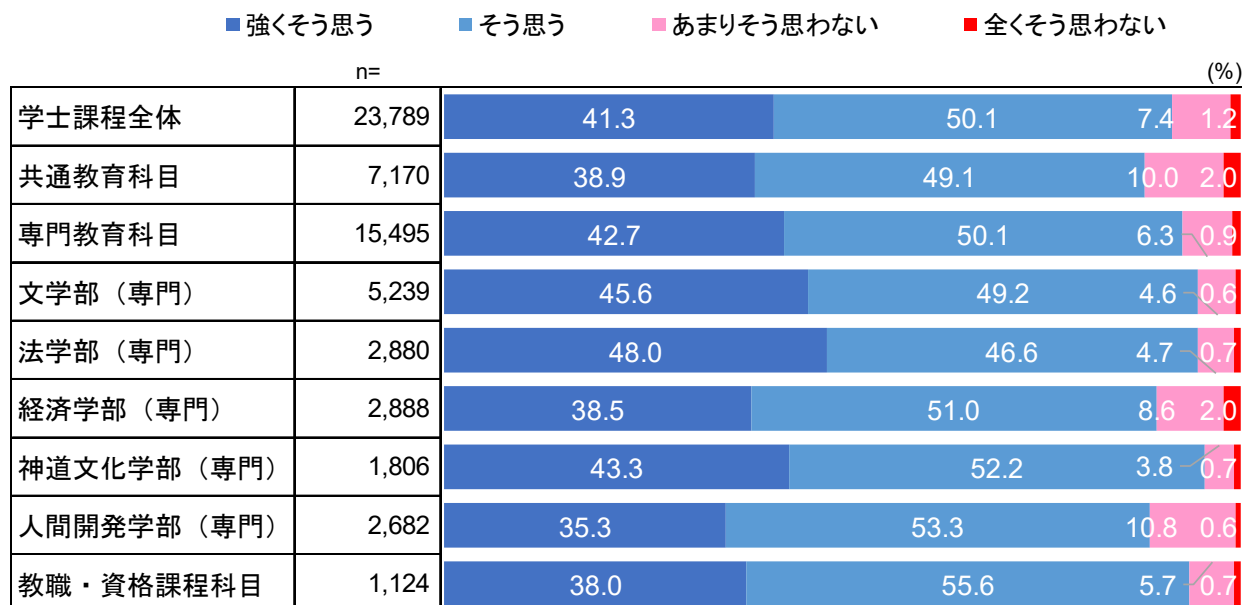
Q1 この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。



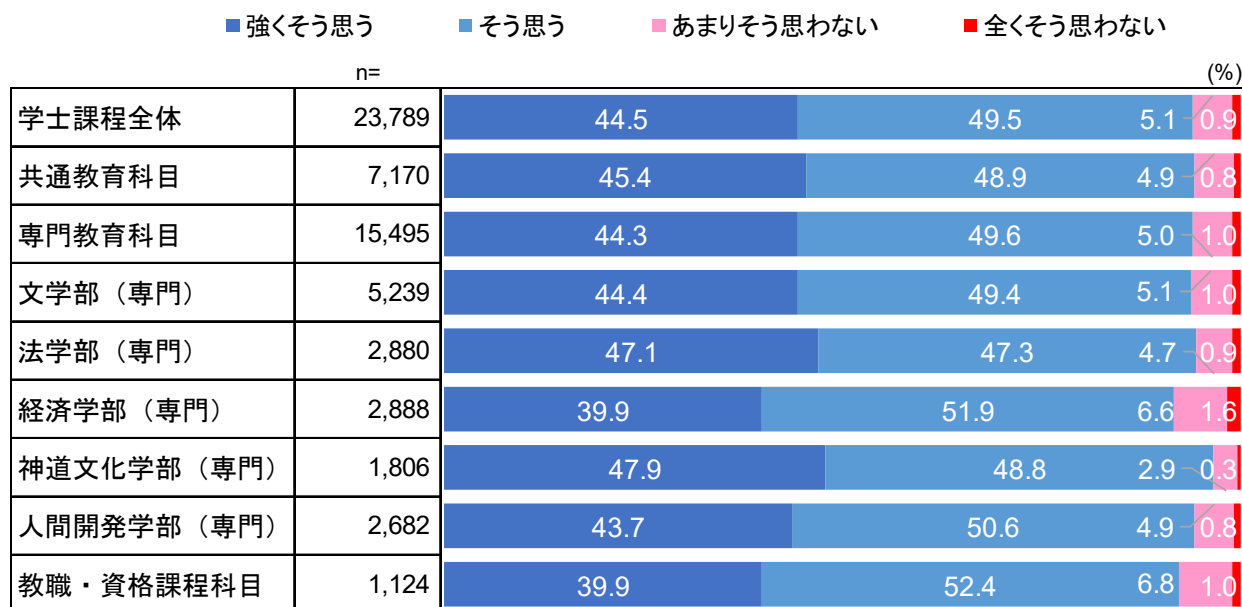
Q2 この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。



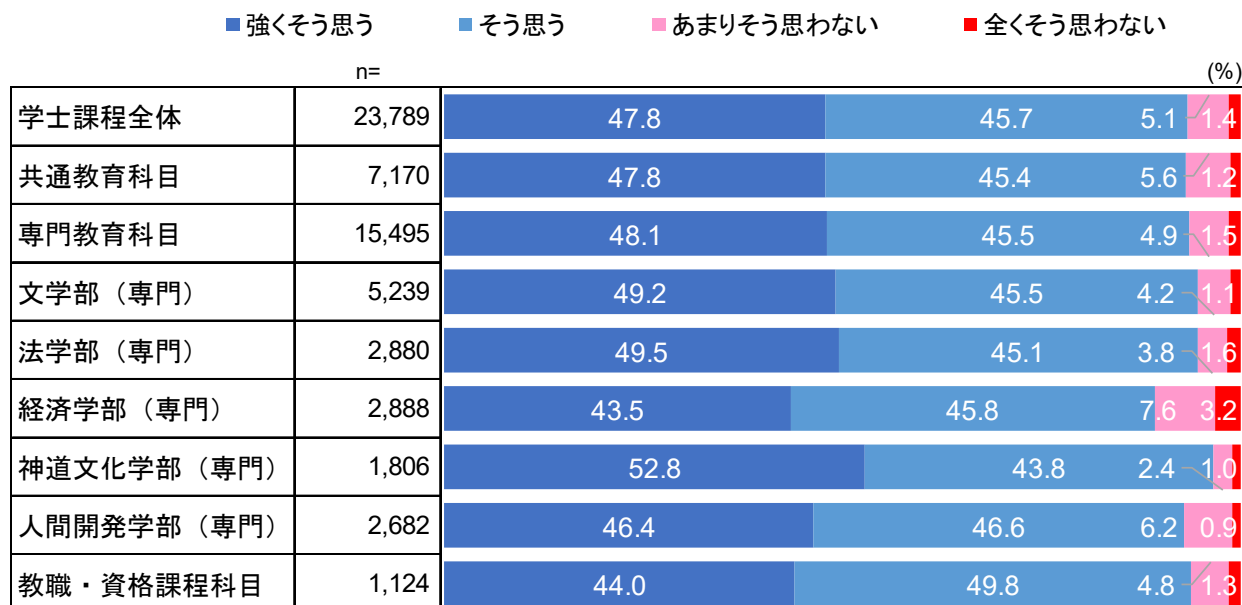
Q3 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。



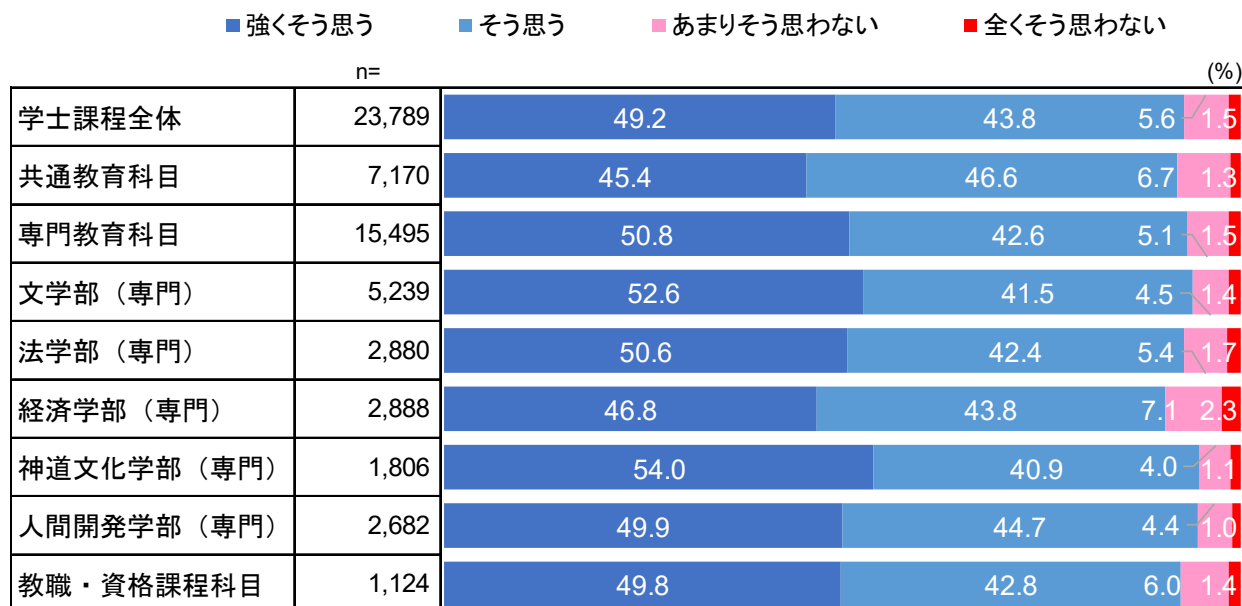
Q4 教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。



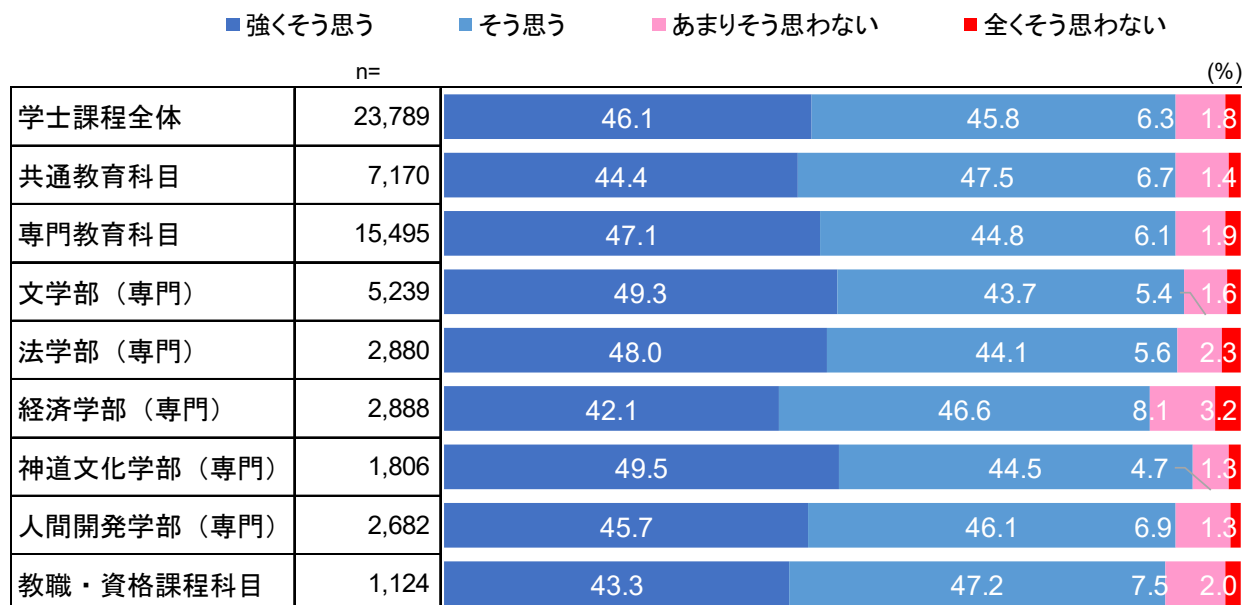
Q5 教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。



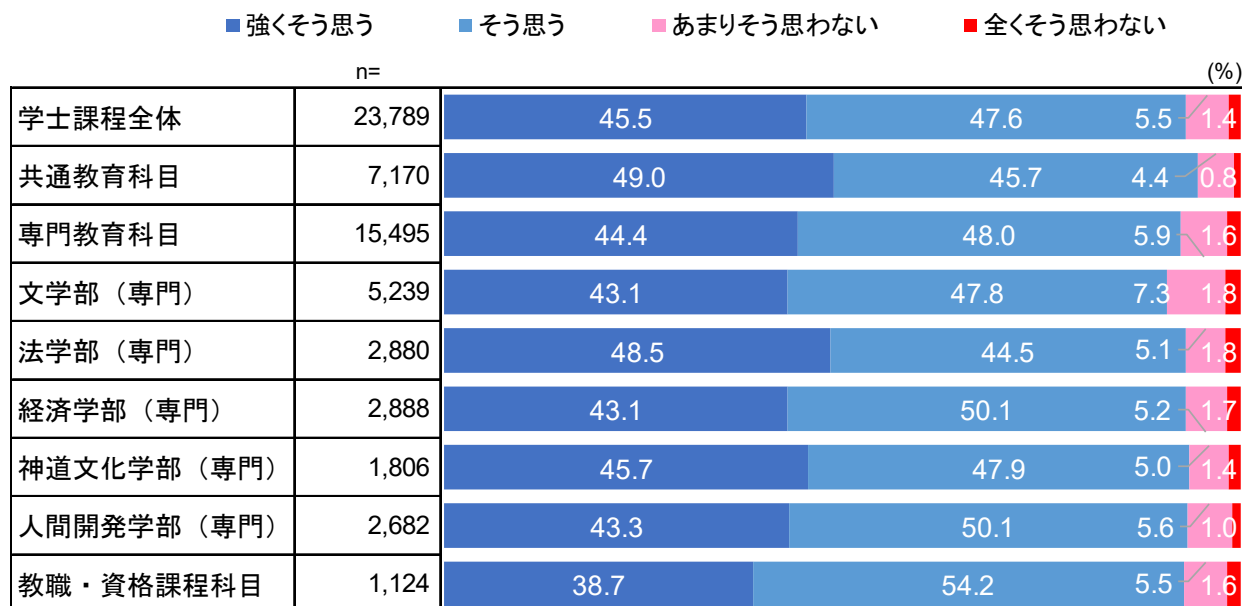
Q6 教員が提供した教材（スライド・レジュメなど）は、理解の助けになりましたか。



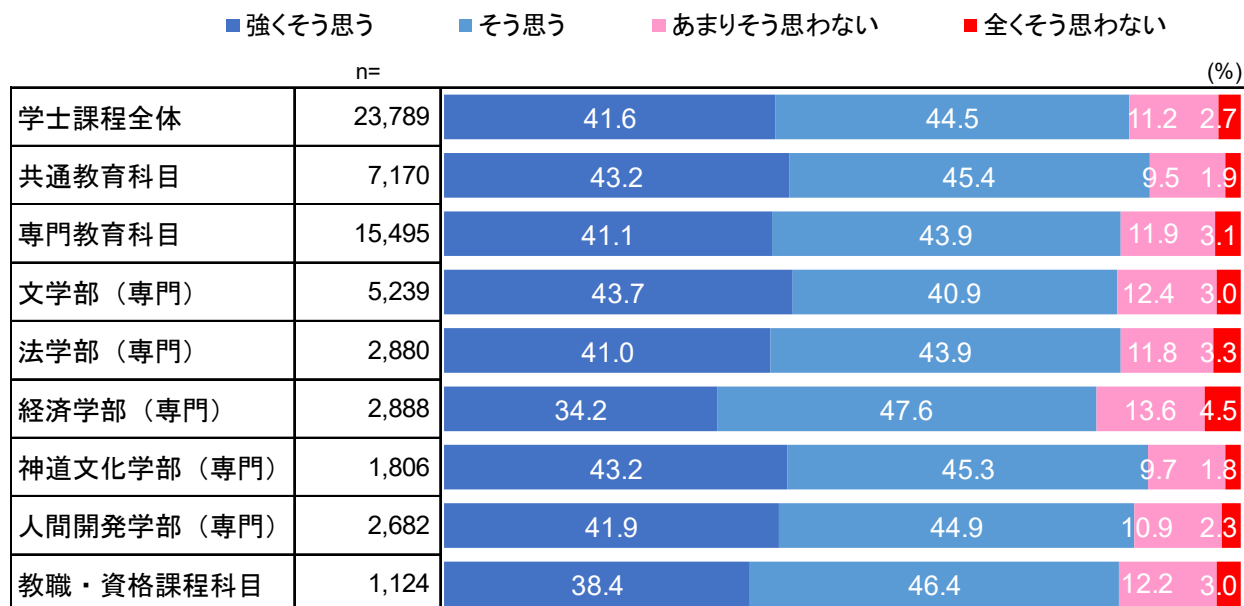
Q7 授業における教員の説明はわかりやすかったですか。



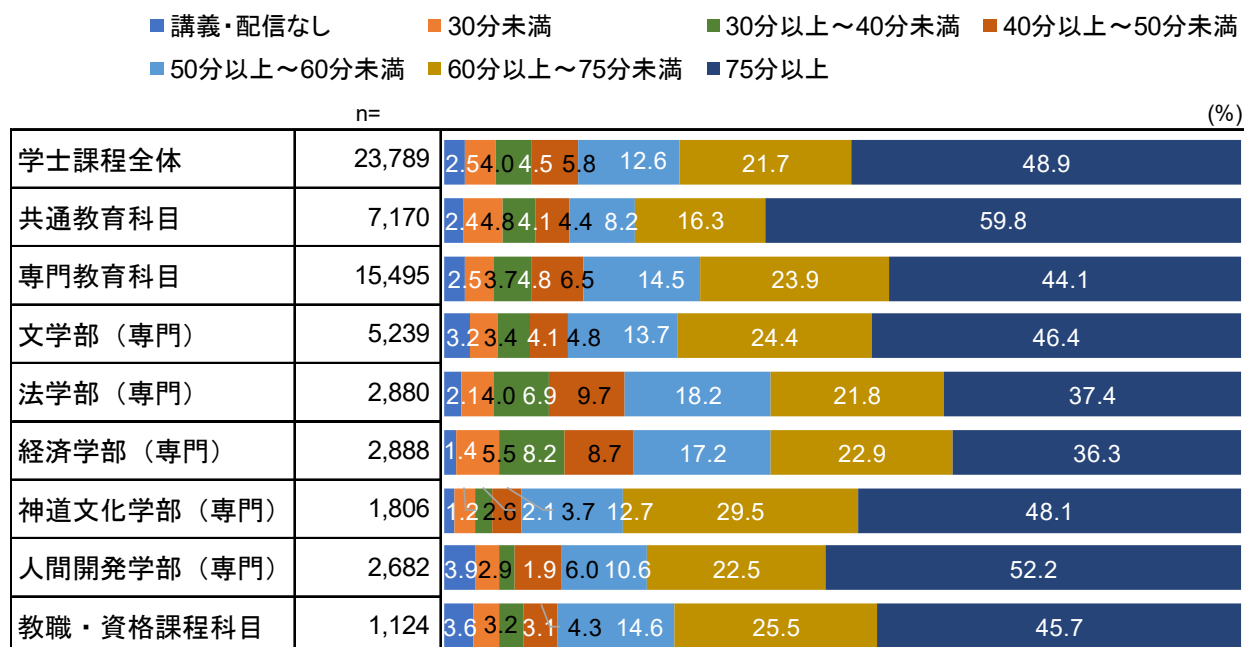
Q8 教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。



Q9 教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。

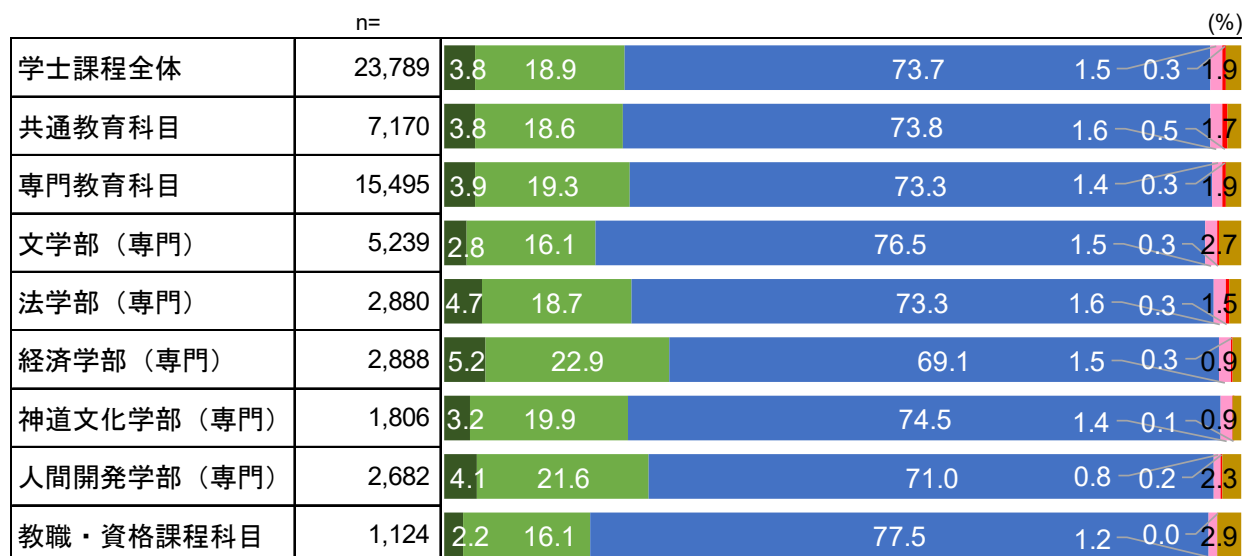


Q10 この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。



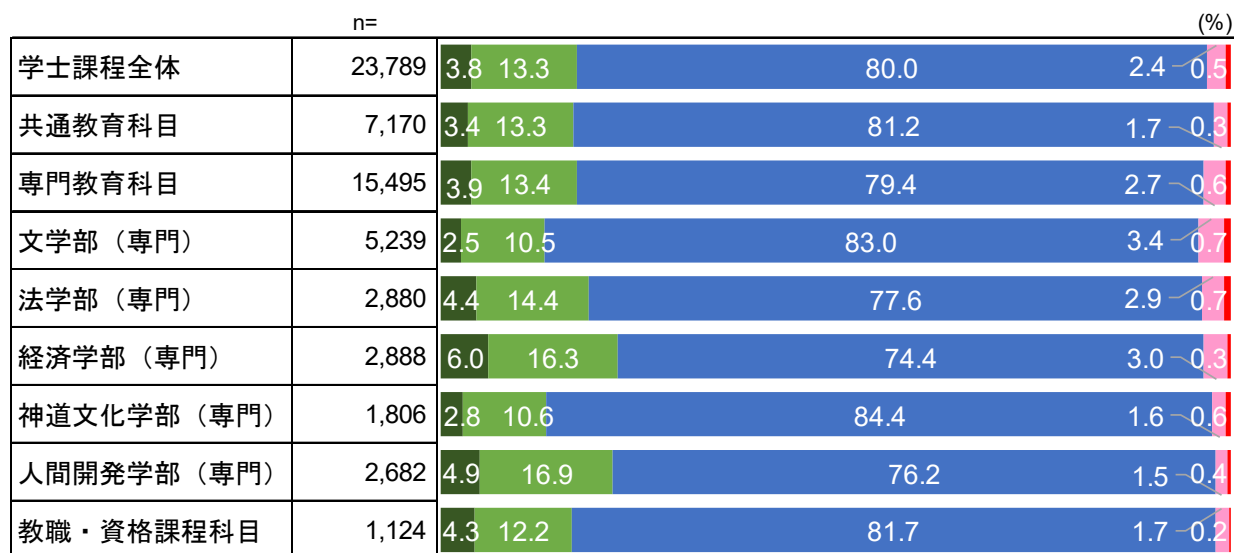
Q11 この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。

■ 長すぎる ■ やや長い ■ ちょうどよい ■ やや短い ■ 短すぎる ■ 講義・配信なし

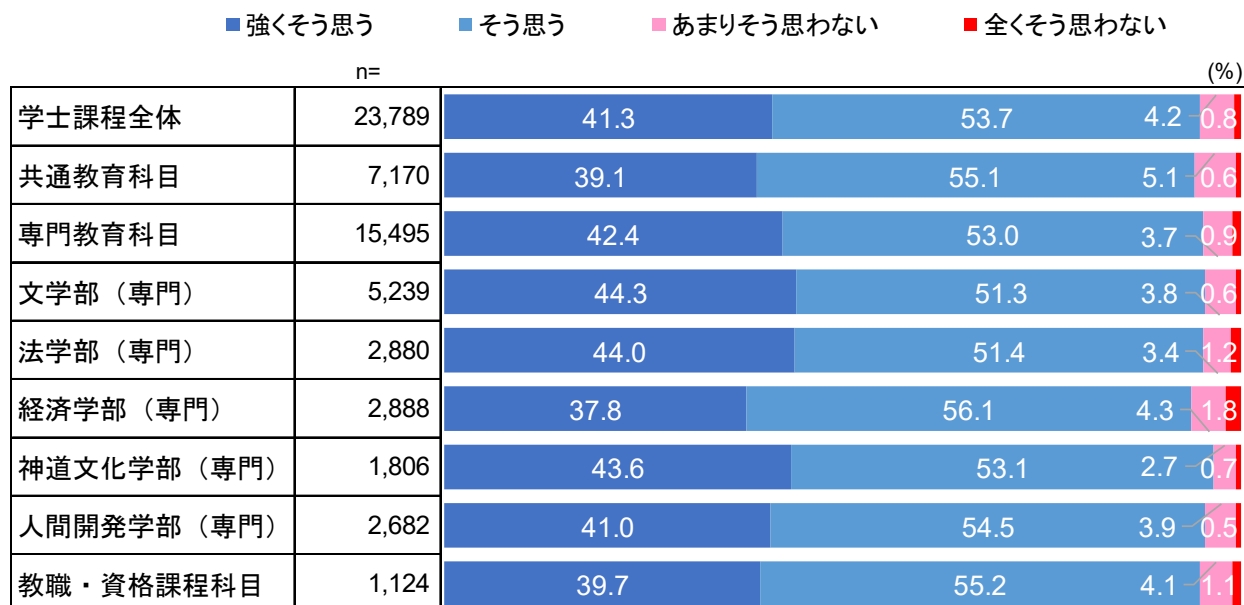


Q12 この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。

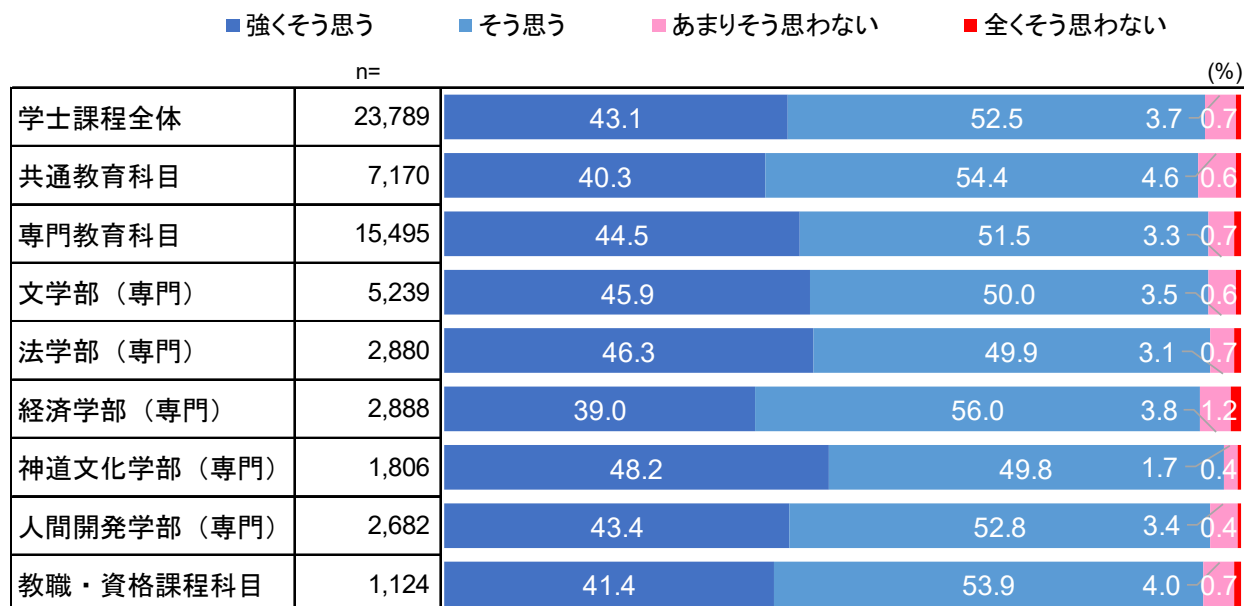
■ 多すぎる ■ やや多い ■ ちょうどよい ■ やや少ない ■ 少なすぎる



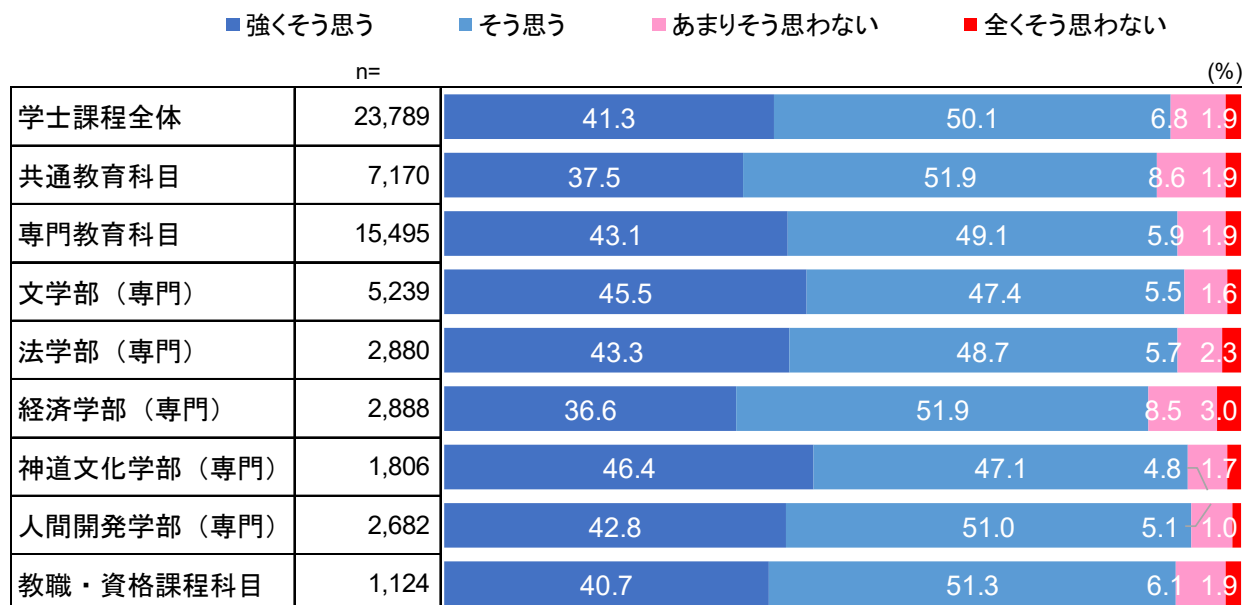
Q13 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか。



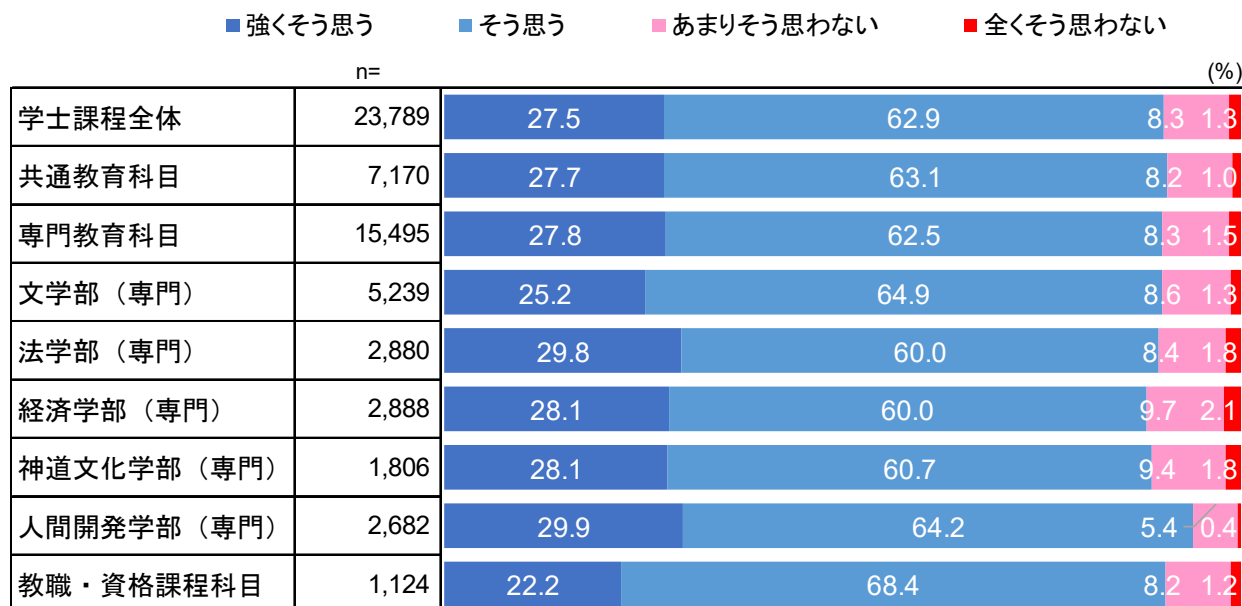
Q14 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。



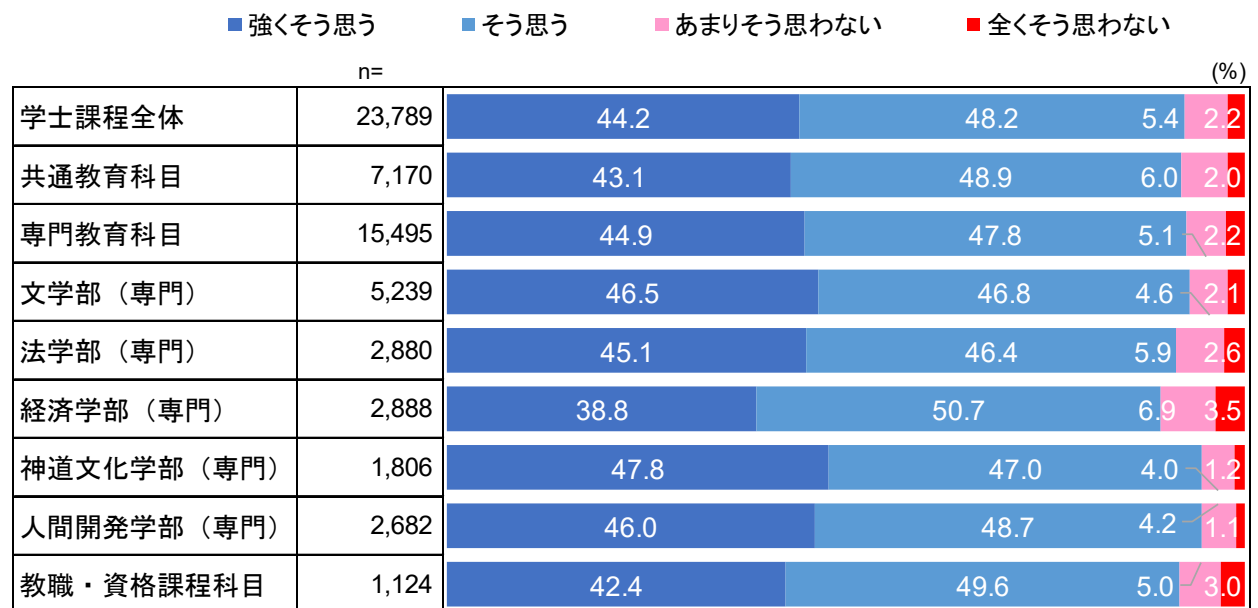
Q15 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。



Q17 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。

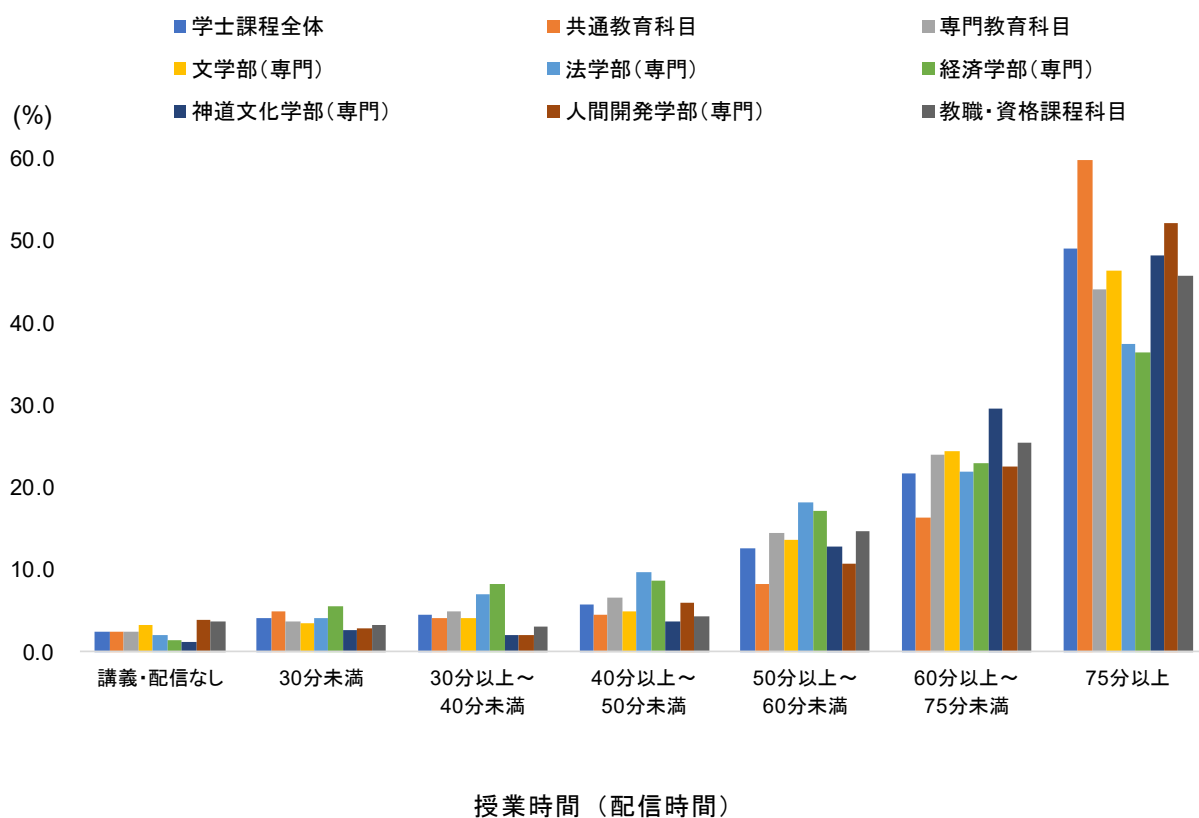


Q18 あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。



Q10 この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。

	講義・配 信なし	30分未満	30分以上 ～ 40分未満	40分以上 ～ 50分未満	50分以上 ～ 60分未満	60分以上 ～ 75分未満	75分以上
学士課程全体	2.5	4.0	4.5	5.8	12.6	21.7	48.9
共通教育科目	2.4	4.8	4.1	4.4	8.2	16.3	59.8
専門教育科目	2.5	3.7	4.8	6.5	14.5	23.9	44.1
文学部（専門）	3.2	3.4	4.1	4.8	13.7	24.4	46.4
法学部（専門）	2.1	4.0	6.9	9.7	18.2	21.8	37.4
経済学部（専門）	1.4	5.5	8.2	8.7	17.2	22.9	36.3
神道文化学部（専門）	1.2	2.6	2.1	3.7	12.7	29.5	48.1
人間開発学部（専門）	3.9	2.9	1.9	6.0	10.6	22.5	52.2
教職・資格課程科目	3.6	3.2	3.1	4.3	14.6	25.5	45.7



●集計結果の総評

- 本学の授業評価アンケートは、全部で20の設問から成り立っています。
- 設問の構成は、大別して2つに区分できます。Q1～Q2とQ4～Q14が「教員の授業運営について尋ねた設問」で、それ以外の設問が「授業を受講した学生の意識について尋ねた設問」となっています。
- それぞれの設問について、授業科目の区分に従い、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1)学士課程全体(全回答)、(2)共通教育科目等と専門教育科目と教職・資格課程科目、(3)学部別にみた専門教育科目、です。以下で各設問の結果をまとめます。
- Q1は、「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」です。学士課程全体では、およそ6割が遠隔のみの授業で、「対面のみ」は18.7%でした。共通教育科目では「対面のみ」の割合が31.1%と全体に比べ高い一方、経済学部と法学部の専門教育科目では「対面のみ」の割合が1割未満にとどまっています。
- Q2は、「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」です。肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計。以下、同様の記述)は学士課程全体で95.2%でした。なお、全ての集計区分で肯定回答が95%前後と非常に高い結果となっています。
- Q3は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.4%でした。学部別に肯定回答を見ると、文学部(94.8%)、法学部(94.6%)、神道文化学部(95.5%)が他の学部になんて高くなっています。
- Q4は「教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で9割を超えており、学士課程全体では94.0%でした。また、法学部、神道文化学部の専門教育科目は、全体に比べ「強くそう思う」の割合が高くなっています。

- Q5は、「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で93.5%でした。学部別では、神道文化学部で肯定回答の割合が96.6%と、他の学部に比べやや高くなっています。
- Q6は、「教員が提供した教材（スライド・レジュメなどの配布資料）は、理解の助けになりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で93.0%でした。なお、全ての集計区分で肯定回答が9割以上と高い結果となっています。
- Q7は、「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.9%でした。また、全ての集計区分で肯定回答が9割前後となっています。
- Q8は、「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で9割を超えており、学士課程全体では93.2%でした。
- Q9は、「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック（添削・回答など）を積極的に行っていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で86.1%でした。学部別にみると、文学部で84.6%、法学部で84.9%、経済学部で81.9%、神道文化学部で88.5%、人間開発学部で86.8%、という結果となっており、神道文化学部および人間開発学部の肯定回答が他の学部に比べやや高くなっています。
- Q10は「この授業の、1回あたりの授業時間（配信時間）は、平均して何分くらいでしたか」です。「60分以上」の回答は、学士課程全体で70.6%でした。共通教育科目、あるいは神道文化学部、人間開発学部の専門教育科目で、「60分以上」の回答割合が他に比べ高い結果となっています。
- Q11は、「この授業の、1回あたりの授業時間（配信時間）は適切な長さだったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で73.7%でした。教職・資格課程科目の「ちょうどよい」の回答割合が77.5%、文学部の専門教育科目が76.5%と、他に比べて高くなっています。
- Q12は、「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は適切な分量だったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で80.0%でした。学部別では文学部、神道文化学部で「ちょうどよい」の回答割合が8割を上回る結果となっています。

- Q13は、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で95.0%でした。なお、全ての集計区分で肯定回答が95%前後と非常に高い結果になっています。
- Q14は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で95.6%でした。Q13と同様に、全ての集計区分で肯定回答の割合が95%前後と非常に高い結果となっています。
- Q15は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.3%でした。共通教育科目と経済学部専門教育科目を除き、肯定回答の割合は9割以上となっています。
- Q17は、「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で90.4%でした。学部別に見ると、人間開発学部で肯定回答の割合が94.1%と最も高くなっています。
- Q18は、「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.5%でした。学部別に肯定割合を見ると、神道文化学部(94.8%)と人間開発学部(94.7%)が他の学部に比べやや高くなっています。

- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを完結に整理しました。令和3年度前期の授業評価アンケートの集計結果によれば、本学の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向にありました。
- 概ね肯定回答の割合が多くを占めた中で、全ての集計区分で肯定回答が90%を下回った設問は、Q18「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」です。また、学士課程全体で消極的な回答が10%以上となっている設問は、Q18のみでした。

3. 考察(1)設問間のクロス表分析(前期)

3-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q17・Q18)

【全体】

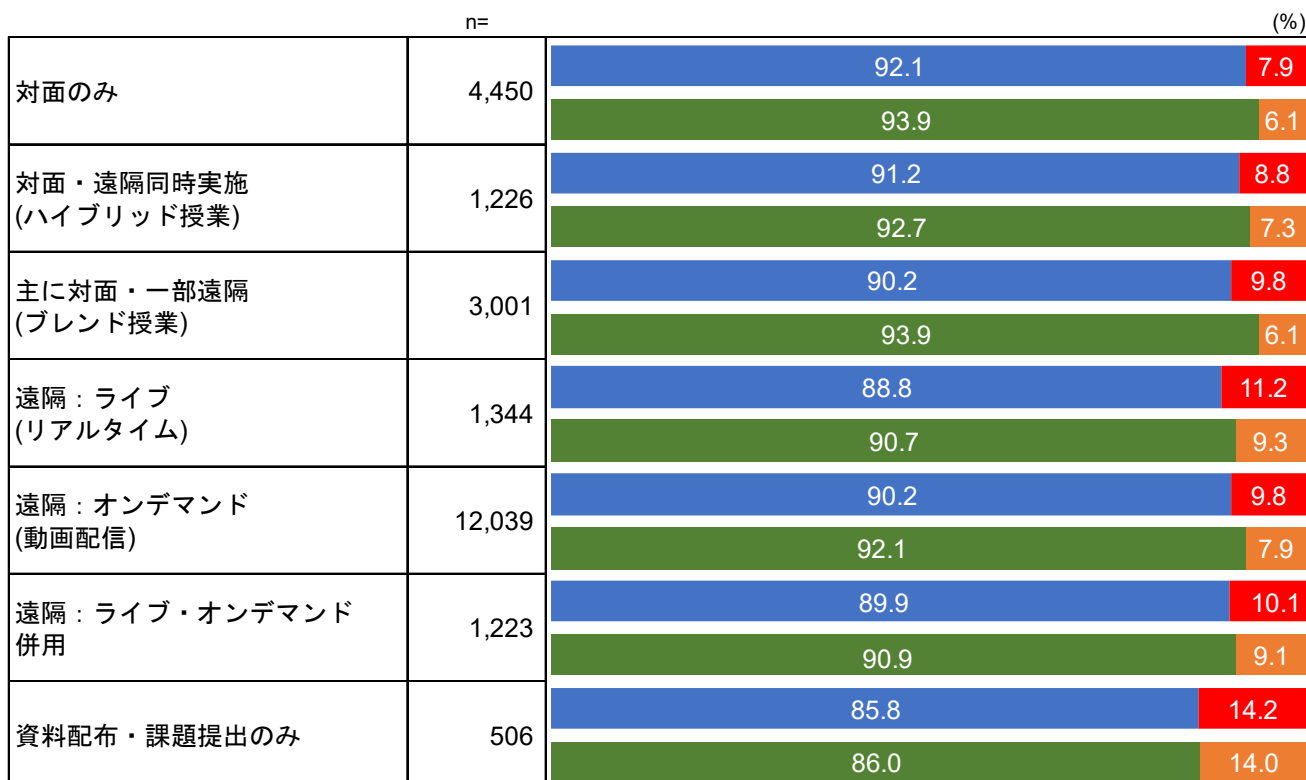
- 下の図は、学士課程全体の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、92.1%が到達目標を達成したと認識し、93.9%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態でも、対面を含んだり、遠隔のみでもオンデマンドの場合は、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



【文学部】

- 下の図は、文学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、90.1%が到達目標を達成したと認識し、93.3%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態でも、ハイブリッド授業や、遠隔のみでもオンデマンドの場合は、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		n=		(%)
対面のみ	1,770	90.1	9.9	93.3	6.7	
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	409	90.0	10.0	91.4	8.6	
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	1,268	89.4	10.6	94.0	6.0	
遠隔：ライブ (リアルタイム)	352	88.1	11.9	92.0	8.0	
遠隔：オンデマンド (動画配信)	4,231	90.7	9.3	92.9	7.1	
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	342	87.1	12.9	90.4	9.6	
資料配布・課題提出のみ	267	85.0	15.0	86.1	13.9	

【法学部】

- 下の図は、法学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、92.7%が到達目標を達成したと認識し、91.9%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)
対面のみ	703	92.7	7.3	
		91.9	8.1	
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	120	95.8	4.2	
		97.5	2.5	
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	389	91.5	8.5	
		95.1	4.9	
遠隔：ライブ (リアルタイム)	288	93.4	6.6	
		95.5	4.5	
遠隔：オンデマンド (動画配信)	2,657	90.0	10.0	
		90.8	9.2	
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	219	89.5	10.5	
		91.3	8.7	
資料配布・課題提出のみ	72	87.5	12.5	
		87.5	12.5	

【経済学部】

- 下の図は、経済学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、94.7%が到達目標を達成したと認識し、95.6%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態でも、対面を含んだり、遠隔のみでもオンデマンドの場合は、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		n=		(%)
対面のみ	809	94.7	5.3	95.6	4.4	
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	433	90.5	9.5	92.4	7.6	
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	379	92.3	7.7	93.1	6.9	
遠隔：ライブ (リアルタイム)	418	83.0	17.0	83.0	17.0	
遠隔：オンデマンド (動画配信)	2,277	89.2	10.8	91.0	9.0	
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	217	83.9	16.1	83.9	16.1	
資料配布・課題提出のみ	77	85.7	14.3	79.2	20.8	

【神道文化学部】

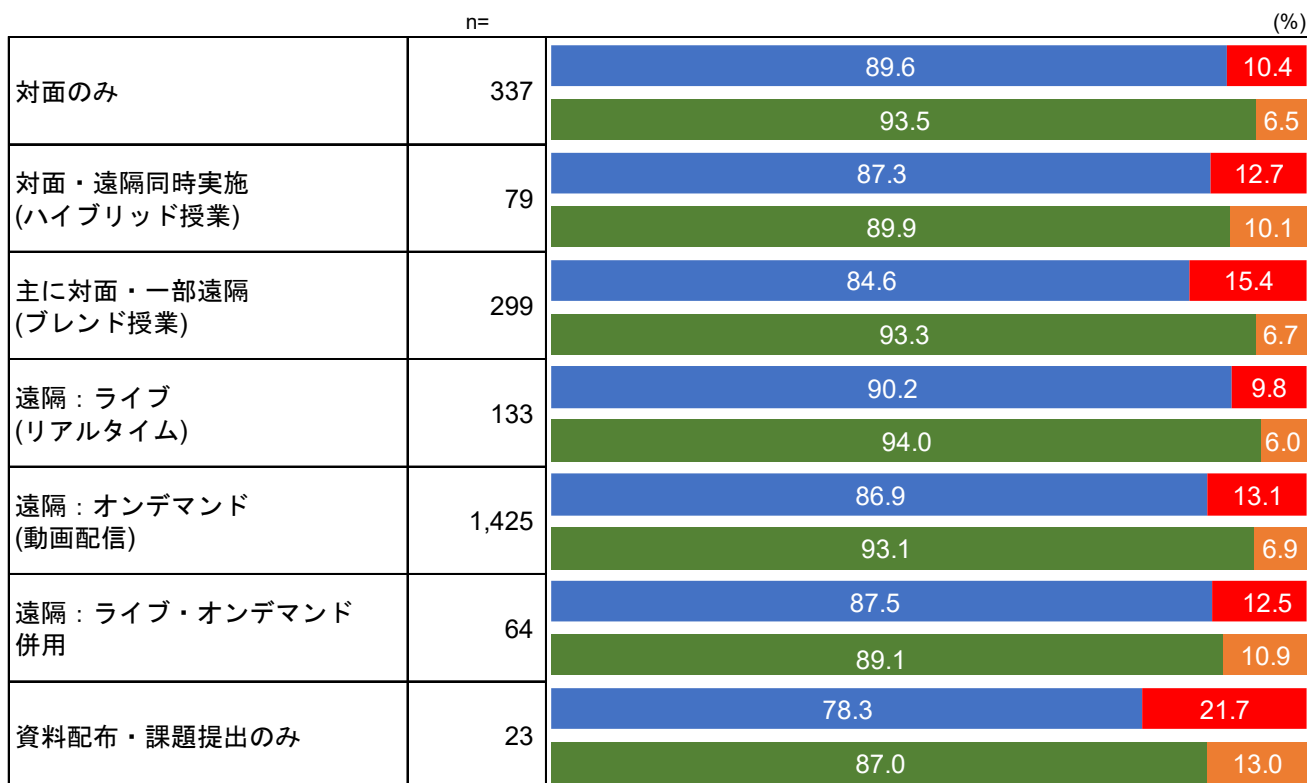
- 下の図は、神道文化学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、89.6%が到達目標を達成したと認識し、93.5%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、9割近くが到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



【人間開発学部】

- 下の図は、人間開発学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、93.9%が到達目標を達成したと認識し、95.4%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修してよかったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	800	93.9	6.1
		95.4	4.6
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	176	93.8	6.3
		93.8	6.3
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	649	92.4	7.6
		93.7	6.3
遠隔：ライブ (リアルタイム)	152	96.1	3.9
		96.7	3.3
遠隔：オンデマンド (動画配信)	1,419	93.6	6.4
		93.0	7.0
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	381	96.3	3.7
		95.5	4.5
資料配布・課題提出のみ	67	89.6	10.4
		91.0	9.0

【1年生】

- 下の図は、1年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、92.5%が到達目標を達成したと認識し、94.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	2,918	92.5	7.5
		94.0	6.0
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	779	91.1	8.9
		92.6	7.4
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	1,515	89.9	10.1
		93.8	6.2
遠隔：ライブ (リアルタイム)	863	88.9	11.1
		90.5	9.5
遠隔：オンデマンド (動画配信)	5,392	90.6	9.4
		92.1	7.9
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	718	90.9	9.1
		91.2	8.8
資料配布・課題提出のみ	104	84.6	15.4
		84.6	15.4

【2年生】

- 下の図は、2年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、91.9%が到達目標を達成したと認識し、93.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態でも、対面を含んだり、遠隔のみでもオンデマンドの場合は、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)
対面のみ	904	91.9	8.1	93.0
				7.0
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	212	90.6	9.4	92.9
				7.1
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	808	90.7	9.3	93.7
				6.3
遠隔：ライブ (リアルタイム)	265	87.9	12.1	89.8
				10.2
遠隔：オンデマンド (動画配信)	3,181	91.5	8.5	93.3
				6.7
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	207	88.4	11.6	91.8
				8.2
資料配布・課題提出のみ	140	85.0	15.0	85.0
				15.0

【3年生】

- 下の図は、3年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、90.9%が到達目標を達成したと認識し、94.3%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、対面を含む場合は、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	475	90.9	9.1
		94.3	5.7
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	151	90.7	9.3
		91.4	8.6
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	499	90.4	9.6
		93.8	6.2
遠隔：ライブ (リアルタイム)	158	88.6	11.4
		92.4	7.6
遠隔：オンデマンド (動画配信)	2,595	88.3	11.7
		91.1	8.9
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	223	85.7	14.3
		87.9	12.1
資料配布・課題提出のみ	190	85.3	14.7
		85.3	14.7

【4年生】

- 下の図は、4年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、87.6%が到達目標を達成したと認識し、96.7%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、他の授業形態でも、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	153	87.6	12.4
		96.7	3.3
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	84	94.0	6.0
		95.2	4.8
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	179	90.5	9.5
		96.6	3.4
遠隔：ライブ (リアルタイム)	58	91.4	8.6
		93.1	6.9
遠隔：オンデマンド (動画配信)	871	88.6	11.4
		91.0	9.0
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	75	96.0	4.0
		94.7	5.3
資料配布・課題提出のみ	72	90.3	9.7
		91.7	8.3

3-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

2. 1回あたりの授業時間(配信時間)に対する学生の反応(Q10×Q11)

- 下の図は、Q10「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」と、Q11「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「30分以上～40分未満」「40分以上～50分未満」「50分以上～60分未満」の授業において、「ちょうどよい」と回答した割合は8割超となっています。一方で、「30分未満」「75分以上」の授業においては7割程度となっています。
- 上記のことから、特に遠隔で配信時間が30分未満あるいは75分を超える授業では、進行のペース配分や予定時間の超過といった点で改善点の検討が必要と考えられます。



※Q11 については、「講義・配信なし」の回答者を除外して集計しています。

3-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

3. 授業時間(配信時間)の長さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響 (Q11×Q17・Q18)

- 下の図は、Q11「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、93.4%が到達目標を達成したと認識、96.1%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「長すぎる、短すぎる」と回答した場合には、前者は67.6%、後者は61.9%にとどまります。
- 上記のことから、「1回あたりの授業時間(配信時間)の長さ」が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)	
ちょうどよい	17,528	93.4	6.6	96.1	3.9
やや長い、やや短い	4,843	84.6	15.4	86.0	14.0
長すぎる、短すぎる	971	67.6	32.4	61.9	38.1
講義・配信なし	447	84.1	15.9	84.8	15.2

3-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

4. 課題の量の多さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q12×Q17・Q18)

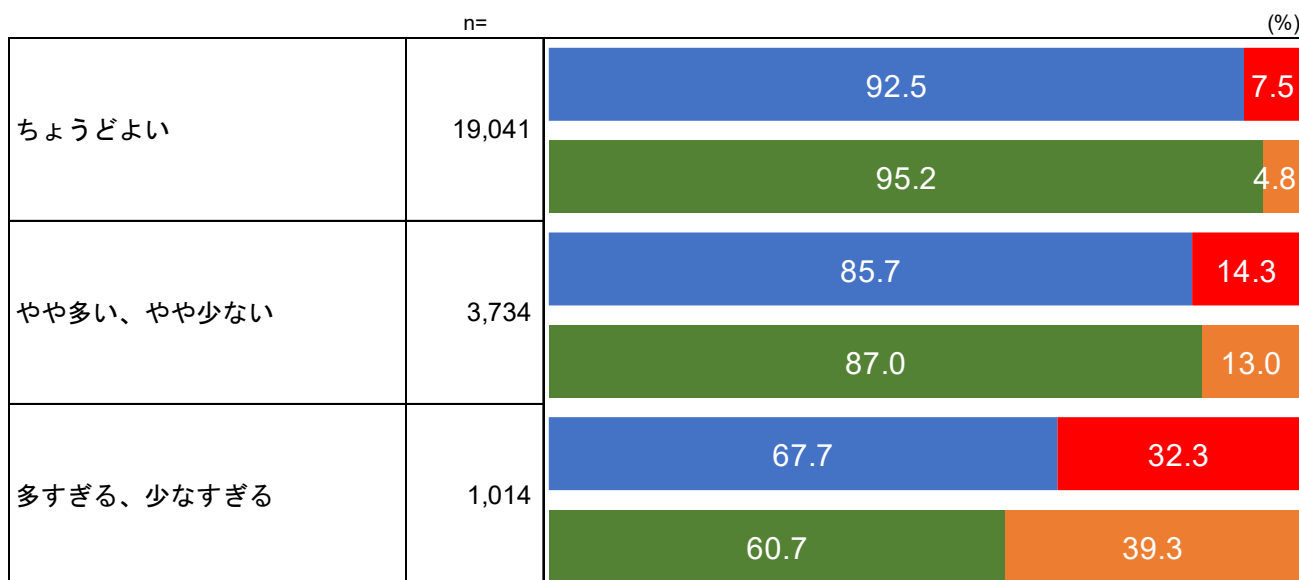
- 下の図は、Q12「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、92.5%が到達目標を達成したと認識、95.2%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合には、前者は67.7%、後者は60.7%にとどまります。
- 上記のことから、「課題の量の多さ」が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

5. 予習・復習・課題にかけた時間が、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響 (Q16×Q17・Q18)

- 下の図は、Q16「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「学修無し」と回答した場合には、20.5%が到達目標を達成していないと認識、18.7%がこの授業を履修して良かったと感じなかったと答えています。また、「180分以上～300分」の回答においても、前者が24.5%、後者は23.4%と、180分未満の「学修あり」に比べ否定回答が多くなっています。
- 上記のことから、あまり負担にならない程度で予習・復習・課題にかけた時間と学生の到達目標の達成度には大きな関連があると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

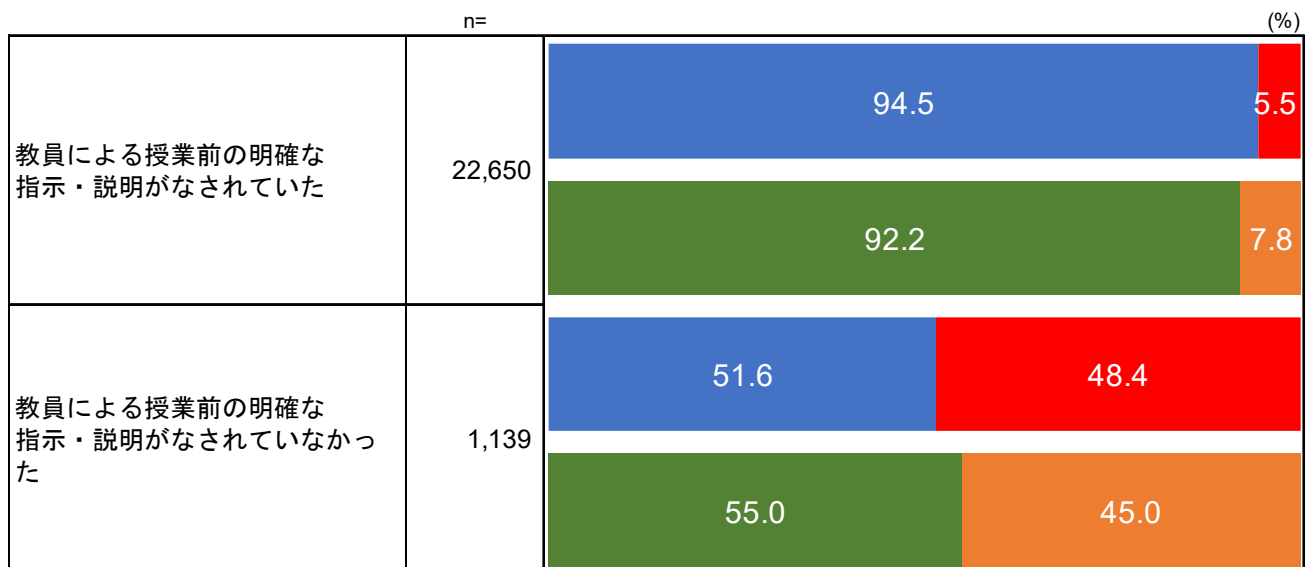
	n=	(%)	
学修無し	922	79.5	20.5
		81.3	18.7
10分未満	1,187	85.7	14.3
		89.8	10.2
10分以上～30分未満	6,579	90.8	9.2
		93.1	6.9
30分以上～60分未満	10,145	92.0	8.0
		94.1	5.9
60分以上～90分未満	3,056	92.3	7.7
		93.0	7.0
90分以上～180分未満	1,536	88.1	11.9
		90.0	10.0
180分以上～300分	364	75.5	24.5
		76.6	23.4

3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

1. 教員による授業前の明確な指示・説明がなされていたか(Q2×Q17・Q18)

- 下の図は、Q2「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業前の明確な指示・説明がなされていた」と回答した場合には、94.5%が到達目標を達成したと認識、92.2%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「明確な指示・説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は51.6%、後者は55.0%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業前に明確な指示・説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q4×Q17・Q18)

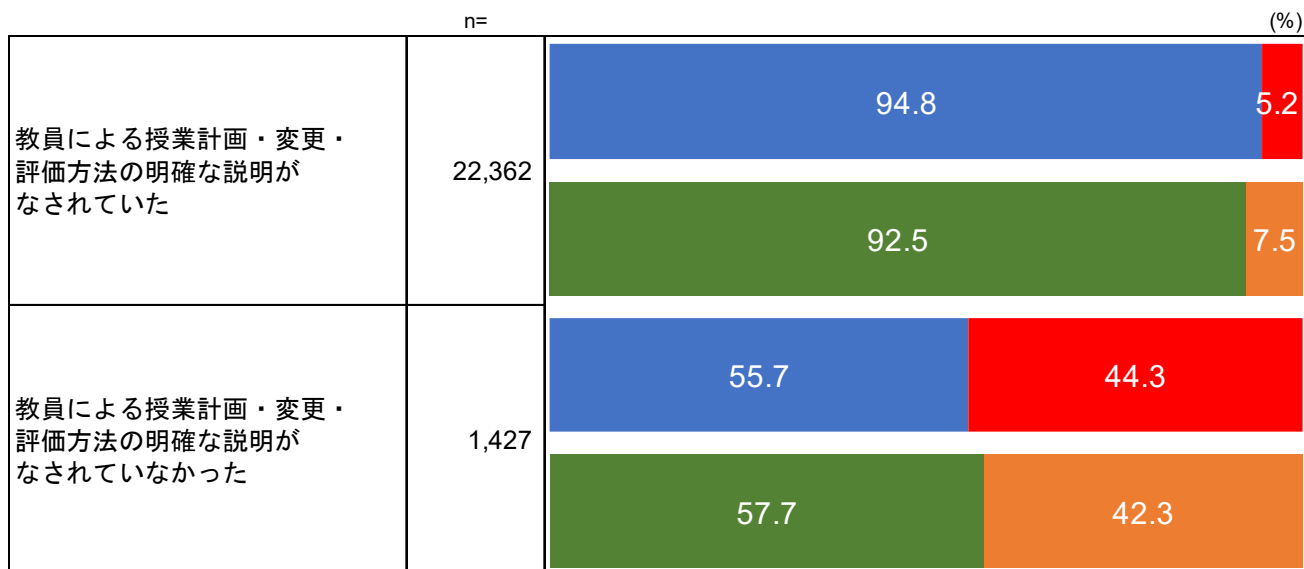
- 下の図は、Q4「教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていた」と回答した場合には、94.8%が到達目標を達成したと認識、92.5%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「明確な説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は55.7%、後者は57.7%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業計画・変更・評価方法の明確な説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

3. 教員はスムーズに授業を進行できていたか(Q5×Q17・Q18)

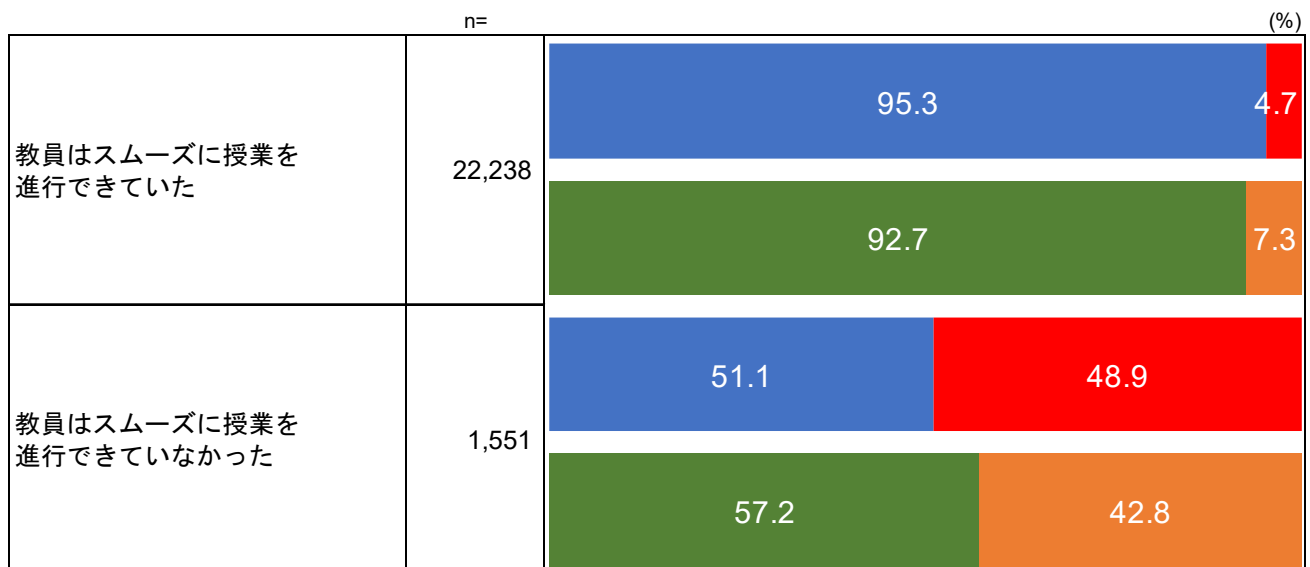
- 下の図は、Q5「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「スムーズに授業を進行できていた」と回答した場合には、95.3%が到達目標を達成したと認識、92.7%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「スムーズに授業を進行できていなかった」と回答した場合には、前者は51.1%、後者は57.2%にとどまります。
- 上記のことから、スムーズに授業を進行することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

4. 教員が提供した教材は理解の助けになったか(Q6×Q17・Q18)

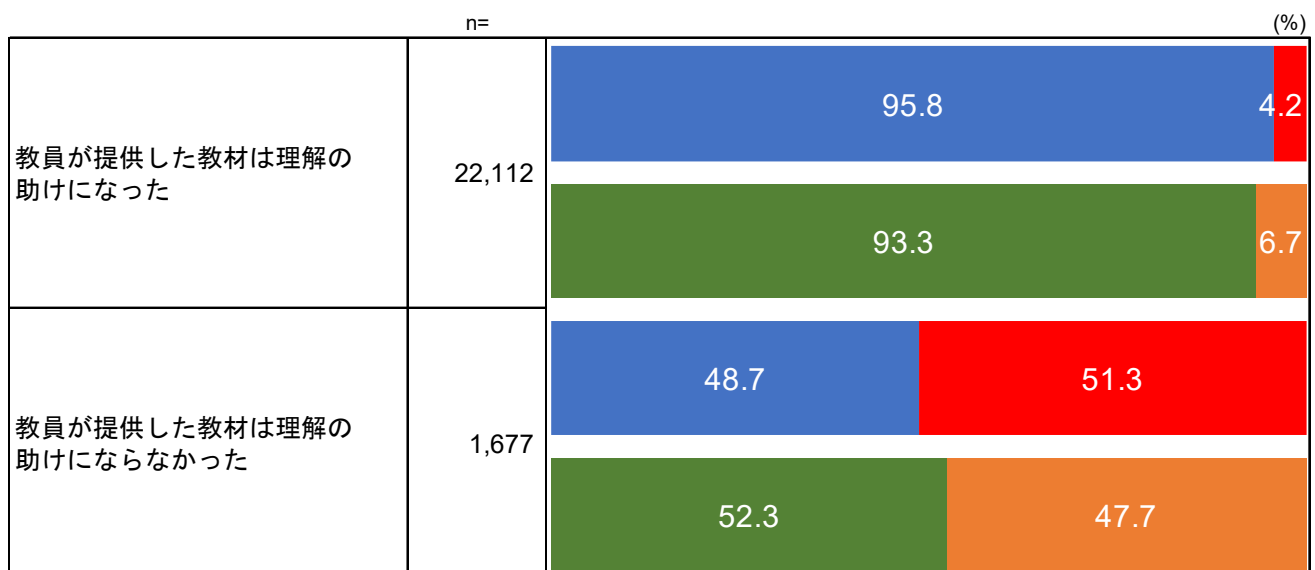
- 下の図は、Q6「教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員が提供した教材は理解の助けになった」と回答した場合には、95.8%が到達目標を達成したと認識、93.3%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「教材は理解の助けにならなかった」と回答した場合には、前者は48.7%、後者は52.3%にとどまります。
- 上記のことから、理解の助けになる教材を提供することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

5. 授業における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q7×Q17・Q18)

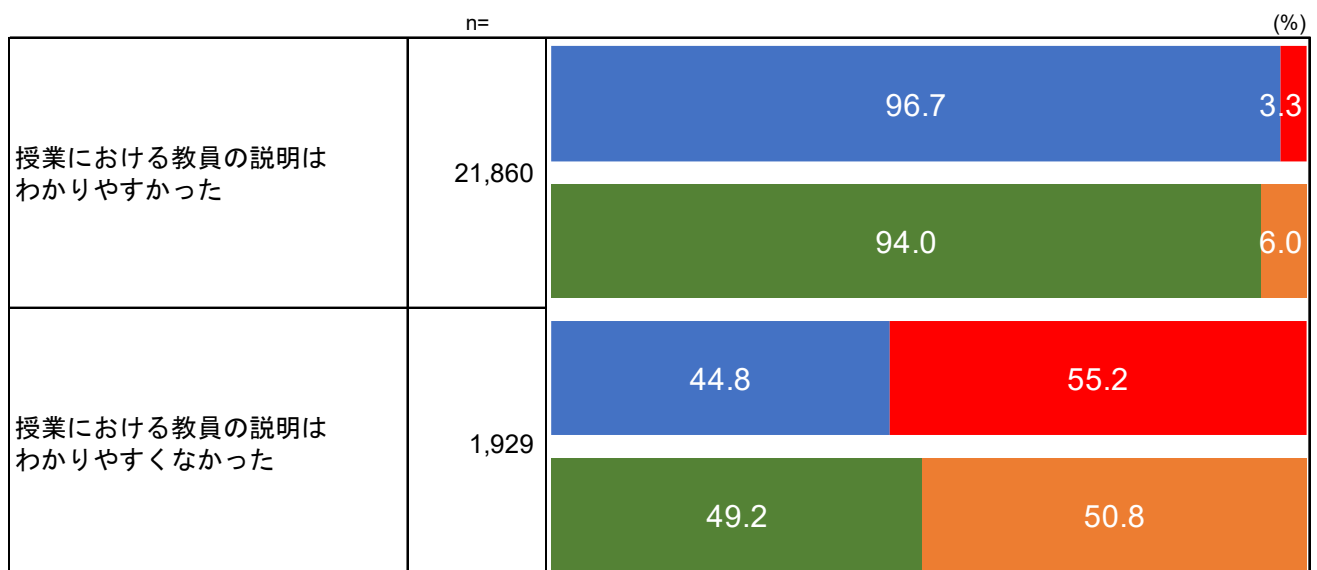
- 下の図は、Q7「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「授業における教員の説明はわかりやすかった」と回答した場合には、96.7%が到達目標を達成したと認識、94.0%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「教員の説明はわかりやすくなかった」と回答した場合には、前者は44.8%、後者は49.2%にとどまります。
- 上記のことから、わかりやすい説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

6. 課題や小テストによる理解の定着を図っていたか(Q8×Q17・Q18)

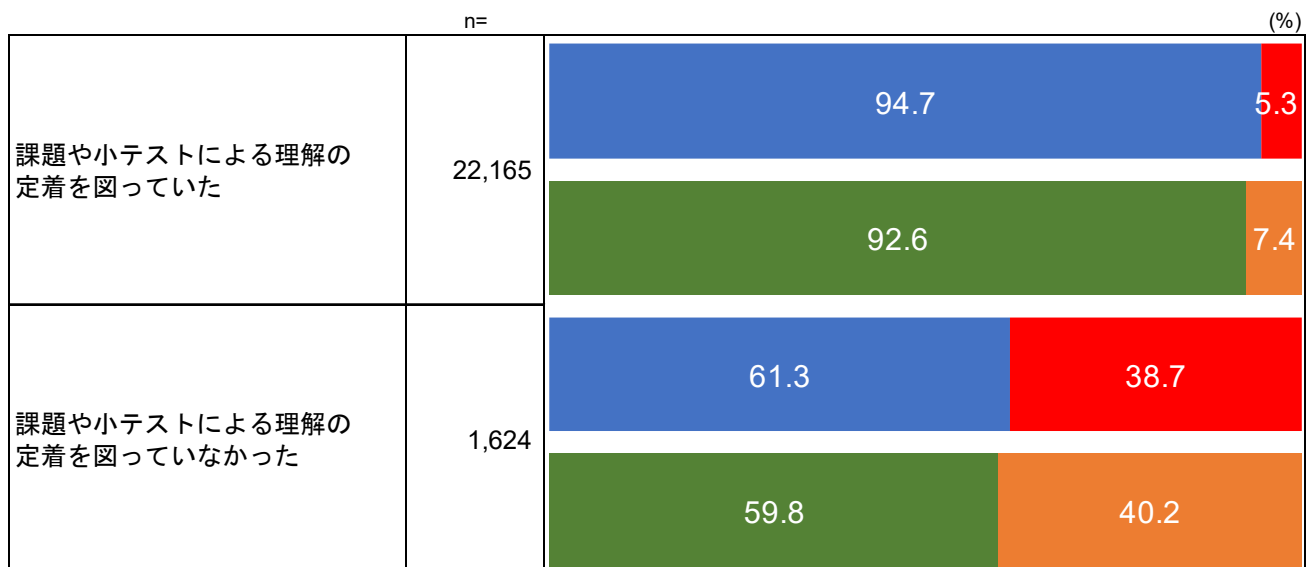
- 下の図は、Q8「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「課題や小テストによる理解の定着を図っていた」と回答した場合には、94.7%が到達目標を達成したと認識、92.6%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「理解の定着を図っていなかった」と回答した場合には、前者は61.3%、後者は59.8%にとどまります。
- 上記のことから、教員が課題や小テストによる理解の定着を図ることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

7. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q9×Q17・Q18)

- 下の図は、Q9「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「対話・フィードバックが積極的になされていた」と回答した場合には、95.8%が到達目標を達成したと認識、93.4%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「積極的になされていなかった」と回答した場合には、前者は71.9%、後者は72.1%にとどまります。
- 上記のことから、教員が対話・フィードバックを積極的に行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)
対話・フィードバックが積極的 になされていた	20,478	95.8		4.2
		93.4		6.6
対話・フィードバックが積極的 になされていなかった	3,311	71.9		28.1
		72.1		27.9

3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

8. 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていたか(Q13×Q17・Q18)

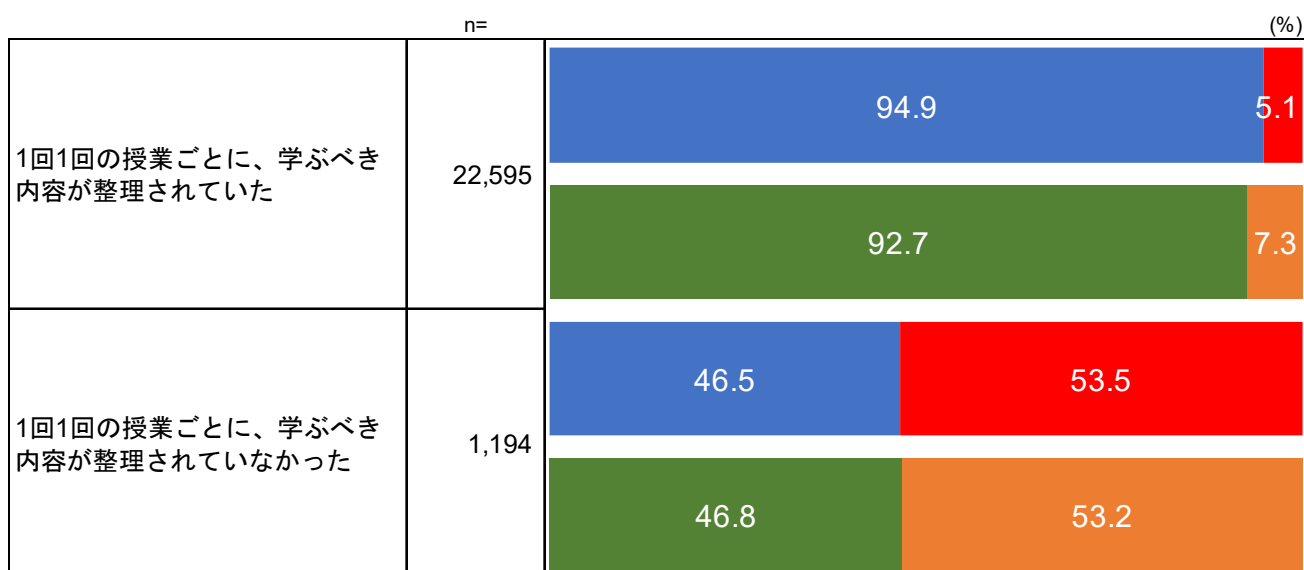
- 下の図は、Q13「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容が整理されていた」と回答した場合には、94.9%が到達目標を達成したと認識、92.7%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「学ぶべき内容が整理されていなかった」と回答した場合には、前者は46.5%、後者は46.8%にとどまります。
- 上記のことから、1回1回の授業ごとに学ぶべき内容が整理されていることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

9. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q14×Q17・Q18)

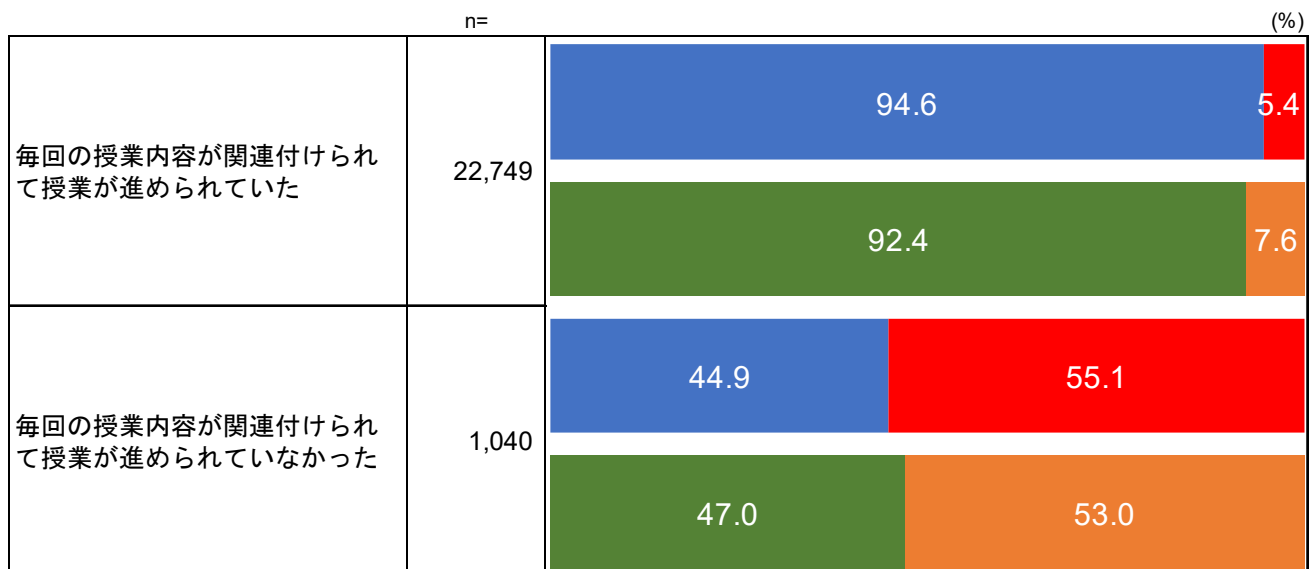
- 下の図は、Q14「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていた」と回答した場合には、94.6%が到達目標を達成したと認識、92.4%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「関連付けられて授業が進められていなかった」と回答した場合には、前者は44.9%、後者は47.0%にとどまります。
- 上記のことから、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

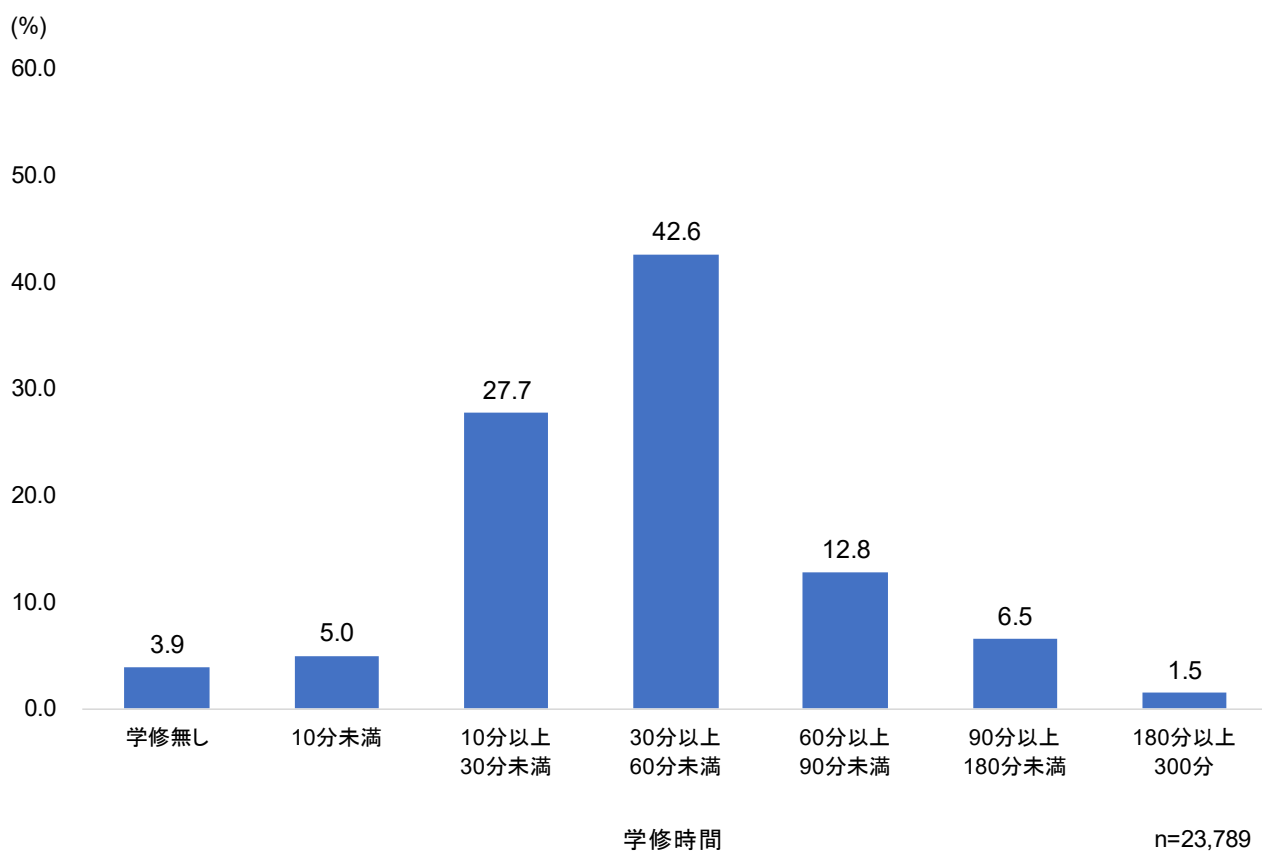
■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



4. 考察(2)本学学士課程学生の授業外学修時間の現状(前期)

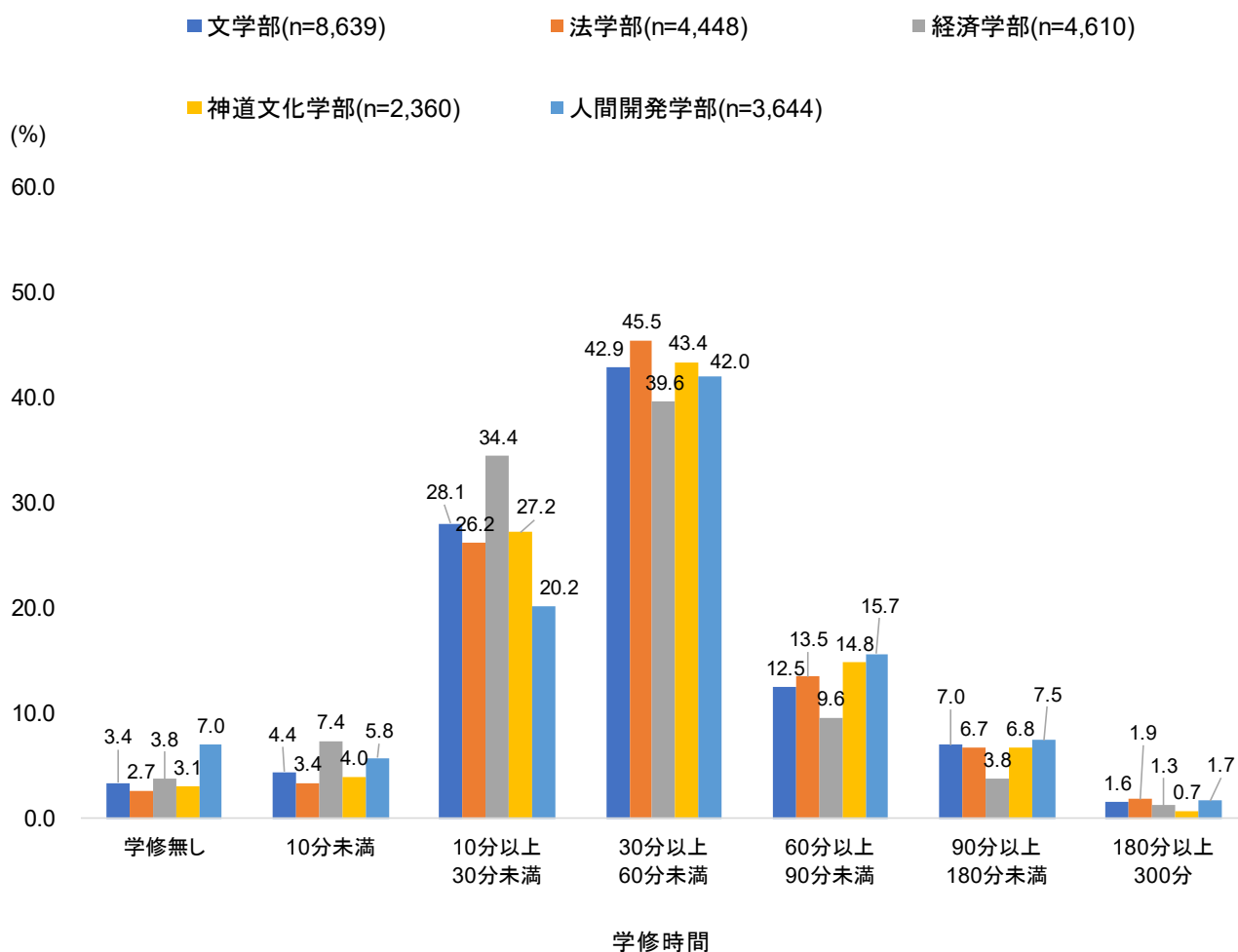
4-1 学士課程全体における学修時間の分布

- 下の図は、Q16「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」の回答結果の分布を示したものです。
- 学生課程全体の授業外学修時間としては、「学修無し」が3.9%、「学修あり(60分未満)」で75.3%、「学修あり(60分以上)」で20.8%となっています。



4-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部で区分して示したものです。
- 全ての学部において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、人間開発学部において「学修無し」の割合が7%と、他と比べて高くなっています。



4-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

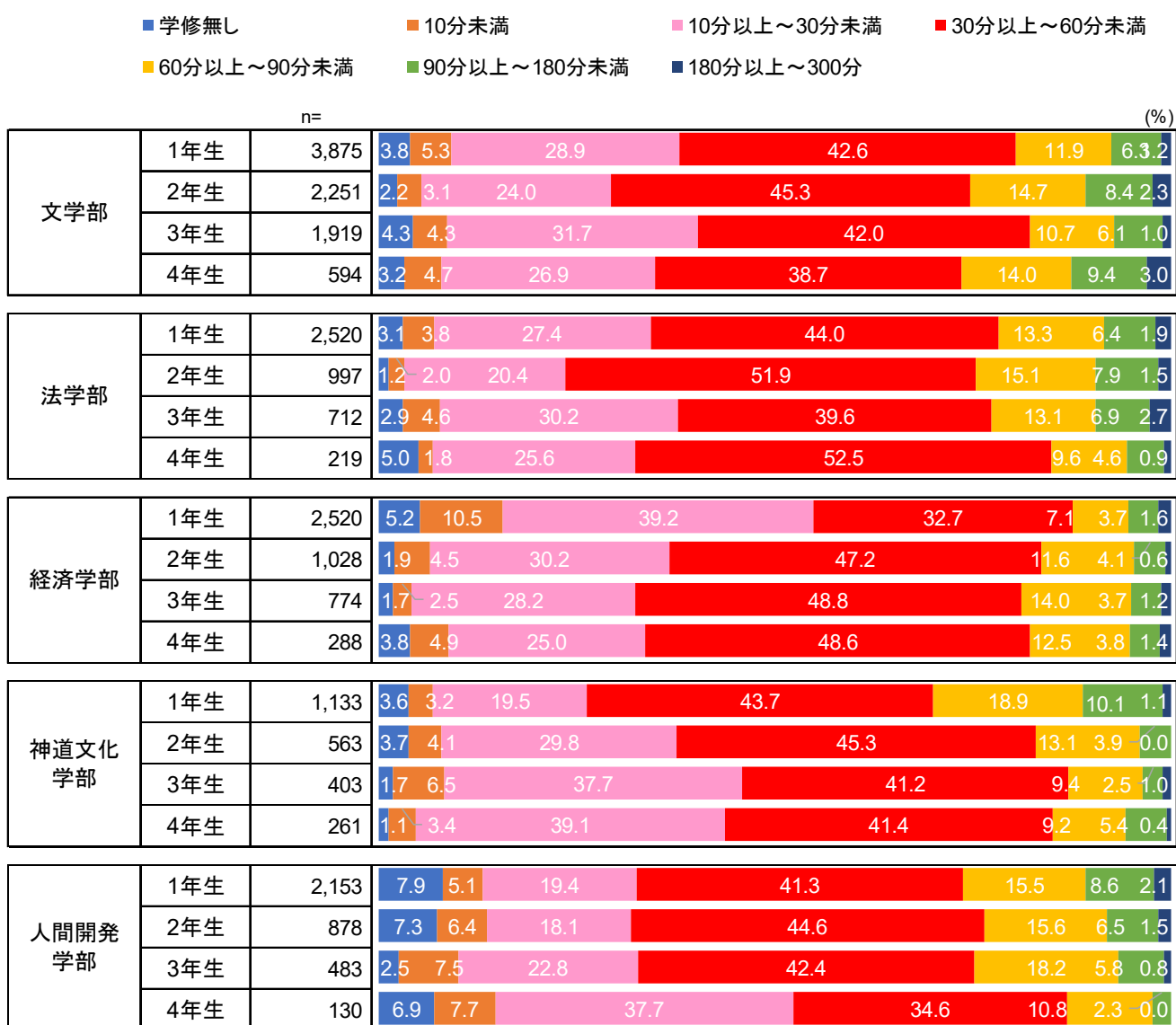
- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科・専攻において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、中国文学科では「学修あり(60分以上)」の割合が30%を超えています。一方、健康体育学科において「学修無し」の割合が10.5%と、他と比べて高くなっています。

■ 学修無し ■ 10分未満 ■ 10分以上～30分未満 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満 ■ 90分以上～180分未満 ■ 180分以上～300分

	n=								(%)
日本文学科	3,364	3.9	4.0	29.4	42.8	11.7	7.0	1.3	
中国文学科	581	2.9	4.1	18.8	41.3	14.8	13.9	4.1	
外国語文化学科	1,274	3.8	5.3	30.2	42.4	12.9	4.3	1.2	
史学科	2,856	3.2	4.1	26.2	43.6	13.6	7.6	1.8	
哲学科	564	2.0	7.1	34.8	42.6	9.2	3.9	0.5	
法律専攻	3,630	2.9	3.4	26.0	46.2	13.6	6.0	1.9	
法律専門職専攻	413	2.4	3.4	29.3	41.6	12.6	9.2	1.5	
政治専攻	405	1.2	3.7	24.4	43.2	14.1	10.6	2.7	
経済学科	2,261	3.1	7.8	33.7	40.8	8.3	4.0	2.2	
経済ネットワーク学科	337	1.5	5.0	19.9	50.7	17.5	4.2	1.2	
経営学科	2,012	4.9	7.4	37.7	36.4	9.8	3.4	0.3	
神道文化学科	2,360	3.1	4.0	27.2	43.4	14.8	6.8	0.7	
初等教育学科	1,311	5.5	5.0	20.3	42.6	16.6	8.4	1.8	
健康体育学科	1,463	10.5	7.2	21.3	40.3	14.1	4.8	1.7	
子ども支援学科	870	3.4	4.7	18.2	44.1	17.1	10.7	1.7	

4-4 回答学生の所属学部×学年別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部×学年で区分して示したものです。
- 全ての所属学科×学年において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、人間開発学部1、2年生において「学修無し」の割合が7%を超え、他と比べてやや高くなっています。



4-5 回答学生の学年×所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

【1年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(1年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、健康体育学科において「学修無し」の割合が10%を超え、他と比べて高くなっています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
■ 90分以上～180分未満
■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	1,538	4.0	4.6	29.6	42.9	11.8	6.0	1.1
中国文学科	309	2.9	5.8	23.3	45.6	9.7	11.0	1.6
外国語文化学科	528	4.2	6.3	34.5	39.6	10.6	3.0	1.9
史学科	1,250	3.8	4.6	24.2	44.3	14.2	7.8	1.2
哲学科	250	2.8	10.0	42.8	34.8	7.2	2.0	0.4
法律専攻	2,128	3.1	3.6	27.4	45.3	13.2	5.6	1.8
法律専門職専攻	191	3.7	5.2	30.4	33.0	14.1	11.5	2.1
政治専攻	201	2.0	5.0	24.9	41.3	13.9	10.0	3.0
経済学科	1,307	3.7	10.9	37.6	32.4	7.0	5.2	3.1
経済ネットワーク学科	—							
経営学科	1,213	6.8	10.1	40.9	33.0	7.3	2.0	0.0
神道文化学科	1,133	3.6	3.2	19.5	43.7	18.9	10.1	1.1
初等教育学科	739	7.3	5.7	19.2	40.5	14.9	10.3	2.2
健康体育学科	945	10.6	6.7	21.8	40.5	13.3	4.9	2.2
子ども支援学科	469	3.6	1.1	14.9	44.3	20.7	13.4	1.9

【2年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(2年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、健康体育学科において「学修無し」の割合が10%を超え、他と比べて高くなっています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
 ■ 90分以上～180分未満
 ■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	858	3.0	3.0	28.0	41.5	13.5	9.1	1.9
中国文学科	127	1.6	0.8	12.6	27.6	22.8	21.3	13.4
外国語文化学科	293	0.7	3.1	21.2	49.8	18.8	5.8	0.7
史学科	797	2.3	3.4	21.1	48.9	14.8	7.7	1.9
哲学科	176	0.6	4.0	31.3	52.3	7.4	4.0	0.6
法律専攻	739	1.2	1.9	19.8	51.8	16.2	7.4	1.6
法律専門職専攻	143	1.4	2.1	24.5	49.7	10.5	10.5	1.4
政治専攻	115	0.9	2.6	19.1	54.8	13.9	7.8	0.9
経済学科	445	1.8	4.3	29.0	50.8	11.9	1.8	0.4
経済ネットワーク学科	11	0.0	90.9	0.0	9.1	0.0		
経営学科	572	2.1	3.0	31.6	45.1	11.5	5.9	0.7
神道文化学科	563	3.7	4.1	29.8	45.3	13.1	3.9	0.0
初等教育学科	306	3.6	3.3	19.9	48.7	18.6	4.9	1.0
健康体育学科	311	13.5	10.3	15.1	40.8	13.2	5.8	1.3
子ども支援学科	261	4.2	5.4	19.5	44.4	14.9	9.2	2.3

【3年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(3年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、中国文学科および外国語文化学科において「学修無し」の割合が5%を超え、他と比べてやや高くなっています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
 ■ 90分以上～180分未満
 ■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	703	4.6	3.6	33.1	44.4	9.0	4.8	0.6
中国文学科	116	5.2	4.3	14.7	37.9	19.8	16.4	1.7
外国語文化学科	397	5.5	5.8	32.2	41.6	9.6	4.8	0.5
史学科	582	3.4	3.8	34.2	39.0	11.5	6.4	1.7
哲学科	121	1.7	5.8	25.6	47.9	11.6	6.6	0.8
法律専攻	583	3.6	5.3	30.2	39.8	12.2	6.2	2.7
法律専門職専攻	68	0.0	1.5	35.3	48.5	13.2	1.5	0.0
政治専攻	61	0.0	1.6	24.6	27.9	21.3	19.7	4.9
経済学科	359	1.9	2.2	28.7	54.6	8.1	3.6	0.8
経済ネットワーク学科	226	0.9	2.2	18.6	52.7	20.4	4.0	1.3
経営学科	189	2.1	3.2	38.6	33.3	17.5	3.7	1.6
神道文化学科	403	1.7	6.5	37.7	41.2	9.4	2.5	1.0
初等教育学科	187	1.1	3.2	17.6	43.9	22.5	9.6	2.1
健康体育学科	183	4.9	4.4	26.2	41.5	20.2	2.7	0.0
子ども支援学科	113	0.9	19.5	25.7	41.6	8.0	4.4	0.0

【4年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(4年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、法律専攻や初等教育学科において「学修無し」の割合が5%を超え、他と比べてやや高くなっています。

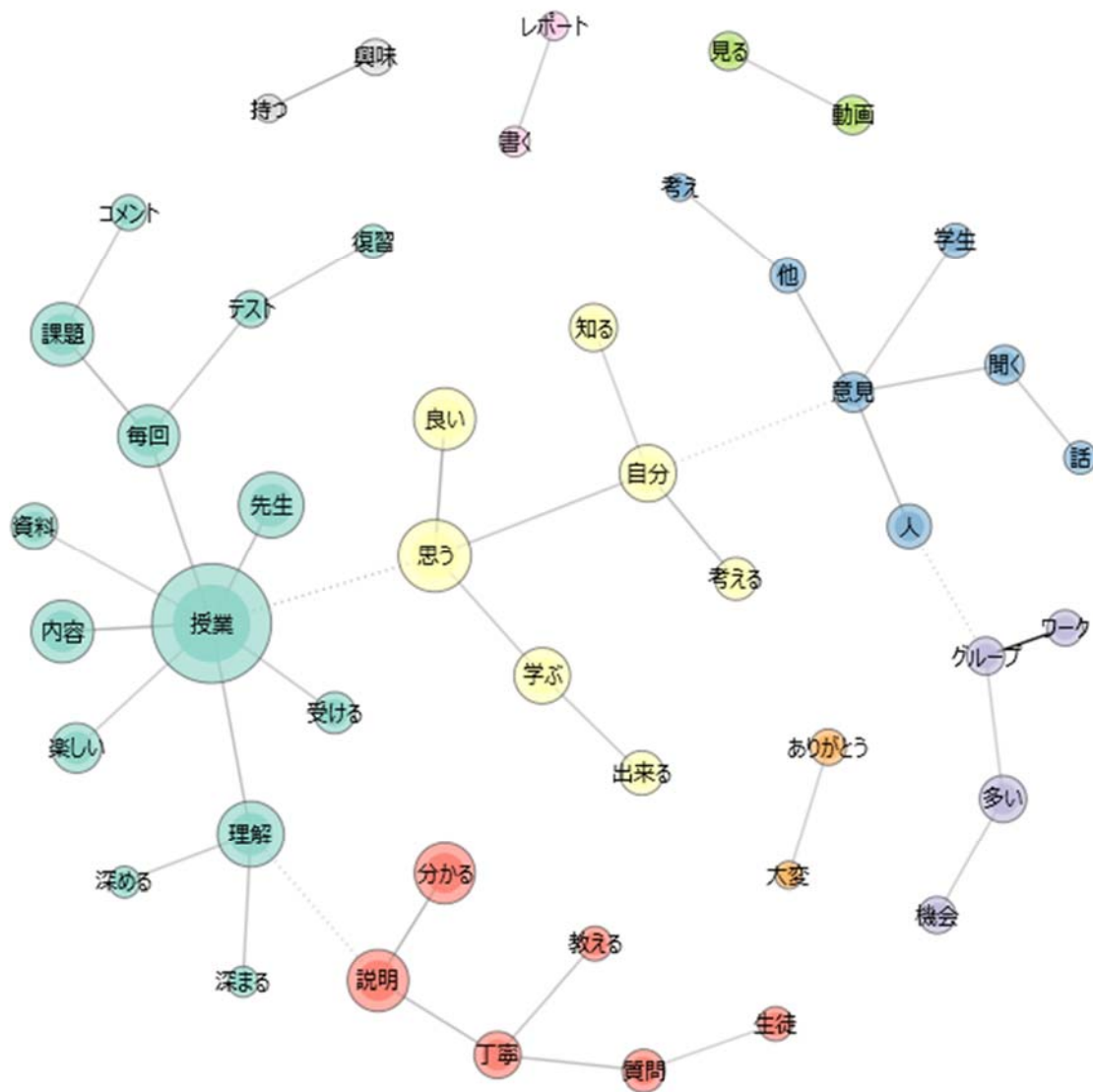
■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
■ 90分以上～180分未満
■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	265	3.8	5.3	23.4	42.3	12.1	10.9	2.3
中国文学科	29	0.0	13.8	69.0	13.8	3.4	0.0	0.0
外国語文化学科	56	3.6	3.6	23.2	35.7	26.8	5.4	1.8
史学科	227	2.6	4.8	34.4	33.0	11.0	9.3	4.8
哲学科	17	5.9	5.9	17.6	17.6	41.2	11.8	0.0
法律専攻	180	5.6	1.7	22.2	54.4	11.1	4.4	0.6
法律専門職専攻	11	9.1	0.0	36.4	45.5	9.1	0.0	0.0
政治専攻	28	0.0	3.6	42.9	42.9	0.0	7.1	3.6
経済学科	150	4.7	5.3	26.0	51.3	9.3	1.3	2.0
経済ネットワーク学科	100	3.0	2.0	25.0	51.0	13.0	5.0	1.0
経営学科	38	2.6	10.5	21.1	31.6	23.7	10.5	0.0
神道文化学科	261	1.1	3.4	39.1	41.4	9.2	5.4	0.4
初等教育学科	79	6.3	8.9	38.0	35.4	10.1	1.3	0.0
健康体育学科	24	12.5	12.5	45.8	16.7	8.3	4.2	0.0
子ども支援学科	27	3.7	0.0	29.6	48.1	14.8	3.7	0.0

5. 自由記述設問の検討(前期)

【Q19 この授業でとても良いと思ったこと】

- ※KH Coderを用いて分析



5-2 代表的な肯定的意見

【Q19 この授業でとても良いと思ったこと】

- 下記は、Q19「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「授業内容」「課題」「実施形態」「教員」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従って、ここで記載した意見をどのように参考にされるかは、個々の先生方の裁量となります。

【授業内容について】

授業計画がしっかり決まっており、受講している側としても学びやすかった
穴埋め形式の資料が使いやすかった
レジュメが、文字を太くしたり下線を引いたりするなど工夫されていて分かりやすかった
将来必要なスキルが養われ、自分自身の成長につながった
一つのテーマを様々に関連づけて講義が展開され、興味深く、集中して受講できた

【課題について】

課題の難易度と量がちょうどよかった
授業内容から課題が出されるので、理解の定着を図ることができた
課題提出後、毎回コメントが書いてあって嬉しかった

【実施形態について】

ライブ・オンデマンド併用だと、オンデマンド動画で分からなかった点をライブ授業で解決できた
遠隔授業だったが、対面と遜色ない工夫がされていた
ホワイトボード機能を使ったオンライン授業がよかった
これまで遠隔授業が多かった分、対面で直接話し合う機会がより一層大切な時間となった
YouTube配信の字幕が分かりやすかった

【教員について】

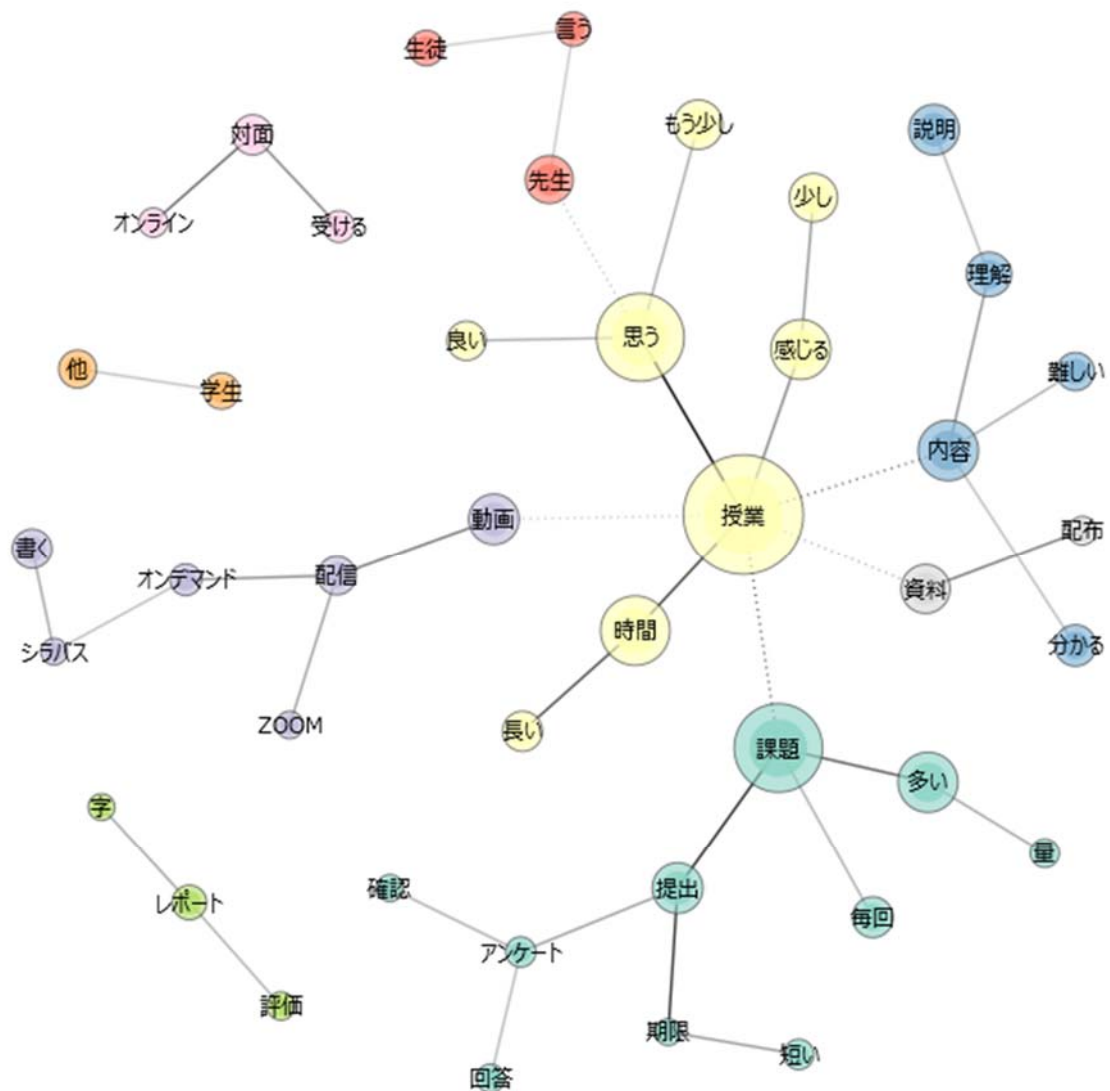
授業後の雑談で距離が縮まった気がして楽しかった
質問や疑問点について丁寧に教えてくれた
とても上品な話し方だが無駄な言葉がなく、授業内容がずっと頭に入ってきた

5-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係

【Q20 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- 下の図は、Q20「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出後の共起関係を示したものです。
- 図の共起関係や頻出単語を見ると「授業時間が長いと感じた」、「授業の内容が難しく、説明もよく理解できなかった」、「毎回、課題の量が多く、提出までの期限が短い」、「アンケート機能による課題提出だと、回答が確認できない」、「シラバスではオンデマンド方式と書かれていたのに、実際は違った」、「授業動画はZoomでの録画配信にしてほしい」といった意見が多く挙げられています。

※KH Coderを用いて分析



5-4 代表的な消極的意見

【Q20 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- 下記は、Q20「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由にご書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「教員」「授業内容」「課題」「実施形態」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従って、ここで記載した意見をどのように参考にされるかは、個々の先生方の裁量となります。

【教員について】

毎回遅刻する上、始める準備にも時間をかけており、かなりの授業時間が削られてしまった
一度も顔を見ておらず、最初くらいはZoomを用いるなどして先生を知る機会がほしかった
授業中での高圧的な発言に不愉快になることが多かった
授業に関係ない雑談が多く、無駄に授業時間が延びることが多かった

【授業内容について】

一部の資料や動画が使い回されたり、内容が古いままだったりした
カリキュラム通りに授業を進めてほしかった
授業時間のペース配分が悪く、後半に時間がなくなって説明を省いたりすることが多かった
教科書や資料をただ読み上げるだけでつまらなかった

【課題について】

オンデマンド授業なのに、その日の授業終了時間までに課題提出など期限が短すぎた
アンケート機能による提出だと、どの課題が未提出なのか、ちゃんと受理されたのかわからない
期末に課題が集中しすぎて大変だった

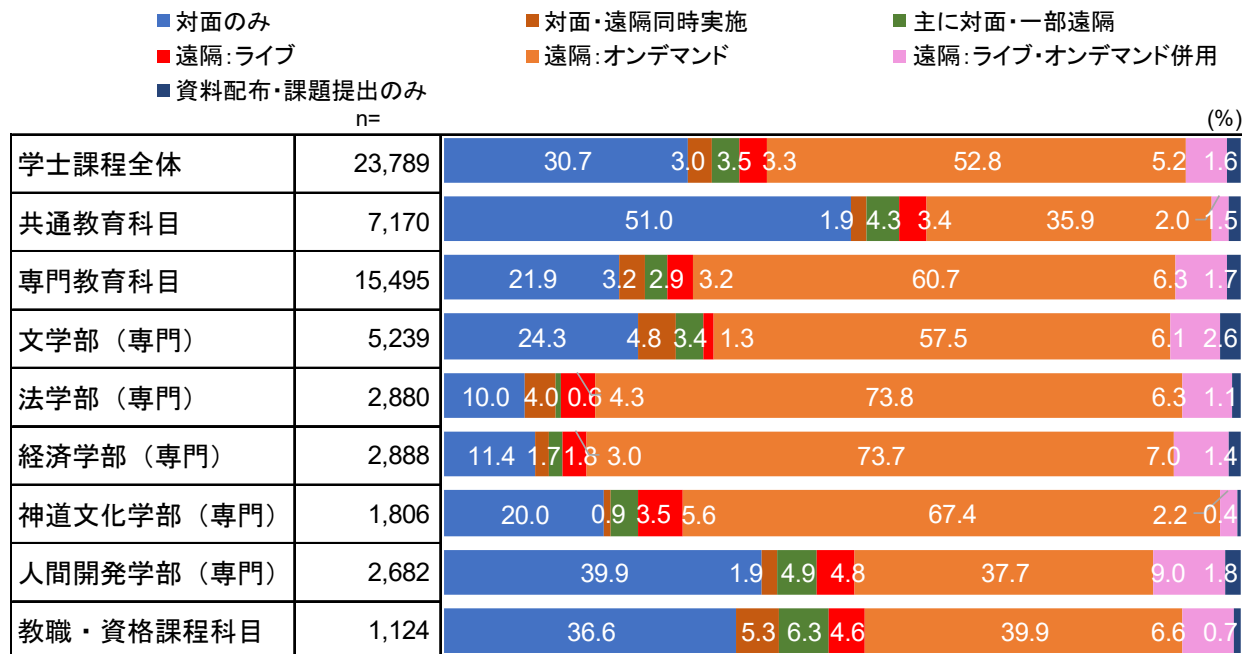
【実施形態について】

教室に来てZoomで授業するのは無駄だと思った
突然休講になったり、オンデマンドに切り替えることが多かった
音声付きのパワーポイント資料は学習しにくかった
K-SMAPYやZoom以外のサービス(box)を使うのは、操作が複雑で大変だった

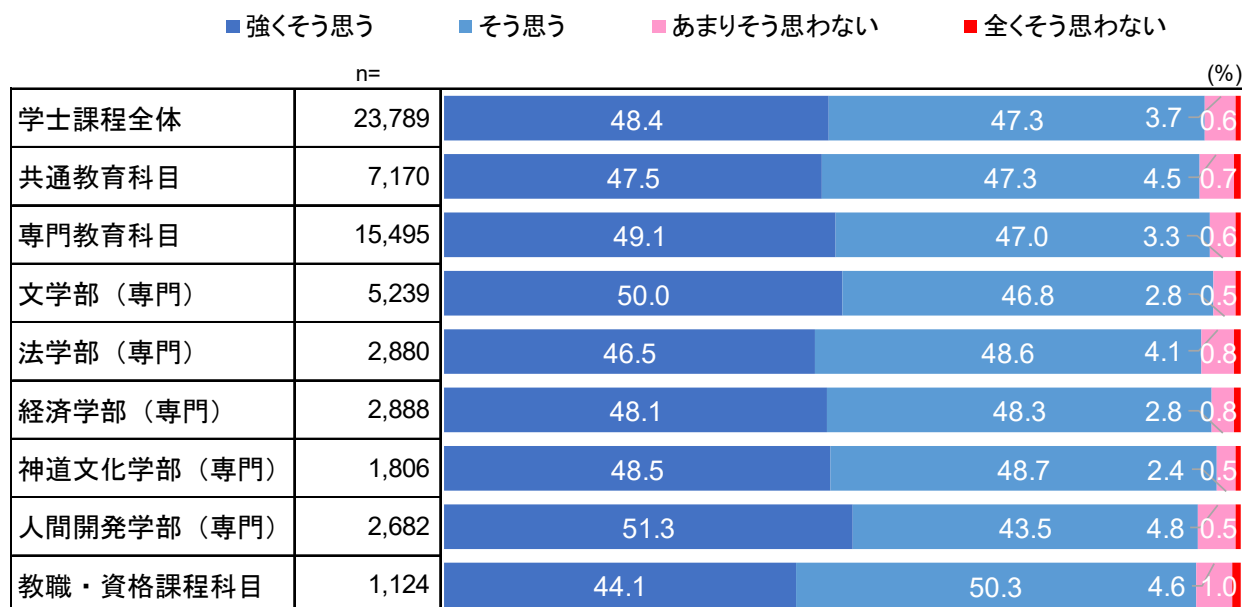
6. 後期集計結果

6-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)

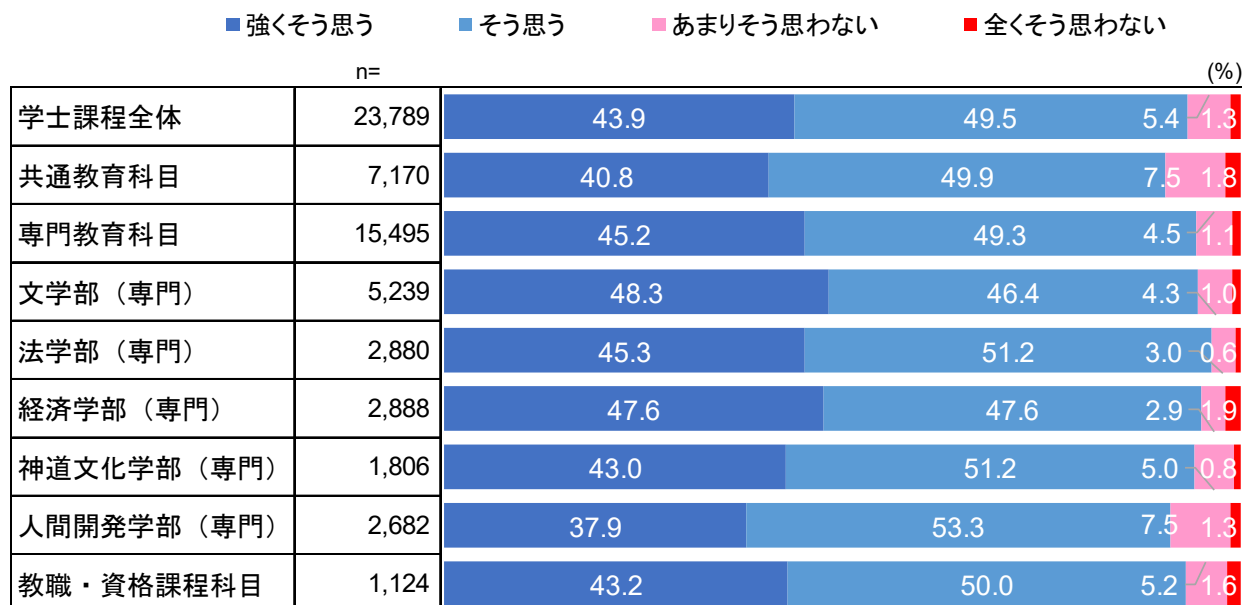
Q1 この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。



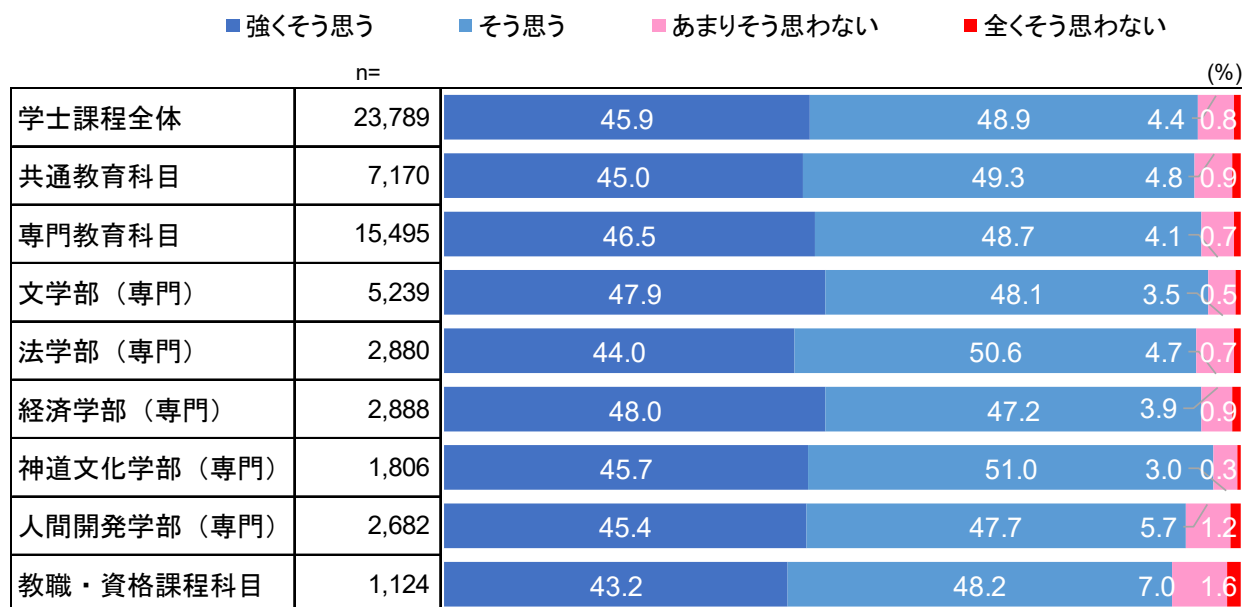
Q2 この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。



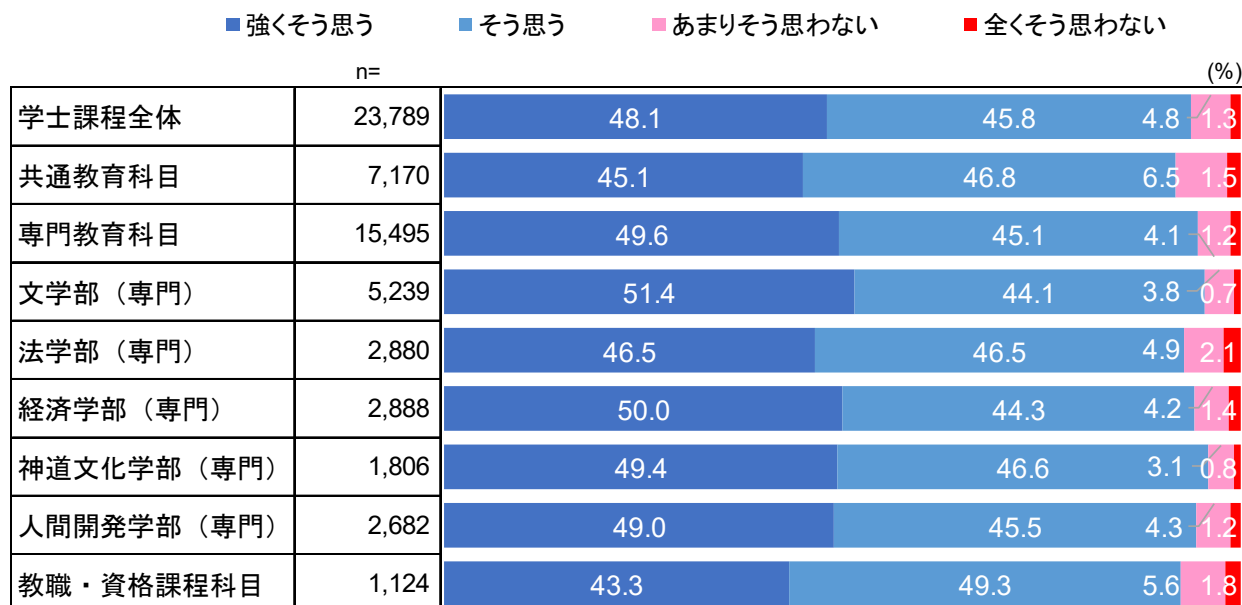
Q3 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。



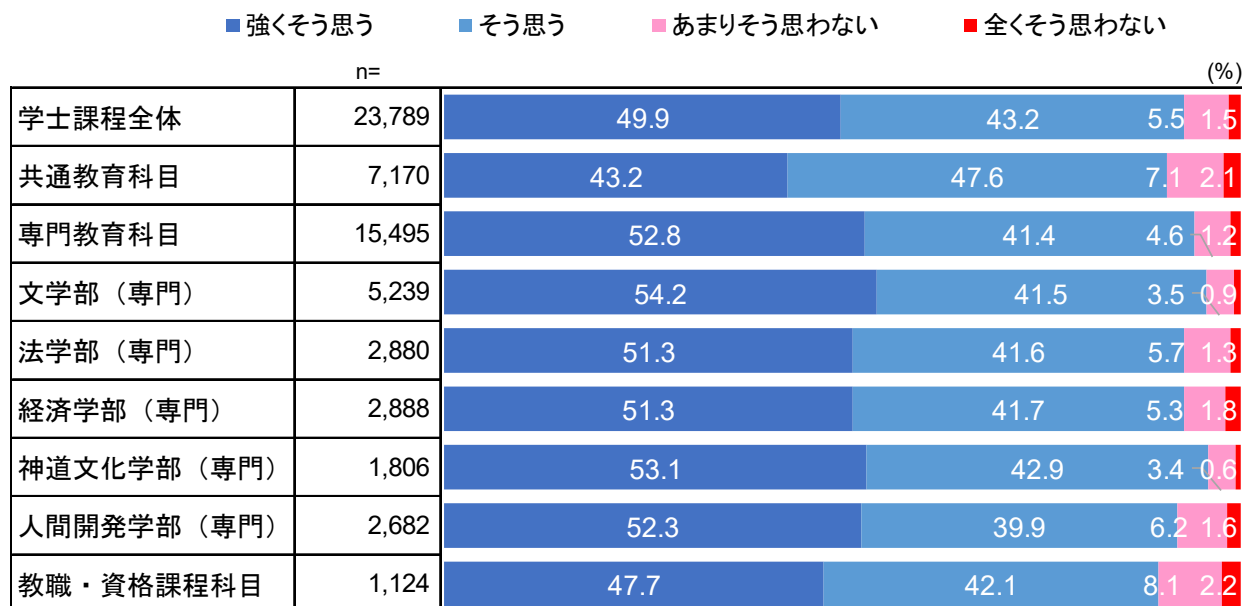
Q4 教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。



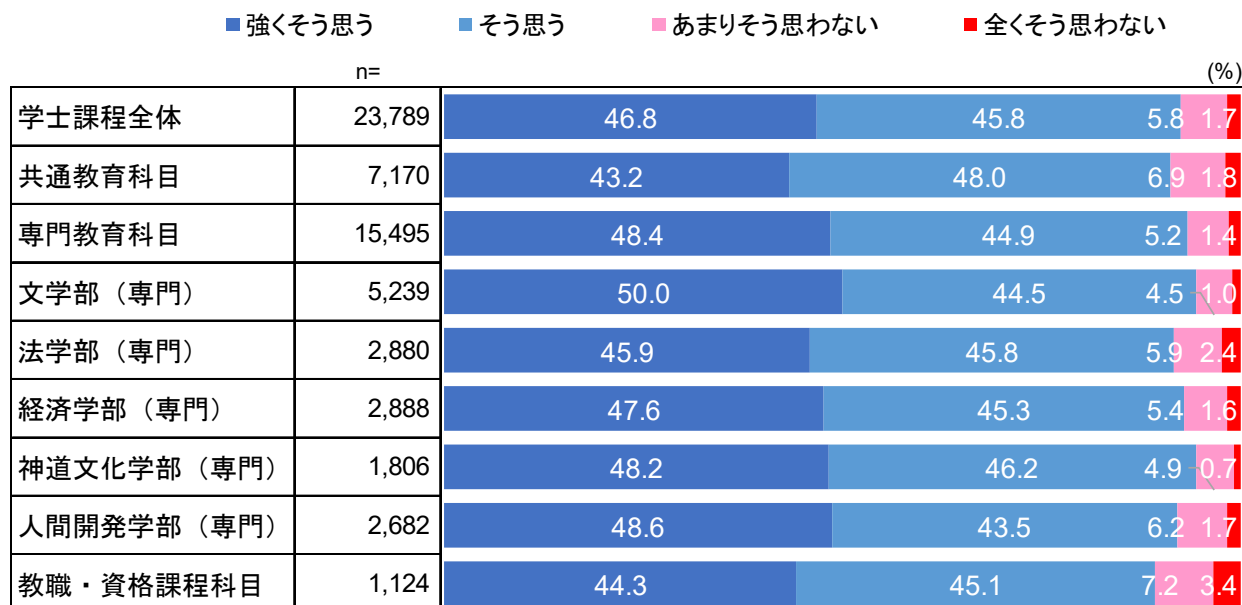
Q5 教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。



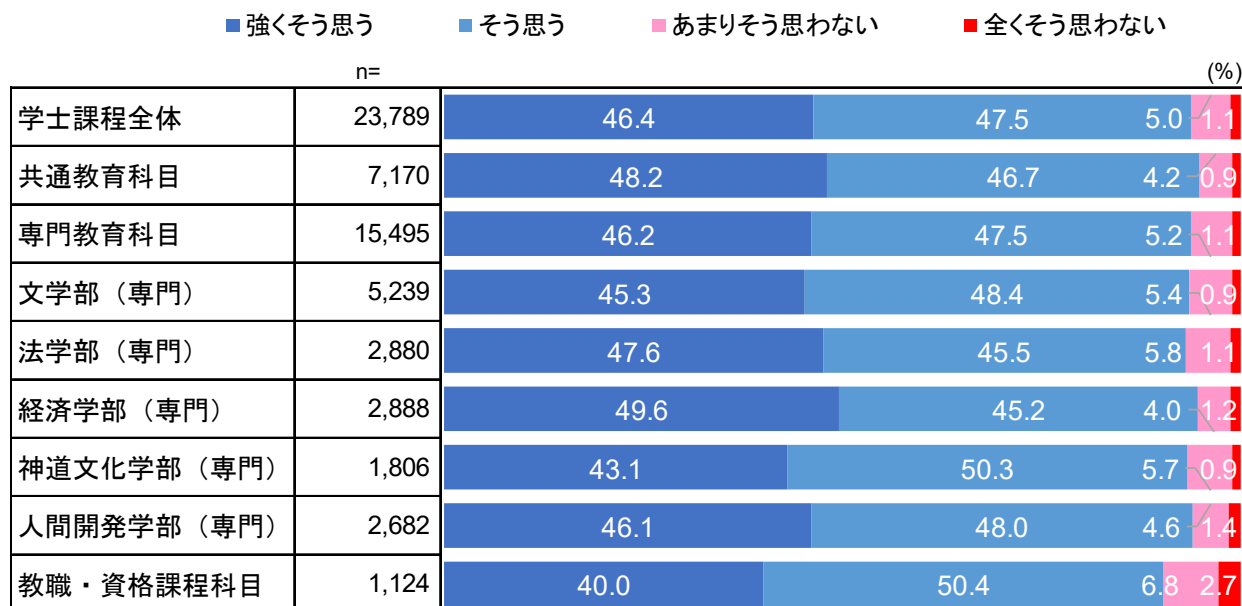
Q6 教員が提供した教材（スライド・レジュメなど）は、理解の助けになりましたか。



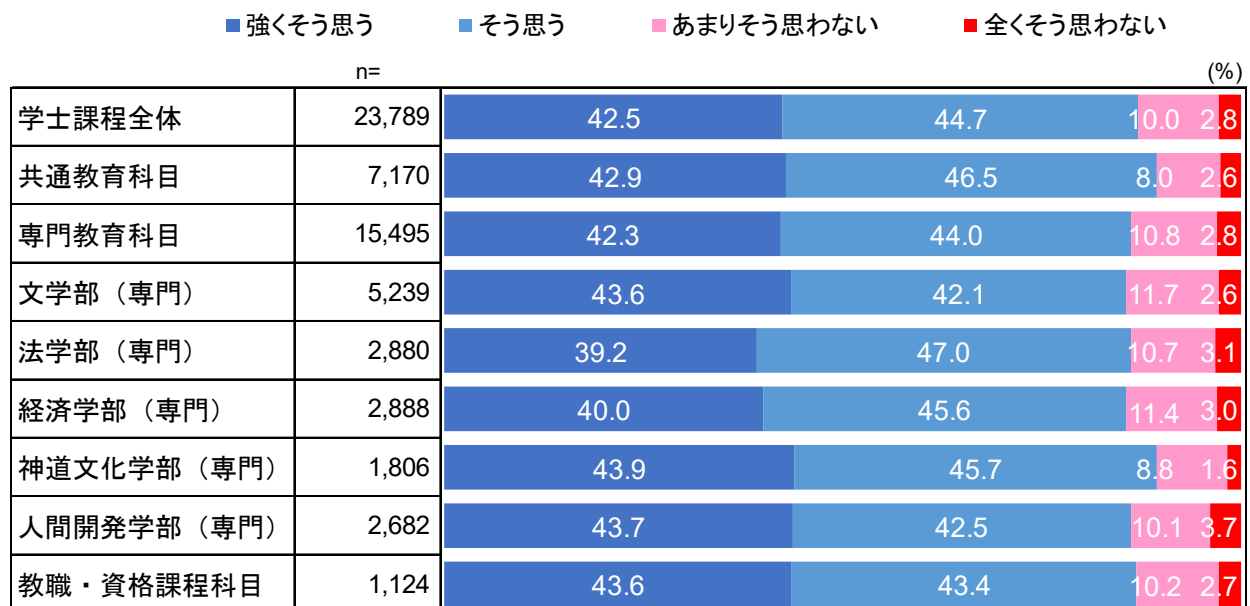
Q7 授業における教員の説明はわかりやすかったですか。



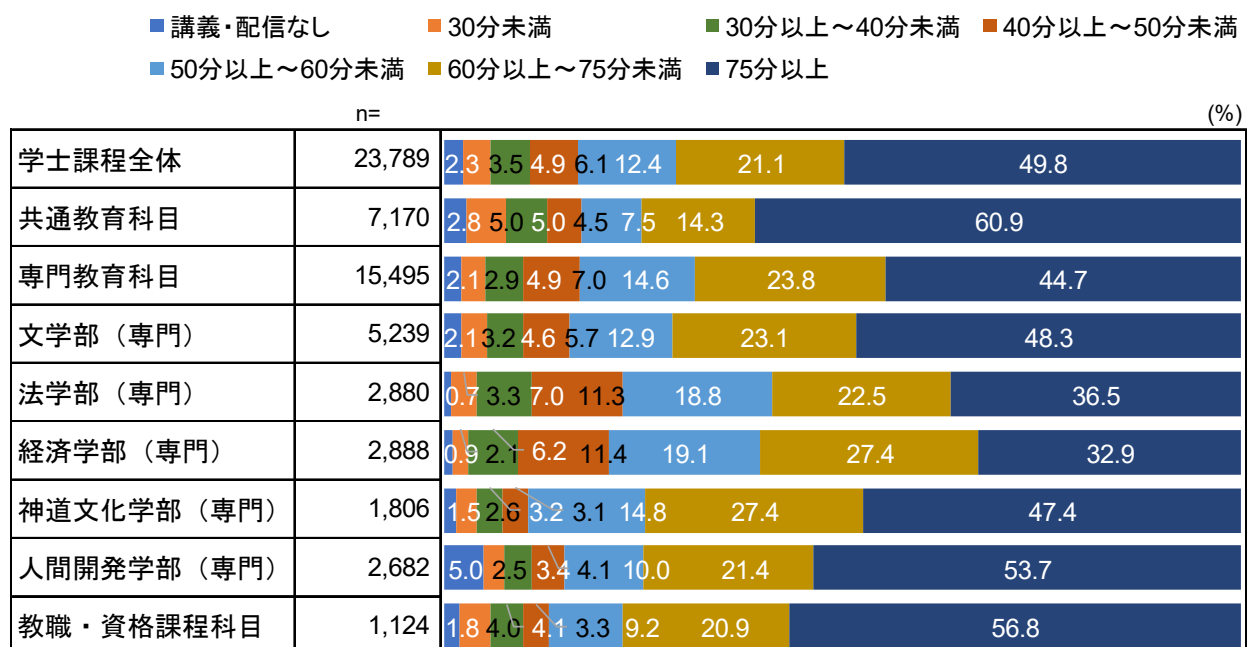
Q8 教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。



Q9 教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。

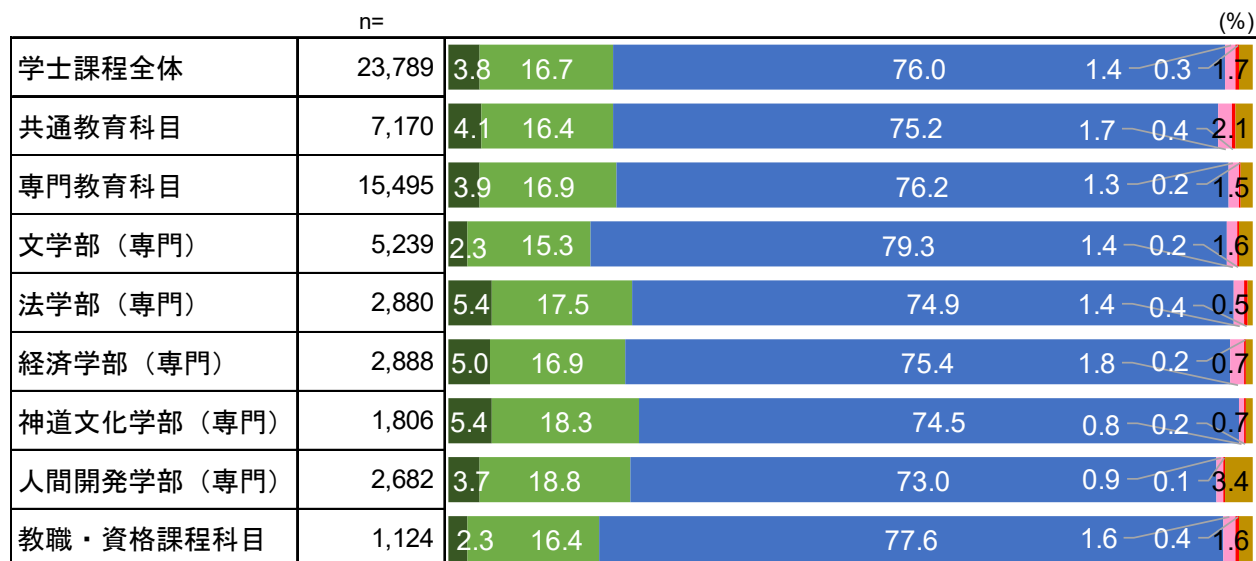


Q10 この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。



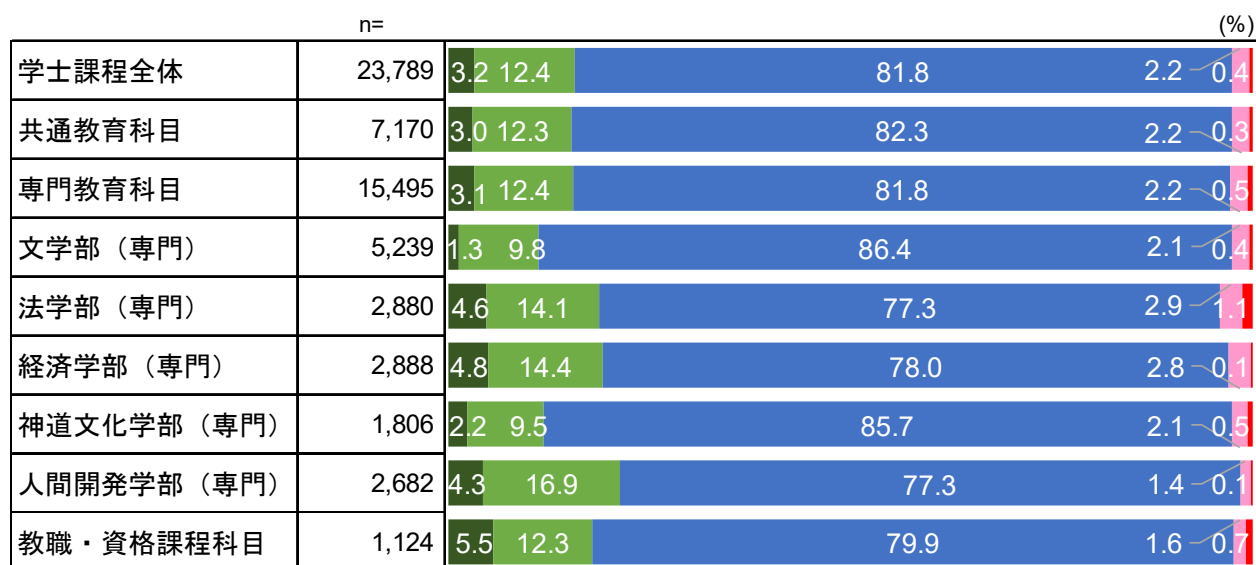
Q11 この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。

■ 長すぎる ■ やや長い ■ ちょうどよい ■ やや短い ■ 短すぎる ■ 講義・配信なし

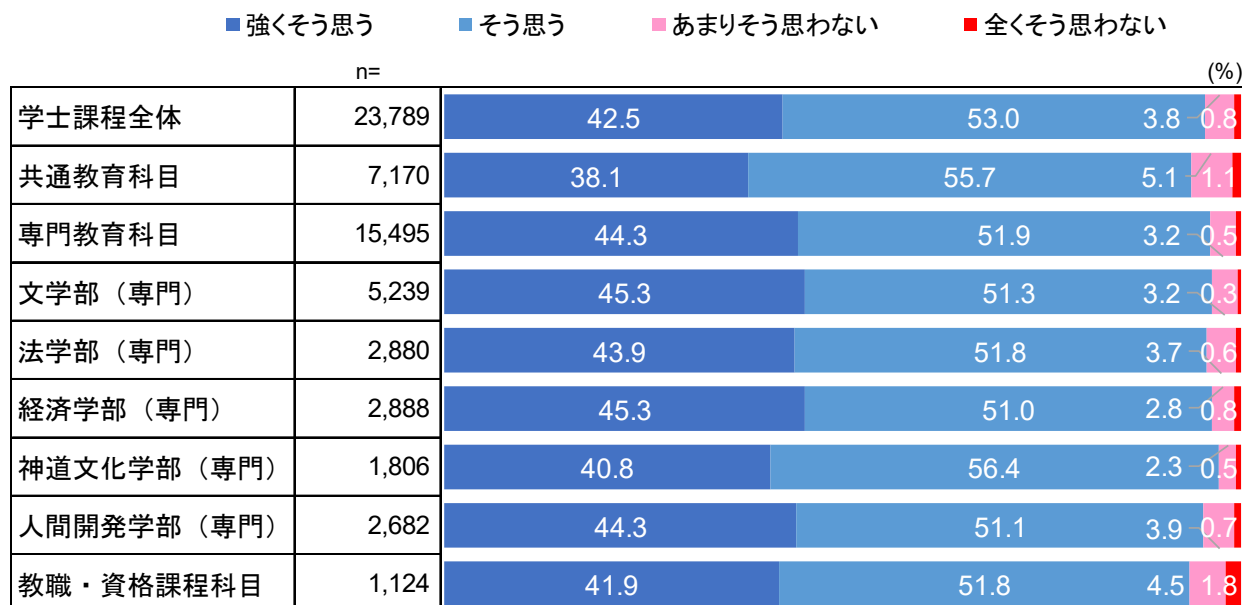


Q12 この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。

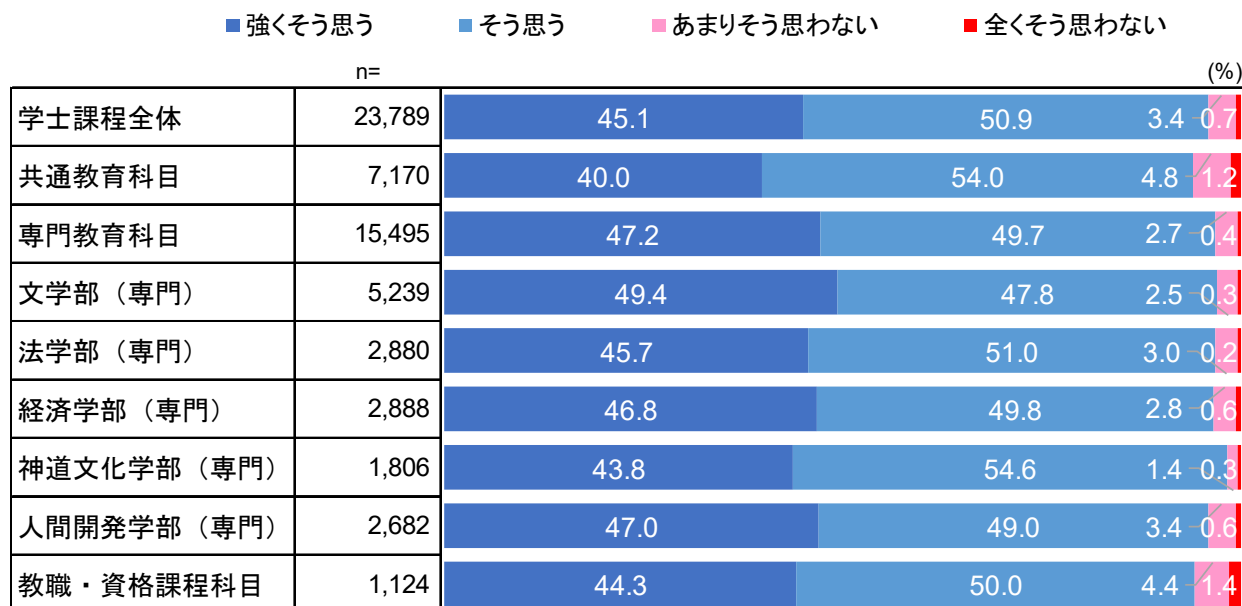
■ 多すぎる ■ やや多い ■ ちょうどよい ■ やや少ない ■ 少なすぎる



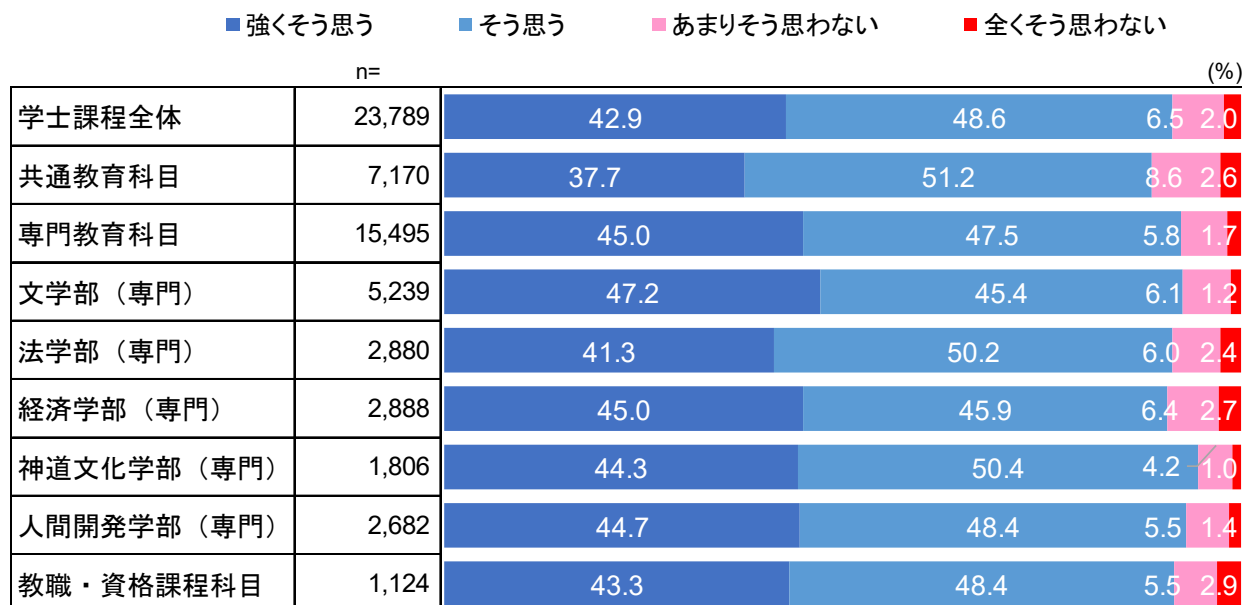
Q13 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか。



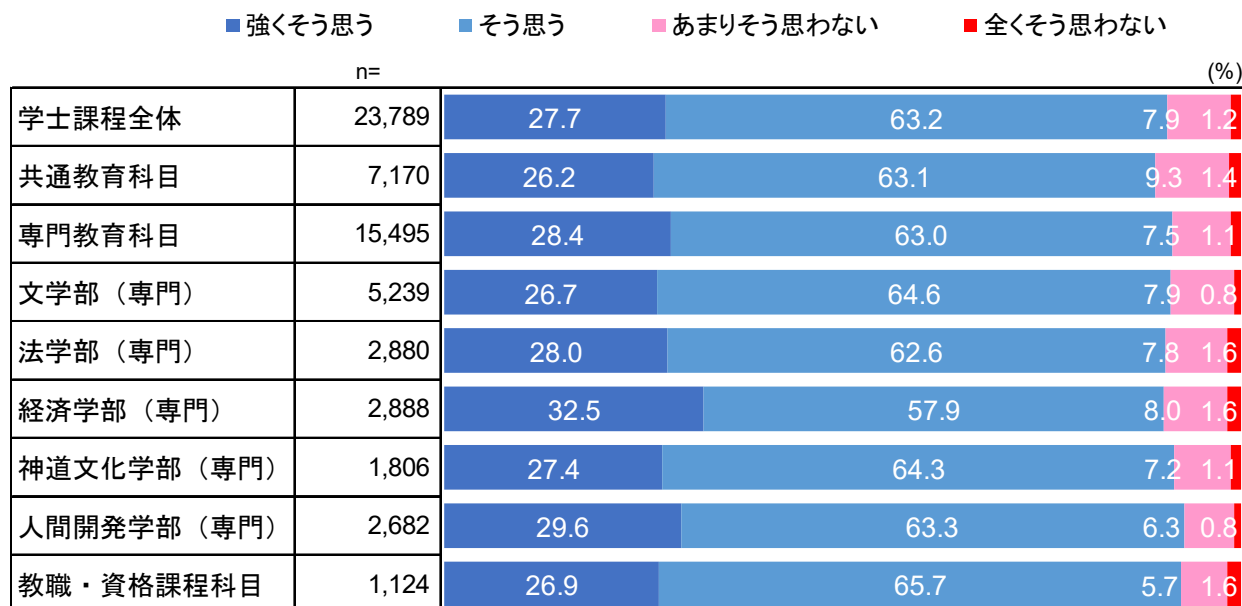
Q14 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。



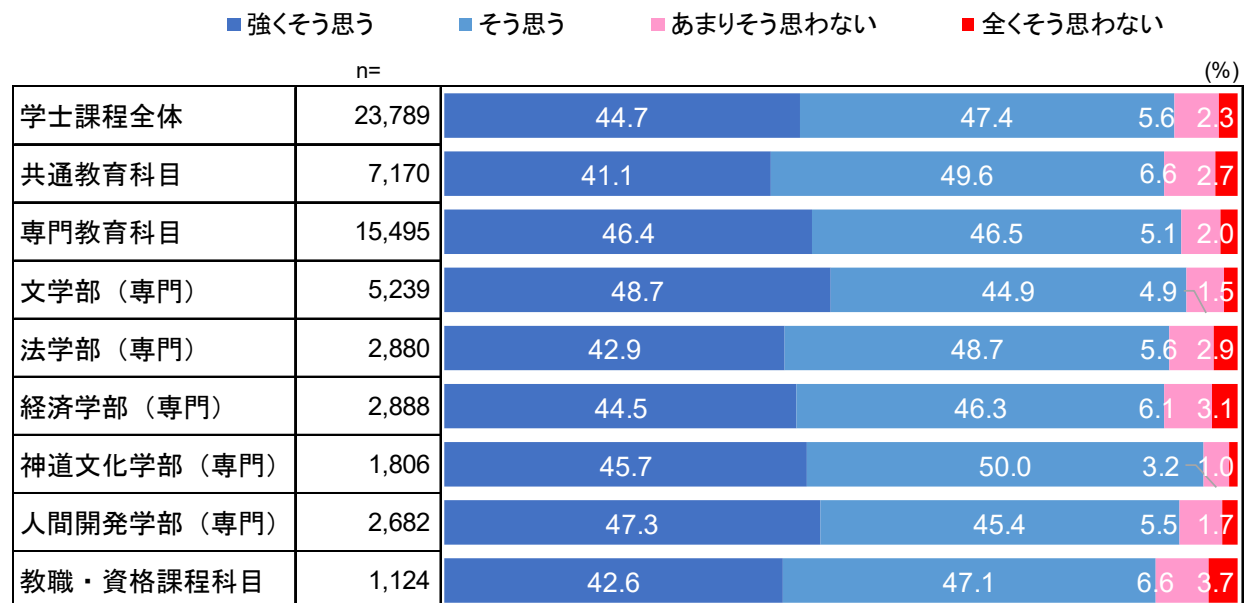
Q15 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。



Q17 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。

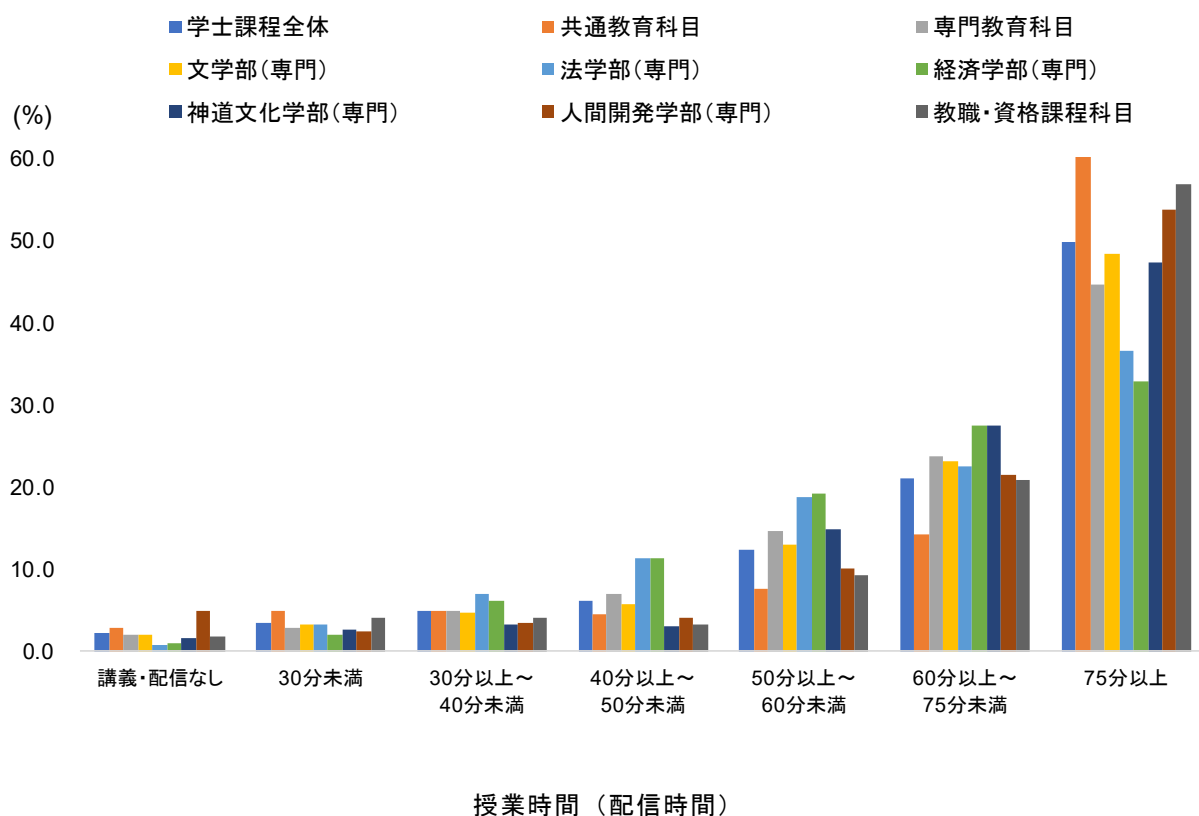


Q18 あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。



Q10 この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。

	講義・配 信なし	30分未満	30分以上 ～ 40分未満	40分以上 ～ 50分未満	50分以上 ～ 60分未満	60分以上 ～ 75分未満	75分以上
学士課程全体	2.3	3.5	4.9	6.1	12.4	21.1	49.8
共通教育科目	2.8	5.0	5.0	4.5	7.5	14.3	60.9
専門教育科目	2.1	2.9	4.9	7.0	14.6	23.8	44.7
文学部（専門）	2.1	3.2	4.6	5.7	12.9	23.1	48.3
法学部（専門）	0.7	3.3	7.0	11.3	18.8	22.5	36.5
経済学部（専門）	0.9	2.1	6.2	11.4	19.1	27.4	32.9
神道文化学部（専門）	1.5	2.6	3.2	3.1	14.8	27.4	47.4
人間開発学部（専門）	5.0	2.5	3.4	4.1	10.0	21.4	53.7
教職・資格課程科目	1.8	4.0	4.1	3.3	9.2	20.9	56.8



●集計結果の総評

- それぞれの設問について、授業科目の区分に従い、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1)学士課程全体(全回答)、(2)共通教育科目等と専門教育科目と教職・資格課程科目、(3)学部別にみた専門教育科目、です。以下で各設問の結果をまとめます。
- Q1は、「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」です。学士課程全体では、およそ6割が遠隔のみの授業で、「対面のみ」は30.7%でした。共通教育科目では「対面のみ」の割合が51.0%と半数に達している一方、経済学部と法学部の専門教育科目では「対面のみ」の割合が1割程度にとどまっています。
- Q2は、「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」です。肯定回答(「強く思う」と「そう思う」の合計。以下、同様の記述)は学士課程全体で95.6%でした。なお、全ての集計区分で肯定回答が95%前後と非常に高い結果となっています。
- Q3は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で9割を超えており、学士課程全体では93.3%でした。また、文学部、経済学部の専門教育科目は、全体に比べ「強く思う」の割合が高くなっています。
- Q4は「教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」です。肯定回答は学士課程全体で94.7%でした。なお、Q3と同様、全ての集計区分で肯定回答が9割以上と高い結果になっています。
- Q5は、「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか」です。全ての集計区分で肯定回答の割合が9割以上と高い結果になっており、学士課程全体では93.9%でした。
- Q6は、「教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配布資料)は、理解の助けになりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で93.0%でした。専門教育科目では、全ての学部で「強く思う」割合が5割を超えています。

- Q7は、「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.6%でした。また、全ての集計区分で肯定回答が9割前後となっています。
- Q8は、「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で9割を超えており、学士課程全体では93.9%でした。
- Q9は、「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で87.2%でした。共通教育科目は89.4%、神道文化学部専門教育科目は89.6%と、全体に比べて肯定回答の割合がやや高くなっています。
- Q10は「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」です。「60分以上」の回答は、学士課程全体で70.9%でした。共通教育科目、教職・資格課程科目、あるいは神道文化学部、人間開発学部の専門教育科目で、「60分以上」の回答割合が他に比べ高い結果となっています。
- Q11は、「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は適切な長さだったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で76.0%でした。教職・資格課程科目の「ちょうどよい」の回答割合が77.6%、文学部の専門教育科目が79.3%と、他に比べて高くなっています。
- Q12は、「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は適切な分量だったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で81.8%でした。共通教育科目では82.3%、学部別では文学部で86.4%、神道文化学部で85.7%が「ちょうどよい」と回答しており、全体に比べて高い結果となっています。
- Q13は、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で95.5%でした。なお、全ての集計区分で肯定回答が95%前後と非常に高い結果となっています。

- Q14は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で96.0%でした。Q13と同様に、全ての集計区分で肯定回答の割合が95%前後と非常に高い結果となっています。
 - Q15は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.5%でした。共通教育科目を除く全ての集計区分で、肯定回答の割合は9割以上となっています。学部別に見ると、神道文化学部で肯定回答の割合が94.8%と最も高くなっています。
 - Q17は、「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で90.9%でした。Q15と同様、共通教育科目を除く全ての集計区分で、肯定回答の割合は9割以上となっています。
 - Q18は、「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.1%でした。学部別に見ると、神道文化学部で肯定回答の割合が95.8%と最も高くなっています。
- *****
- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを完結に整理しました。令和3年度後期の授業評価アンケートの集計結果によれば、本学の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向にありました。
 - 概ね肯定回答の割合が多くを占めた中で、全ての集計区分で肯定回答が90%を下回った設問は、Q18「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」です。また、学士課程全体で消極的な回答が10%以上となっている設問は、Q18のみでした。

7. 考察(1)設問間のクロス表分析(後期)

7-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q17・Q18)

【全体】

- 下の図は、学士課程全体の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、90.9%が到達目標を達成したと認識し、92.3%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、ハイブリッド授業を除き、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と比べると、ハイブリッド授業で肯定割合が減少している以外は大きな違いはありませんでした。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	4,088	90.9	9.1
		92.3	7.7
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	397	85.4	14.6
		88.7	11.3
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	462	90.3	9.7
		93.3	6.7
遠隔：ライブ (リアルタイム)	446	91.5	8.5
		91.9	8.1
遠隔：オンデマンド (動画配信)	7,037	91.3	8.7
		92.6	7.4
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	687	91.0	9.0
		89.4	10.6
資料配布・課題提出のみ	215	89.3	10.7
		89.8	10.2

【文学部】

- 下の図は、文学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、90.3%が到達目標を達成したと認識し、92.9%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態でも、オンデマンドの場合は、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修してよかったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、全体的に前期と大きな違いはありませんでしたが、資料配布・課題提出のみで肯定割合が増加しています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	1,798	90.3	9.7
		92.9	7.1
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	230	87.8	12.2
		91.3	8.7
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	284	89.1	10.9
		93.3	6.7
遠隔：ライブ (リアルタイム)	126	85.7	14.3
		91.3	8.7
遠隔：オンデマンド (動画配信)	2,594	91.4	8.6
		93.1	6.9
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	278	91.4	8.6
		90.3	9.7
資料配布・課題提出のみ	115	91.3	8.7
		91.3	8.7

【法学部】

- 下の図は、法学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、92.7%が到達目標を達成したと認識し、92.2%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、ハイブリッド授業を除き、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と比べると、ハイブリッド授業で肯定割合が減少している以外は大きな違いはありませんでした。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

n=		(%)	
対面のみ	587	92.7	7.3
		92.2	7.8
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	80	75.0	25.0
		76.3	23.8
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	18	100.0	0.0
		88.9	11.1
遠隔：ライブ (リアルタイム)	97	96.9	3.1
		96.9	3.1
遠隔：オンデマンド (動画配信)	1,604	91.8	8.2
		92.1	7.9
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	129	90.7	9.3
		88.4	11.6
資料配布・課題提出のみ	27	96.3	3.7
		85.2	14.8

【経済学部】

- 下の図は、経済学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、92.8%が到達目標を達成したと認識し、93.8%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態でも、オンデマンドの場合は、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修してよかったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、全体的に前期と大きな違いはありませんでした。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	400	92.8	7.3
		93.8	6.3
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	26	84.6	15.4
		88.5	11.5
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	29	96.6	3.4
		93.1	6.9
遠隔：ライブ (リアルタイム)	60	81.7	18.3
		80.0	20.0
遠隔：オンデマンド (動画配信)	1,194	90.3	9.7
		90.7	9.3
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	105	91.4	8.6
		85.7	14.3
資料配布・課題提出のみ	32	78.1	21.9
		75.0	25.0

【神道文化学部】

- 下の図は、神道文化学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、85.4%が到達目標を達成したと認識し、90.5%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、ライブやオンデマンドの場合は、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修してよかったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と比べると、対面のみで肯定割合が減少しています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)	
対面のみ	432	85.4	14.6	90.5	9.5
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	26	84.6	15.4	92.3	7.7
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	48	85.4	14.6	91.7	8.3
遠隔：ライブ (リアルタイム)	81	96.3	3.7	97.5	2.5
遠隔：オンデマンド (動画配信)	911	90.3	9.7	94.3	5.7
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	30	80.0	20.0	90.0	10.0
資料配布・課題提出のみ	9	77.8	22.2	100.0	0.0

【人間開発学部】

- 下の図は、人間開発学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、92.4%が到達目標を達成したと認識し、91.1%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修してよかったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、全体的に前期と大きな違いはありませんでした。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	852	92.4	7.6
		91.1	8.9
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	34	94.1	5.9
		97.1	2.9
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	77	92.2	7.8
		94.8	5.2
遠隔：ライブ (リアルタイム)	82	96.3	3.7
		90.2	9.8
遠隔：オンデマンド (動画配信)	722	92.2	7.8
		92.5	7.5
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	145	92.4	7.6
		91.0	9.0
資料配布・課題提出のみ	32	90.6	9.4
		100.0	0.0

【1年生】

- 下の図は、1年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、91.1%が到達目標を達成したと認識し、92.1%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、配信を伴う授業形態でも、遠隔のみの場合は、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と比べると、ハイブリッド授業で肯定割合が減少している以外は大きな違いはありませんでした。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		n=		(%)
対面のみ	2,175	91.1	8.9	92.1	7.9	
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	198	79.8	20.2	83.3	16.7	
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	138	87.0	13.0	94.2	5.8	
遠隔：ライブ (リアルタイム)	222	89.2	10.8	92.3	7.7	
遠隔：オンデマンド (動画配信)	3,293	91.0	9.0	92.4	7.6	
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	267	89.9	10.1	89.1	10.9	
資料配布・課題提出のみ	16	62.5	37.5	62.5	37.5	

【2年生】

- 下の図は、2年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、90.3%が到達目標を達成したと認識し、91.0%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。配信を伴う授業形態でも、遠隔のみの場合には、9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と比べると、ハイブリッド授業で肯定割合が減少した一方、ライブでは肯定割合が増加しています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)
対面のみ	1,122	90.3	9.7	91.0
				9.0
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	66	81.8	18.2	90.9
				9.1
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	159	89.3	10.7	90.6
				9.4
遠隔：ライブ (リアルタイム)	113	93.8	6.2	92.0
				8.0
遠隔：オンデマンド (動画配信)	1,967	93.3	6.7	94.4
				5.6
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	181	91.2	8.8	90.1
				9.9
資料配布・課題提出のみ	74	89.2	10.8	93.2
				6.8

【3年生】

- 下の図は、3年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、90.3%が到達目標を達成したと認識し、93.4%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、他の授業形態でも、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と比べると、ハイブリッド授業で肯定割合が減少した一方、ライブ及び資料配布・課題提出のみでは肯定割合が増加しています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)
対面のみ	518	90.3	9.7	
		93.4	6.6	
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	75	96.0	4.0	
		94.7	5.3	
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	108	95.4	4.6	
		94.4	5.6	
遠隔：ライブ (リアルタイム)	79	91.1	8.9	
		87.3	12.7	
遠隔：オンデマンド (動画配信)	1,296	87.9	12.1	
		89.5	10.5	
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	186	93.0	7.0	
		88.7	11.3	
資料配布・課題提出のみ	101	92.1	7.9	
		90.1	9.9	

【4年生】

- 下の図は、4年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、対面のみの場合には、92.3%が到達目標を達成したと認識し、96.7%がこの授業を履修して良かったと感じた、と答えています。また、他の授業形態でも、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修して良かったと回答しています。
- 上記のことから、授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と比べると、対面のみで到達目標達成度やオンデマンドにおいて肯定割合が増加しています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

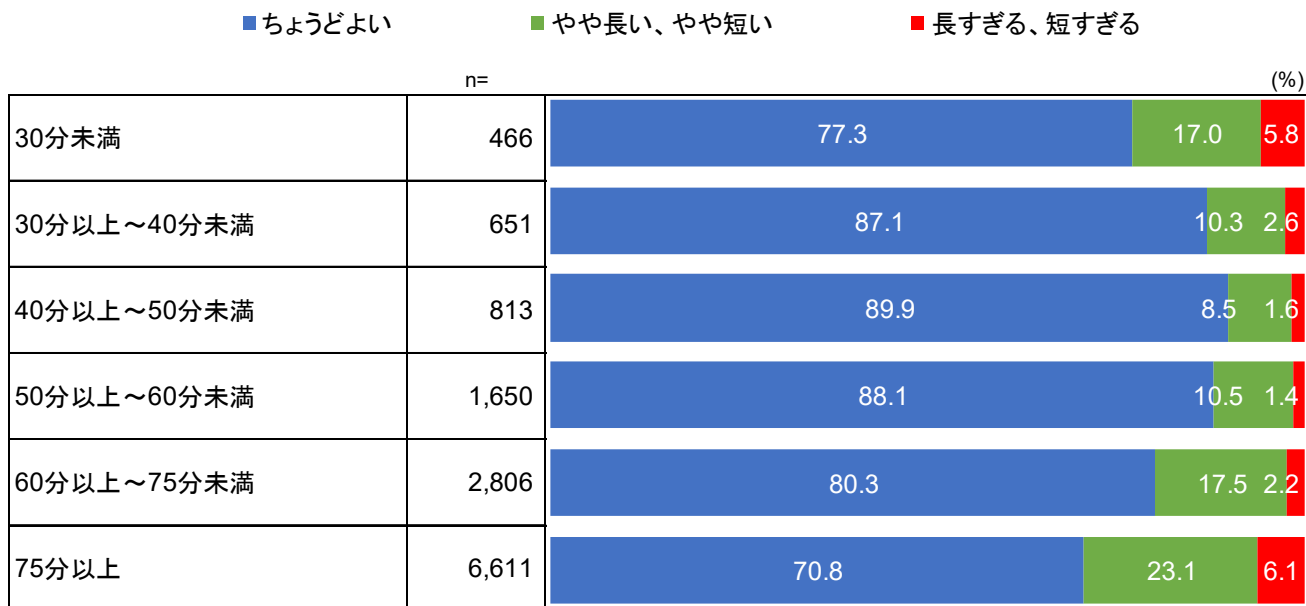
■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)
対面のみ	273	92.3	7.7	
		96.7	3.3	
対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	58	94.8	5.2	
		96.6	3.4	
主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	57	91.2	8.8	
		96.5	3.5	
遠隔：ライブ (リアルタイム)	32	100.0	0.0	
		100.0	0.0	
遠隔：オンデマンド (動画配信)	481	93.3	6.7	
		94.4	5.6	
遠隔：ライブ・オンデマンド 併用	53	88.7	11.3	
		90.6	9.4	
資料配布・課題提出のみ	24	95.8	4.2	
		95.8	4.2	

7-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

2. 1回あたりの授業時間(配信時間)に対する学生の反応(Q10×Q11)

- 下の図は、Q10「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」と、Q11「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「30分以上～40分未満」「40分以上～50分未満」「50分以上～60分未満」の授業において、「ちょうどよい」と回答した割合は9割近くとなっています。一方で、「75分以上」の授業においては7割程度となっています。
- 上記のことから、特に遠隔で配信時間が75分を超える授業では、進行のペース配分や予定時間の超過といった点で改善点の検討が必要と考えられます。尚、前期と比べると、「75分以上」以外においては「ちょうどよい」の割合が増加しています。



※Q11 については、「講義・配信なし」の回答者を除外して集計しています。

7-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

3. 授業時間(配信時間)の長さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響 (Q11×Q17・Q18)

- 下の図は、Q11「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、93.8%が到達目標を達成したと認識、95.8%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「長すぎる、短すぎる」と回答した場合には、前者は70.5%、後者は61.8%にとどまります。
- 上記のことから、「1回あたりの授業時間(配信時間)の長さ」が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	n=		(%)
ちょうどよい	10,137	93.8	6.2	
		95.8	4.2	
やや長い、やや短い	2,451	83.5	16.5	
		84.5	15.5	
長すぎる、短すぎる	552	70.5	29.5	
		61.8	38.2	
講義・配信なし	222	89.2	10.8	
		85.6	14.4	

7-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

4. 課題の量の多さが、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q12×Q17・Q18)

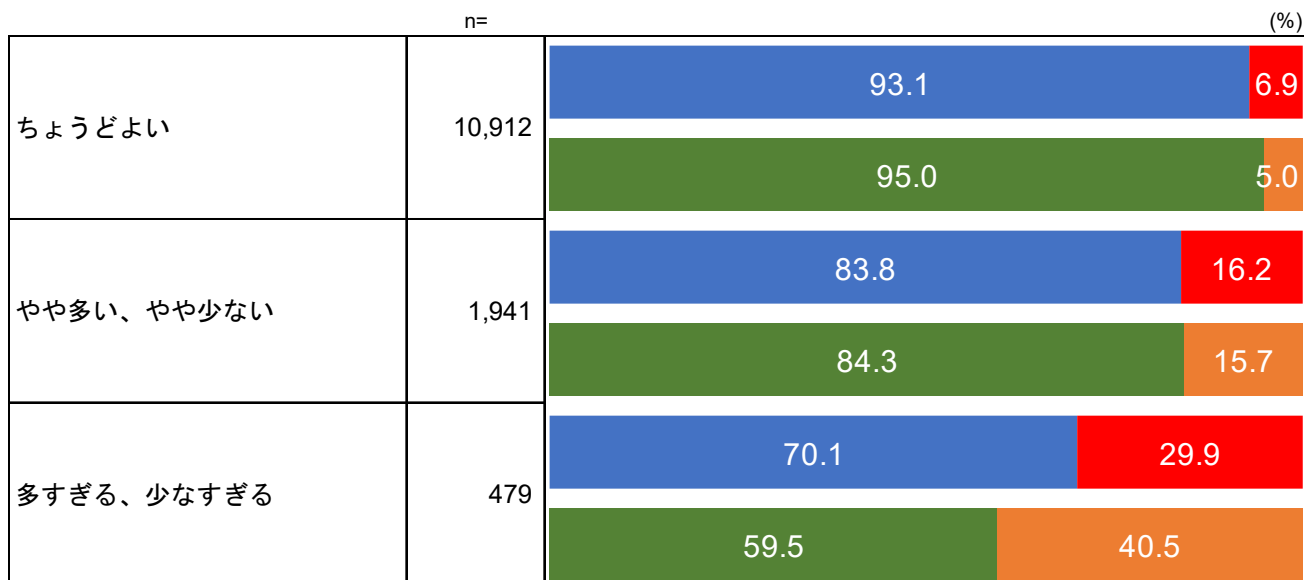
- 下の図は、Q12「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、93.1%が到達目標を達成したと認識、95.0%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合には、前者は70.1%、後者は59.5%にとどまります。
- 上記のことから、「課題の量の多さ」が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-1 授業の実施形態に対する学生の反応について

5. 予習・復習・課題にかけた時間が、学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響 (Q16×Q17・Q18)

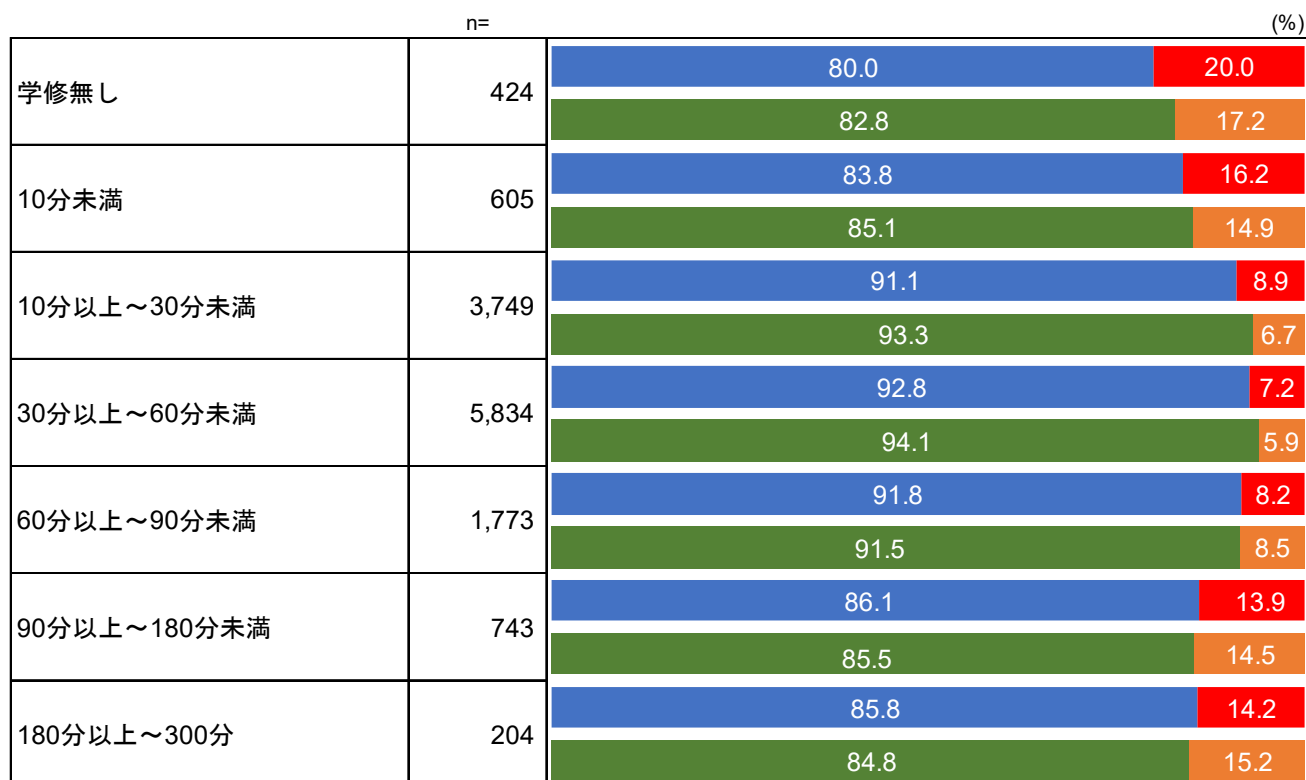
- 下の図は、Q16「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「学修無し」と回答した場合には、20.0%が到達目標を達成していないと認識、17.2%がこの授業を履修して良かったと感じなかったと答えています。また、「10分未満」「90分以上～180分未満」「180分以上～300分」の回答においても、否定的な回答割合がどちらも10%以上となっています。
- 尚、前期と比べると、「180分以上～300分」において「到達目標を達成していないと認識」「この授業を履修して良かったと感じなかった」という否定回答の割合が減少しています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

1. 教員による授業前の明確な指示・説明がなされていたか(Q2×Q17・Q18)

- 下の図は、Q2「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業前の明確な指示・説明がなされていた」と回答した場合には、94.1%が到達目標を達成したと認識、92.5%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「明確な指示・説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は48.6%、後者は54.7%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業前に明確な指示・説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q4×Q17・Q18)

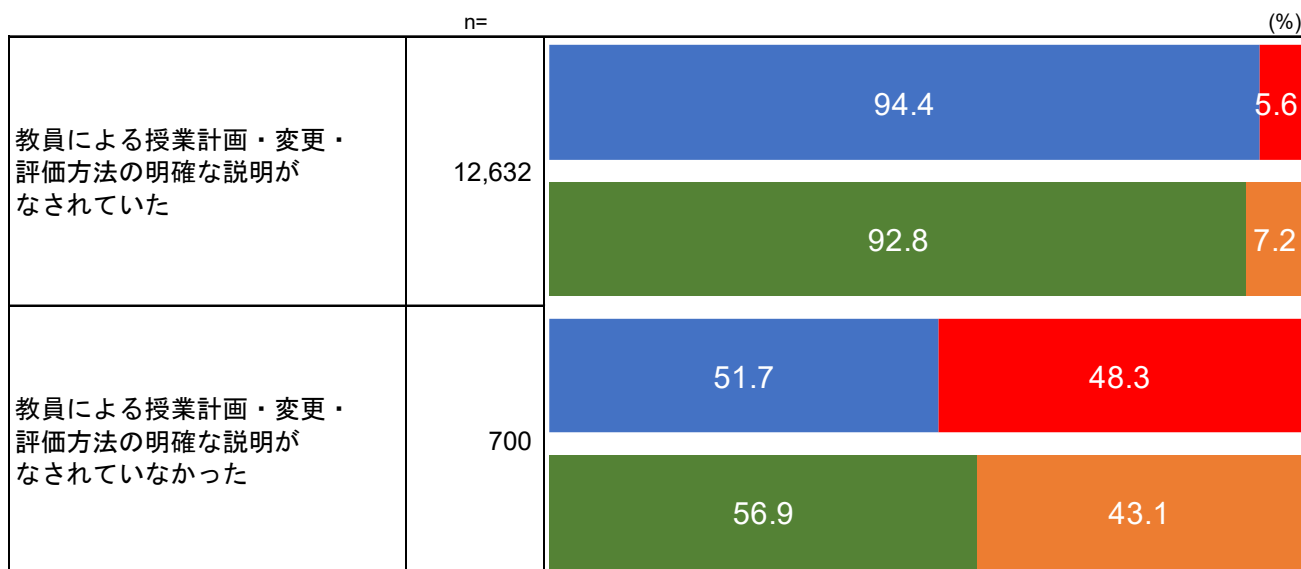
- 下の図は、Q4「教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていた」と回答した場合には、94.4%が到達目標を達成したと認識、92.8%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「明確な説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は51.7%、後者は56.9%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業計画・変更・評価方法の明確な説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

3. 教員はスムーズに授業を進行できていたか(Q5×Q17・Q18)

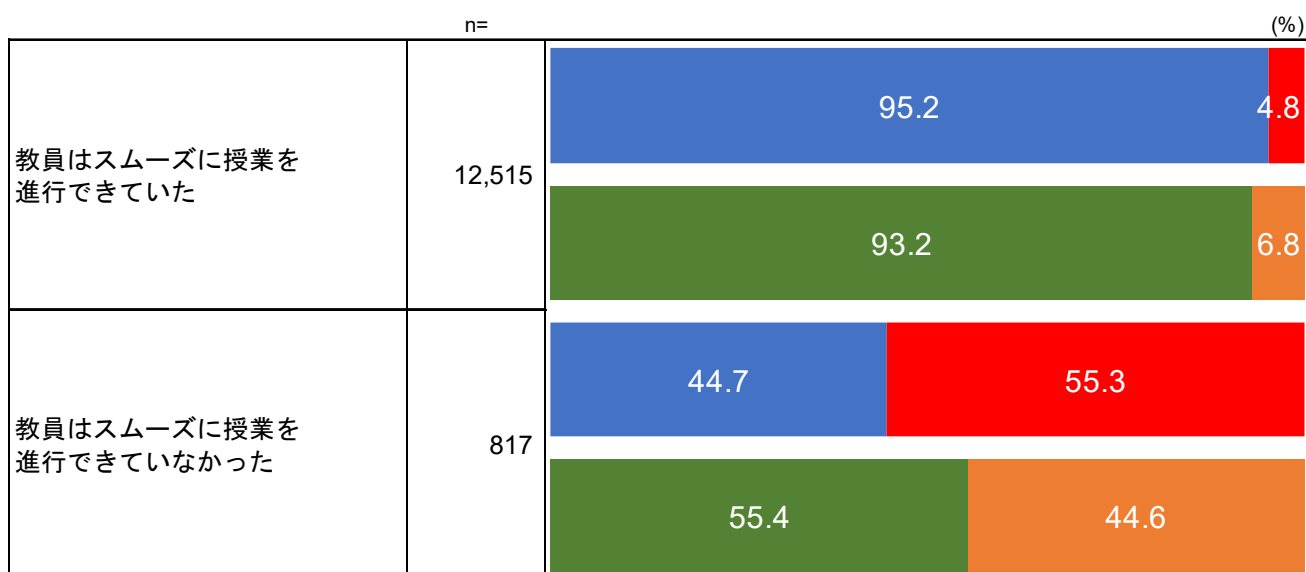
- 下の図は、Q5「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「スムーズに授業を進行できていた」と回答した場合には、95.2%が到達目標を達成したと認識、93.2%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「スムーズに授業を進行できていなかった」と回答した場合には、前者は44.7%、後者は55.4%にとどまります。
- 上記のことから、スムーズに授業を進行することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

4. 教員が提供した教材は理解の助けになったか(Q6×Q17・Q18)

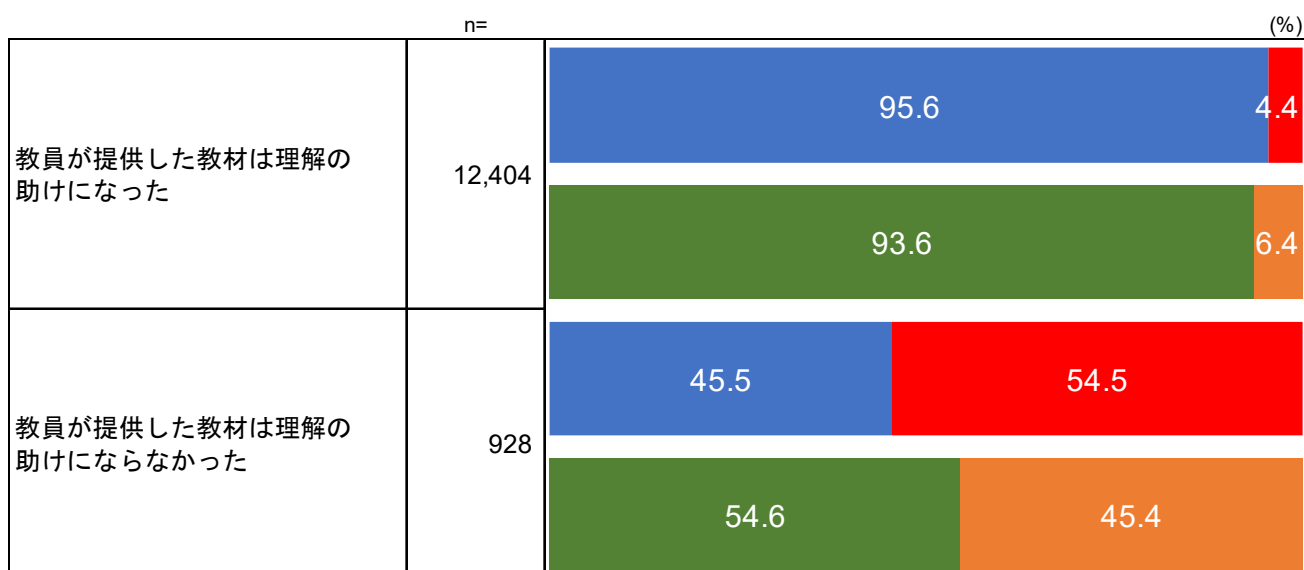
- 下の図は、Q6「教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員が提供した教材は理解の助けになった」と回答した場合には、95.6%が到達目標を達成したと認識、93.6%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「教材は理解の助けにならなかった」と回答した場合には、前者は45.5%、後者は54.6%にとどまります。
- 上記のことから、理解の助けになる教材を提供することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

5. 授業における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q7×Q17・Q18)

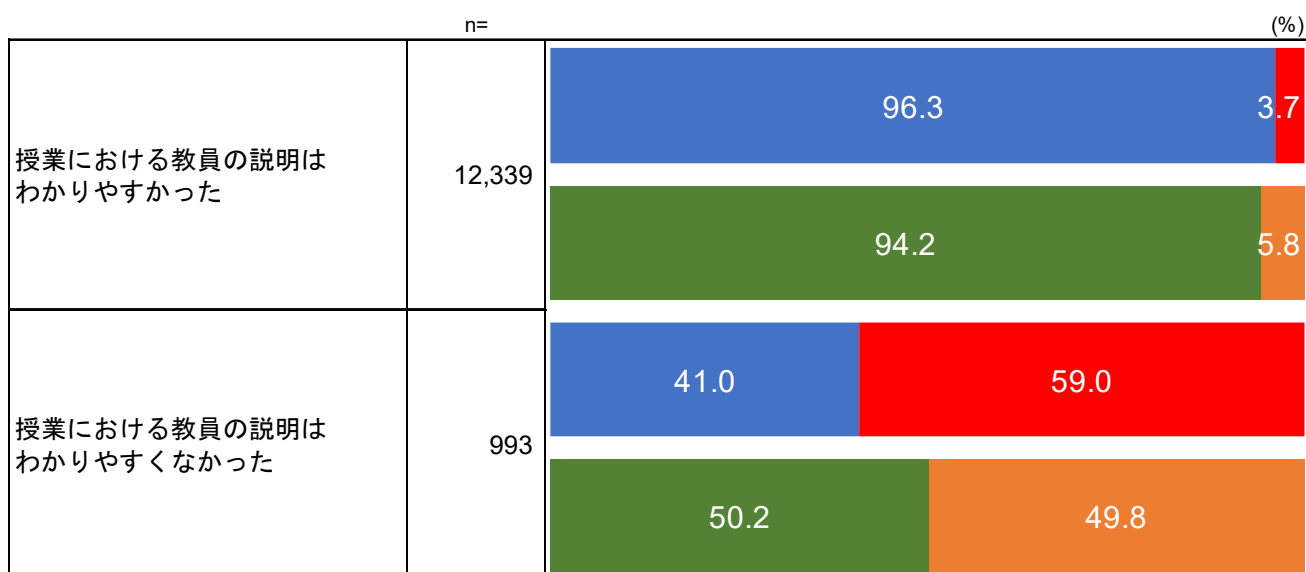
- 下の図は、Q7「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「授業における教員の説明はわかりやすかった」と回答した場合には、96.3%が到達目標を達成したと認識、94.2%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「教員の説明はわかりやすくなかった」と回答した場合には、前者は41.0%、後者は50.2%にとどまります。
- 上記のことから、わかりやすい説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

6. 課題や小テストによる理解の定着を図っていたか(Q8×Q17・Q18)

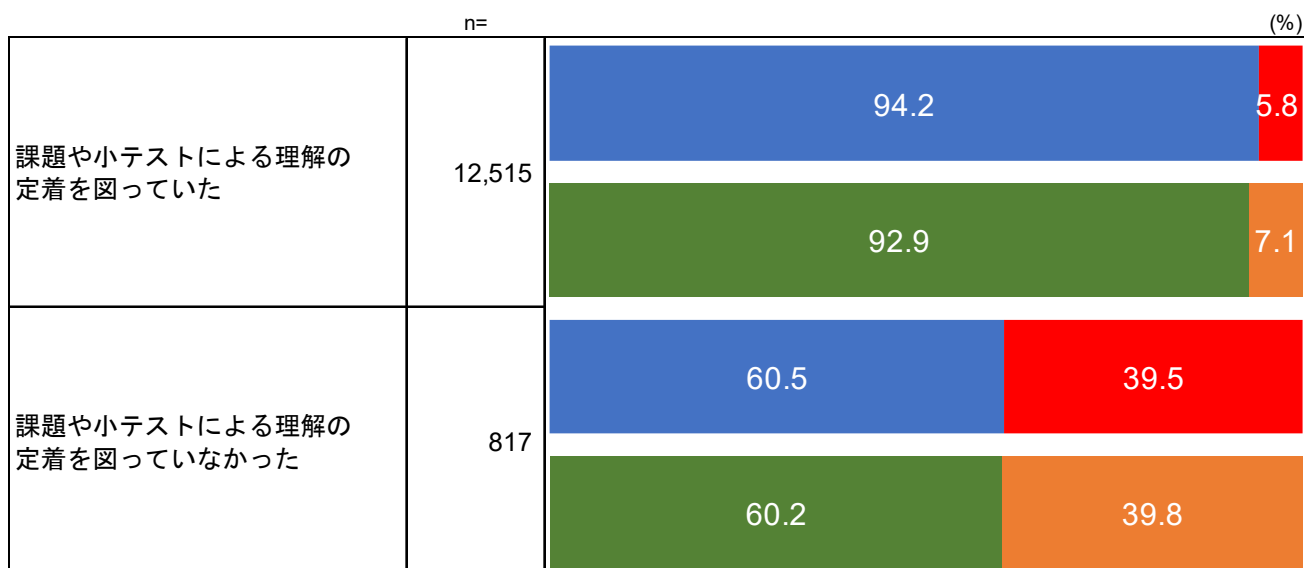
- 下の図は、Q8「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「課題や小テストによる理解の定着を図っていた」と回答した場合には、94.2%が到達目標を達成したと認識、92.9%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「理解の定着を図っていなかった」と回答した場合には、前者は60.5%、後者は60.2%にとどまります。
- 上記のことから、教員が課題や小テストによる理解の定着を図ることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

7. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q9×Q17・Q18)

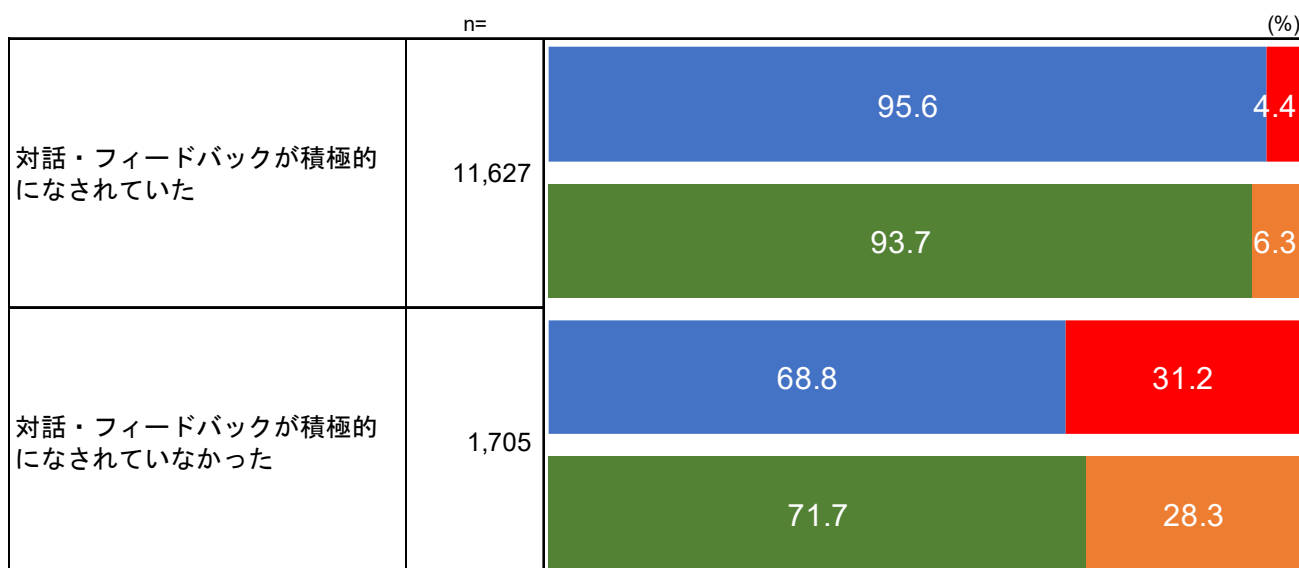
- 下の図は、Q9「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「対話・フィードバックが積極的になされていた」と回答した場合には、95.6%が到達目標を達成したと認識、93.7%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「積極的になされていなかった」と回答した場合には、前者は68.8%、後者は71.7%にとどまります。
- 上記のことから、教員が対話・フィードバックを積極的に行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

8. 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていたか(Q13×Q17・Q18)

- 下の図は、Q13「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容が整理されていた」と回答した場合には、94.5%が到達目標を達成したと認識、92.9%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「学ぶべき内容が整理されていなかった」と回答した場合には、前者は42.2%、後者は47.9%にとどまります。
- 上記のことから、1回1回の授業ごとに学ぶべき内容が整理されていることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

9. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q14×Q17・Q18)

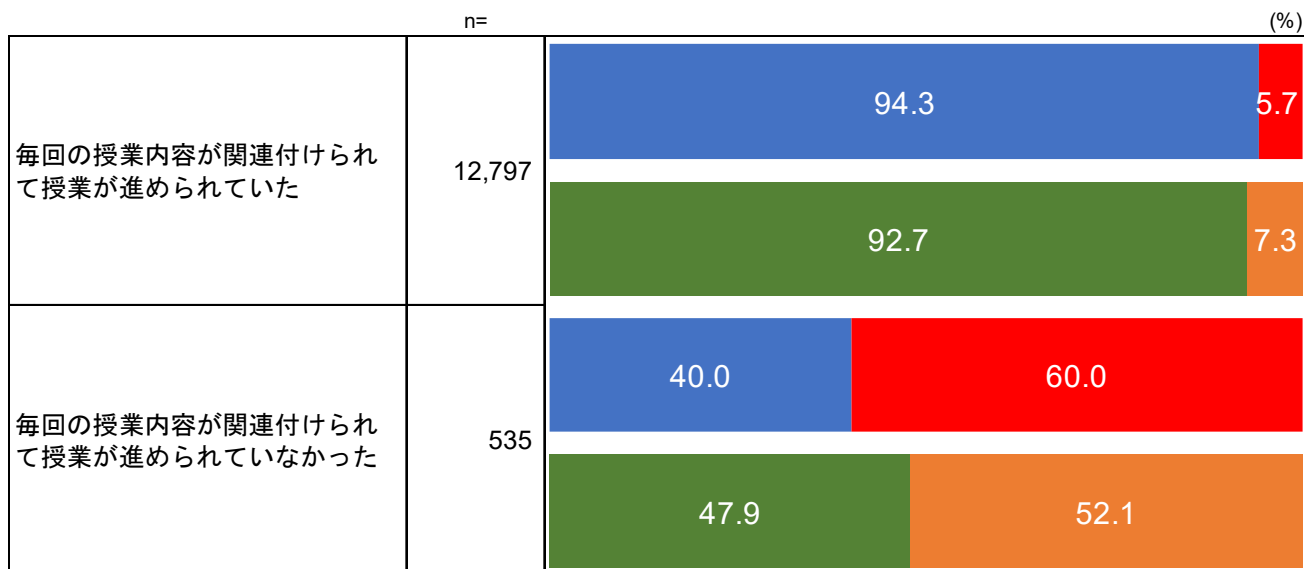
- 下の図は、Q14「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q17「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q18「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていた」と回答した場合には、94.3%が到達目標を達成したと認識、92.7%がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で、「関連付けられて授業が進められていなかった」と回答した場合には、前者は40.0%、後者は47.9%にとどまります。
- 上記のことから、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなると考えられます。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

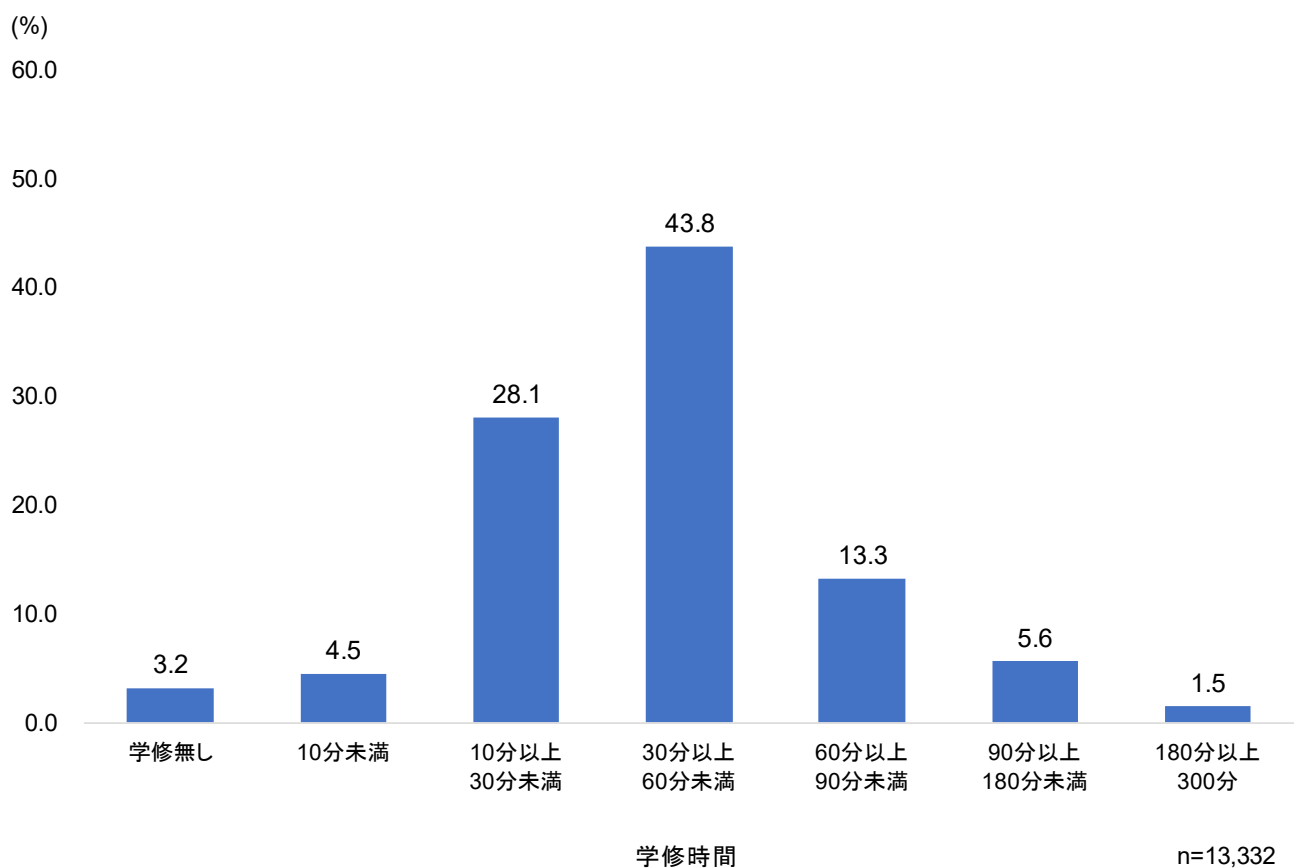
■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



8. 考察(2)本学学士課程学生の授業外学修時間の現状(後期)

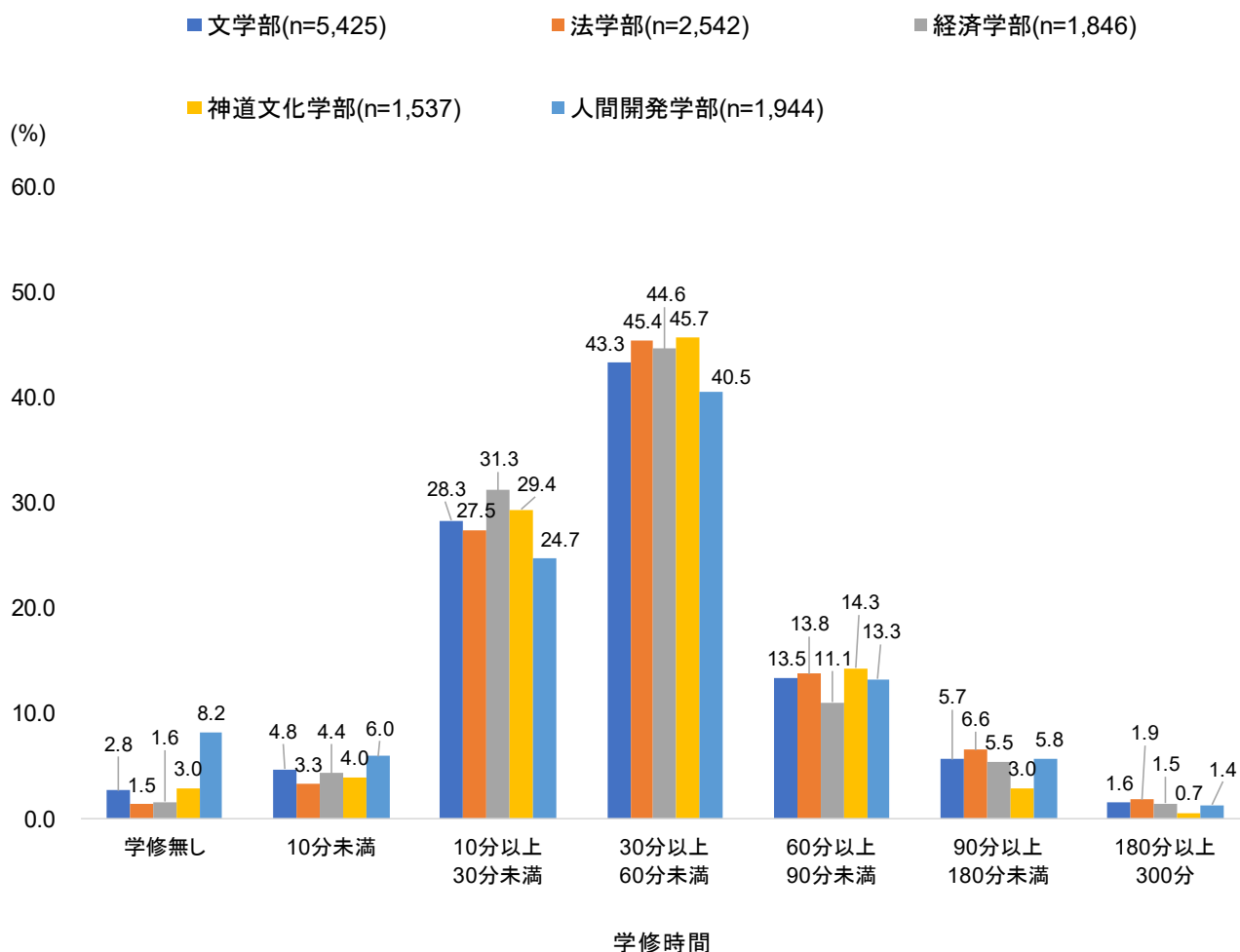
8-1 学士課程全体における学修時間の分布

- 下の図は、Q16「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」の回答結果の分布を示したものです。
- 学生課程全体の授業外学修時間としては、「学修無し」が3.2%、「学修あり(60分未満)」で76.4%、「学修あり(60分以上)」で20.4%となっています。尚、前期と同じ傾向となっています。



8-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布

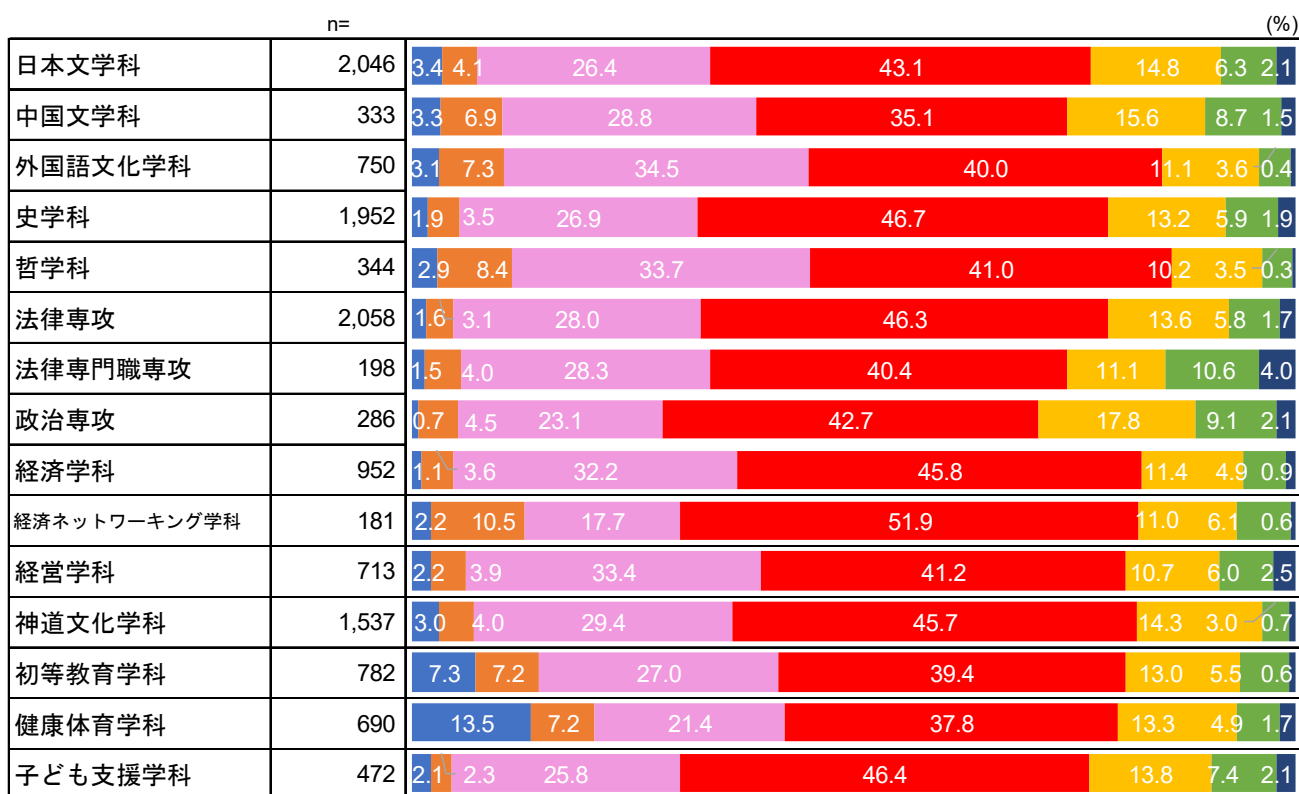
- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部で区分して示したものです。
- 全ての学部において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、人間開発学部において「学修無し」の割合が8.2%と、他と比べて高くなっています。尚、前期と同じ傾向となっています。



8-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科・専攻において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、中国文学科、法律専門職専攻、政治専攻では、「学修あり(60分以上)」の割合が25%を超えています。一方、健康体育学科において「学修無し」の割合が13.5%と、他と比べて高くなっています。尚、前期と同じ傾向となっています。

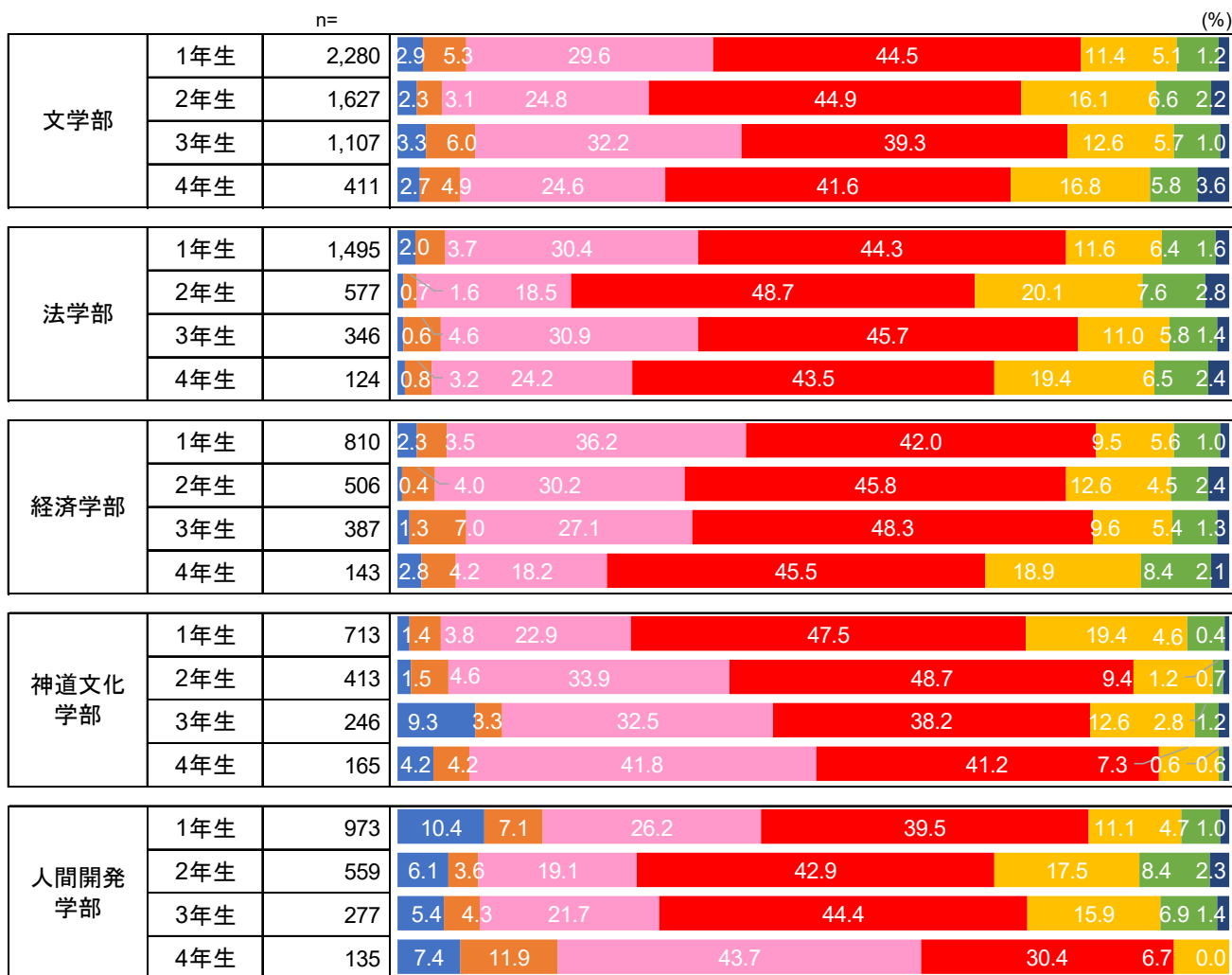
■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
 ■ 90分以上～180分未満
 ■ 180分以上～300分



8-4 回答学生の所属学部×学年別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部×学年で区分して示したものです。
- 全ての所属学科×学年において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、神道文化学部の3年生および人間開発学部の1年生において、「学修無し」の割合が10%前後となっており、他と比べて高くなっています。

■ 学修無し ■ 10分未満 ■ 10分以上～30分未満 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満 ■ 90分以上～180分未満 ■ 180分以上～300分



8-5 回答学生の学年×所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

【1年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(1年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、健康体育学科において「学修無し」の割合が20%近くと、他と比べて高くなっています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
 ■ 90分以上～180分未満
 ■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	892	3.5	4.0	24.7	47.4	12.0	6.7	1.7
中国文学科	159	3.8	3.8	36.5	39.6	10.1	6.3	0.0
外国語文化学科	308	3.9	8.1	37.3	37.7	10.1	2.6	0.3
史学科	742	1.5	4.6	28.3	46.6	12.5	4.9	1.6
哲学科	179	3.4	11.2	40.8	36.9	6.7	1.1	0.0
法律専攻	1,221	2.3	3.6	30.7	45.7	11.0	5.2	1.5
法律専門職専攻	113	0.9	0.9	31.9	38.1	8.8	15.9	3.5
政治専攻	161	0.6	6.8	26.7	37.9	18.6	8.1	1.2
経済学科	464	1.3	2.8	34.5	45.3	9.7	5.6	0.9
経済ネットワーク学科	—							
経営学科	346	3.8	4.3	38.4	37.6	9.2	5.5	1.2
神道文化学科	713	1.4	3.8	22.9	47.5	19.4	4.6	0.4
初等教育学科	411	8.0	9.0	28.5	37.7	11.2	5.4	0.2
健康体育学科	356	18.8	8.4	22.8	35.7	10.4	3.4	0.6
子ども支援学科	206	0.5	1.0	27.7	49.5	12.1	5.8	3.4

【2年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(2年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、人間開発学部の3学科において「学修無し」の割合が5%を超え、他と比べて高くなっています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
 ■ 90分以上～180分未満
 ■ 180分以上～300分

	n=	n= (%)						
日本文学科	601	3.5	3.0	26.6	39.8	18.1	6.7	2.3
中国文学科	63	1.6	3.2	31.7	31.7	14.3	11.1	6.3
外国語文化学科	233	2.1	7.3	28.3	42.5	14.6	4.3	0.9
史学科	632	1.3	1.7	20.4	52.1	14.9	7.4	2.2
哲学科	98	2.0	3.1	29.6	43.9	16.3	4.1	1.0
法律専攻	436	0.5	1.6	17.4	49.5	20.2	8.5	2.3
法律専門職専攻	62	3.2	1.6	27.4	41.9	16.1	4.8	4.8
政治専攻	79	0.0	1.3	17.7	49.4	22.8	5.1	3.8
経済学科	260	0.4	5.4	31.5	46.9	13.1	2.7	0.0
経済ネットワーク学科	—							
経営学科	246	0.4	2.4	28.9	44.7	12.2	6.5	4.9
神道文化学科	413	1.5	4.6	33.9	48.7	9.4	1.2	0.7
初等教育学科	171	5.3	1.8	22.8	48.0	15.8	6.4	0.0
健康体育学科	215	7.4	6.5	17.2	39.5	17.7	7.0	4.7
子ども支援学科	173	5.2	1.7	17.9	42.2	19.1	12.1	1.7

【3年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(3年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、神道文化学科および健康体育学科において「学修無し」の割合が10%近くと、他と比べてやや高くなっています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
■ 90分以上～180分未満
■ 180分以上～300分

	n=	n= (%)						
日本文学科	369	3.8	4.3	30.4	41.7	13.6	4.9	1.4
中国文学科	77	5.2	19.5	18.2	22.1	19.5	14.3	1.3
外国語文化学科	186	3.2	6.5	38.2	40.9	7.5	3.8	0.0
史学科	429	2.8	4.0	34.5	39.6	12.8	5.1	1.2
哲学科	46	0.0	13.0	23.9	39.1	13.0	10.9	0.0
法律専攻	286	0.3	3.1	34.3	45.5	11.9	3.8	1.0
法律専門職専攻	23	0.0	26.1	13.0	47.8	8.7	0.0	4.3
政治専攻	37	2.7	2.7	16.2	45.9	5.4	24.3	2.7
経済学科	158	1.3	2.5	30.4	48.1	10.8	5.1	1.9
経済ネットワーク学科	137	1.5	12.4	19.0	51.8	8.0	6.6	0.7
経営学科	92	1.1	6.5	33.7	43.5	9.8	4.3	1.1
神道文化学科	246	9.3	3.3	32.5	38.2	12.6	2.8	1.2
初等教育学科	117	6.8	5.1	15.4	41.0	19.7	8.5	3.4
健康体育学科	79	8.9	1.3	20.3	43.0	17.7	8.9	0.0
子ども支援学科	81	0.0	6.2	32.1	50.6	8.6	2.5	0.0

【4年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の学年(4年生)×所属学科・専攻で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。なお、初等教育学科において「学修無し」の割合が8%を超え、他と比べてやや高くなっています。

■ 学修無し ■ 10分未満 ■ 10分以上～30分未満 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満 ■ 90分以上～180分未満 ■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	184	1.6	7.1	26.6	35.3	19.6	5.4	4.3
中国文学科	34	0.0	11.8	50.0	35.3	2.9	0.0	0.0
外国語文化学科	23	0.0	4.3	30.4	39.1	17.4	8.7	0.0
史学科	149	4.0	4.0	25.5	44.3	10.7	6.7	4.7
哲学科	21	9.5	0.0	14.3	66.7	4.8	4.8	0.0
法律専攻	115	0.9	3.5	23.5	42.6	20.0	7.0	2.6
法律専門職専攻	0							
政治専攻	9	0.0	33.3	55.6	11.1	0.0		
経済学科	70	1.4	4.3	24.3	40.0	18.6	8.6	2.9
経済ネットワーク学科	44	4.5	4.5	13.6	52.3	20.5	4.5	0.0
経営学科	29	3.4	3.4	10.3	48.3	17.2	13.8	3.4
神道文化学科	165	4.2	4.2	41.8	41.2	7.3	0.6	0.6
初等教育学科	83	8.4	12.0	44.6	27.7	7.2	0.0	0.0
健康体育学科	40	7.5	12.5	35.0	37.5	7.5	0.0	0.0
子ども支援学科	12	0.0	8.3	66.7	25.0	0.0		

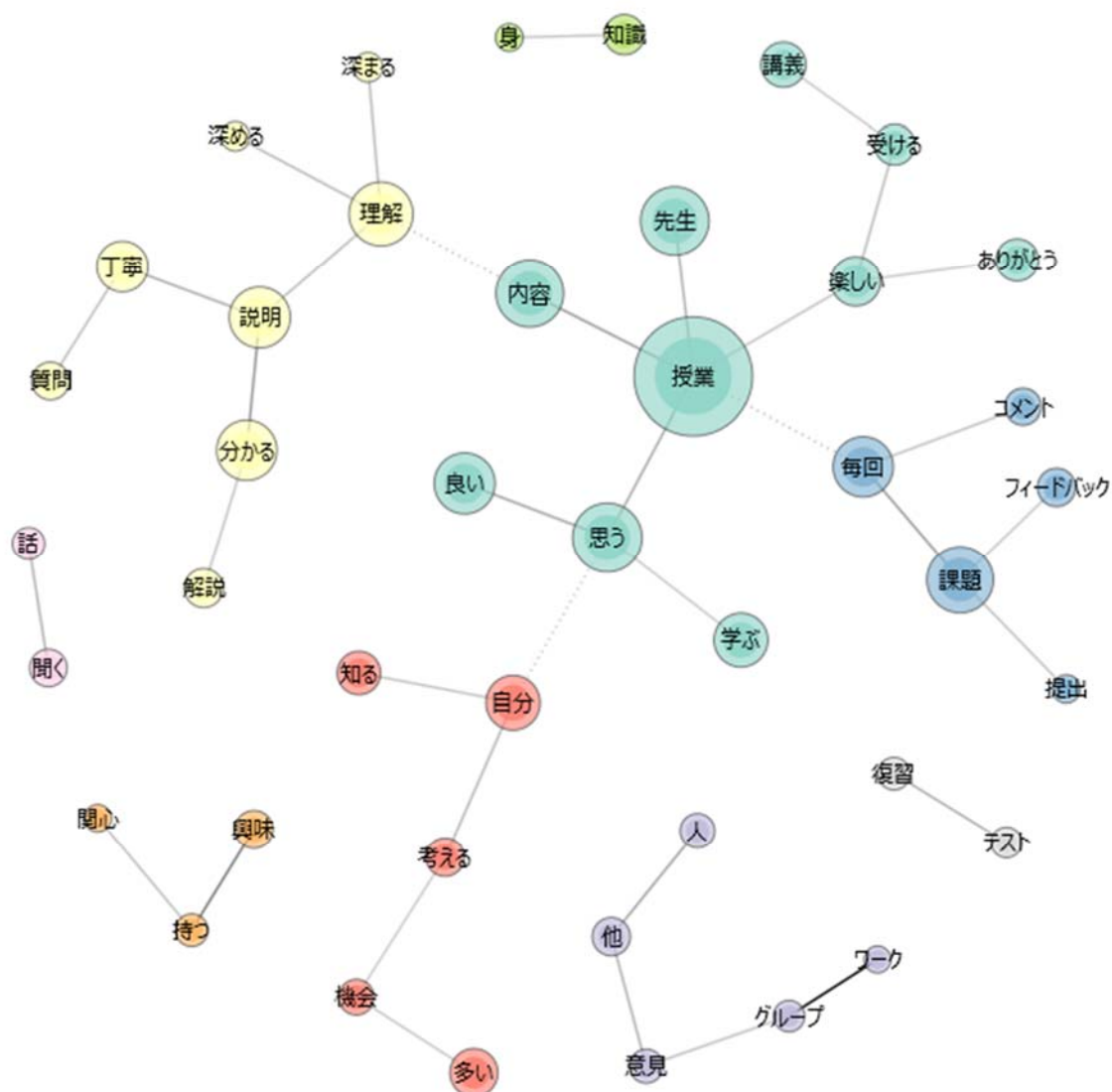
9. 自由記述設問の検討(後期)

9-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係

【Q19 この授業でとても良いと思ったこと】

- 下の図は、Q19「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出後の共起関係を示したものです。
- 図の共起関係や頻出単語を見ると「授業内容について、分かりやすい説明で理解が深まった」、「自分で考えたり調べたりする機会が増えた」、「提出した課題に毎回フィードバックしてくれた」、「社会で役立つ知識が身についた」、「毎回の小テストで復習できた」といった意見が多く挙げられています。
- その他にも、「毎回、楽しく授業を受けられました。一年間(半年間)、ありがとうございました」といった意見もありました。

※KH Coderを用いて分析



9-2 代表的な肯定的意見

【Q19 この授業でとても良いと思ったこと】

- 下記は、Q19「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「授業内容」「課題」「実施形態」「教員」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従って、ここで記載した意見をどのように参考にされるかは、個々の先生方の裁量となります。

【授業内容について】

授業資料が、コンパクトかつ重要な内容が全て盛り込まれていて非常に分かりやすかった
前期に比べて発表や質問の時間がしっかり取られていてよかった
課題提出後のフィードバックやグループワークにより他の人の考え方が分かり有意義だった
シラバス通りに講義が進められ、毎回の授業内容もテーマに則していた

【課題について】

提出期間が長かったので、ゆとりを持って取り組むことができた
小テスト方式の課題で理解が深まった
考えさせる内容の課題が多く、大変だが面白かった
課題に対するフィードバックが毎回丁寧で分かりやすかった

【実施形態について】

講義動画とフィードバックやコメントに関する動画が別々に配信されて分かりやすかった
オンデマンドでたまプラーザキャンパスの授業を受講できた
授業動画が早めに送られてきてよかった
Zoomの録画ではなくYoutube配信だったので動作が軽く見やすかった

【教員について】

早い段階で全員の名前を覚え、生徒一人ひとりに的確な指示、アドバイスができていた
やる気のない人には不評かもしれないが、意欲のある学生には刺激的で実践的な授業だった
フィードバックが手厚すぎて、こんなに学生想いの先生がいるのかと感動した
コロナ禍での対面授業ということで、体調を気遣って話をしてくれて安心できた

【Q20 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- ※KH Coderを用いて分析



9-4 代表的な消極的意見

【Q20 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- 下記は、Q20「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「教員」「授業内容」「課題」「実施形態」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従って、ここで記載した意見をどのように参考にされるかは、個々の先生方の裁量となります。

【教員について】

前期と全く同じ内容の授業を行っていた
授業資料が事前に提示されず、授業中の追加資料が多いため理解が追い付かなかった
長い授業時間に内容が見合っておらず、雑談や脱線をなくして、もっと短く、簡潔に伝えてほしかった
授業中、騒がしい学生を注意してほしかった

【授業内容について】

対面授業なのにオンデマンド教材を見ながら授業を進めたり、オンライン授業と変わらなかった
授業動画が毎回消去されてしまったが、復習のために残してほしかった
シラバスにはオンデマンド授業と書いてあったのに、実質は課題提出のみだった
遠隔授業で、開始時間までにURLが送られてこないことが多かった

【課題について】

Googleフォームを使った課題提出は、手間がかかるし、期限も不透明
課題の内容が毎回同じで、授業との関連性があまりなかった
提出期限の表記について、例えば0:00ではなく23:59とすると日にちを間違えにくくなると思う

【実施形態について】

先生が一方向的にしゃべるだけの授業なら対面でなくオンライン形式でよい
授業の説明や成績評価の基準がよくわからず、途中でリタイアした学生も多かった
他の授業の予定などもあるので、毎回のように終了時間をオーバーするのはやめてほしい

10. 教員ベスト30(専任・兼任教員) ～到達目標達成度・総合満足度に基づく～

10-1 専任・兼任教員上位者 30 名 [50 音順]

【算出方法】

1) 教員が担当した授業科目のアンケート結果を1つに集計。

[例]

教員名	授業科目名	学期	回答数
國學 太郎	國學院の歴史	前期	21 件
國學 太郎	神道精神	前期	11 件
國學 太郎	日本の伝統	後期	38 件
こくぴょん	文学概論	前期	14 件
こくぴょん	日本文学入門	後期	6 件



教員名	回答数
國學 太郎	70 件
こくぴょん	20 件

2) 上記の集計をしたのち、合計回答数が 50 人以上の教員を対象とする。

[例]

教員名	回答数	
國學 太郎	70 件	← 対 象
こくぴょん	20 件	← 対象外

3) 指標とする設問①②の回答結果を、それぞれ得点化する。

[指標とする設問]

①到達目標達成度 「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」(設問番号:前期 Q17/期 Q17)

②総合満足度 「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」(設問番号:前期 Q18/後期 Q18)

[得点化の方法]

(例)「國學 太郎」先生の場合(到達目標達成度・総合満足度ともに同様の計算式とする)

教員氏名:國學 太郎	配 点	回答数	回答数×配点=点数
かなりそう思う	4 点	15 件	60 点
そう思う	3 点	30 件	90 点
あまりそう思わない	2 点	22 件	44 点
そう思わない	1 点	3 件	3 点
合 計	-	70 件	197 点

得 点 (点数÷回答数) : $197 \div 70 = 2.814$ 点

4) 指標とする設問①②の「得点」を合計した数値を「総合得点」とする。

[例]

教員名	①の得点	②の得点	①+②の合計(総合得点)
國學 太郎	2.8	3.1	5.9

5) 上記「総合得点」に基づき、上位 30 名の教員(教員ベスト 30)を選出。

※本「分析報告書」では順位掲載は行わず、上位 30 名を 50 音順に掲載しています。

10-2 「教員ベスト 30」一覧表（上位 30 名を 50 音順で掲載しています）

【専任教員】

教員氏名	所 属	総合得点
飯倉 義之	文学部	6.841
石川 則夫	文学部	6.875
植原 吉朗	人間開発学部	6.863
E・シッケタンツ	神道文化学部	6.824
大矢 隆二	人間開発学部	6.992
近藤 良彦	人間開発学部	6.902
齋藤 智哉	文学部	6.821
櫻井 潤	経済学部	6.843
笹生 衛	神道文化学部	7.132
塩谷 香	人間開発学部	6.851
神事 努	人間開発学部	6.840
杉田 洋	人間開発学部	6.961
高橋 昌一郎	文学部	6.816
多和田 真理子	文学部	6.851
富田 一誠	人間開発学部	6.859
中川 孝博	法学部	6.878
野中 哲照	文学部	7.145
野村 ひかり	文学部	7.031
林 貢一郎	人間開発学部	6.859
針谷 壮一	文学部	6.969
備前 嘉文	人間開発学部	6.936
平藤 喜久子	神道文化学部	6.856
藤嶋 亮	法学部	7.041
星野 広和	経済学部	7.145
町田 樹	人間開発学部	7.056
宮下 雄治	経済学部	7.000
本久 洋一	法学部	6.948
矢部 健太郎	文学部	6.825
渡邊 卓	研究開発推進機構	6.923
渡邊 雅俊	人間開発学部	6.945

【兼任教員】

教員氏名	所 属	総合得点
愛甲 雄一	兼任教員	6.781
浅野 守信	兼任教員	6.820
伊澤 冬子	兼任教員	6.961
梅村 玲美	兼任教員	6.927
大江 一平	兼任教員	6.942
大塚 政秀	兼任教員	6.692
恩田 哲也	兼任教員	6.981
川淵 竜也	兼任教員	7.086
川村 信郎	兼任教員	6.731
菊地 大	兼任教員	6.728
木下 頌子	兼任教員	6.688
黒川 徳男	兼任教員	6.740
佐藤 佑介	兼任教員	7.333
洪澤 寿一	兼任教員	6.919
清水 威能子	兼任教員	6.781
菅根 幸裕	兼任教員	6.794
駿河 昌樹	兼任教員	6.873
高橋 紀充	兼任教員	6.877
高村 聰史	兼任教員	6.978
田沼 眞弓	兼任教員	6.717
田村 昌大	兼任教員	6.696
十川 陽一	兼任教員	6.727
土手 昭伸	兼任教員	6.714
富岡 宏太	兼任教員	6.725
宮田 義矢	兼任教員	6.827
長浜 尚史	兼任教員	7.295
三ツ矢 眞紀	兼任教員	7.035
森田 聡	兼任教員	7.013
矢澤 憲一	兼任教員	6.689
山崎 英壽	兼任教員	6.725

11. 全体総括(まとめ)

これまで、令和3年度授業評価アンケートについて、設問別にいくつかの観点から集計と分析を試みました。この節では、「まとめ」としてこれまでの集計結果を簡潔に整理しておきたいと思います。

【2. 前期集計結果について】

- 各開講科目の所属別集計をみると、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」では、「対面のみ」の実施形態が、共通教育科目で3割を上回っている一方、経済学部(専門)、法学部(専門)では1割未満にとどまっています。Q2「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」では、学士課程全体での肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計)が95.2%と非常に高い結果となっています。Q5「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか」では、学士課程全体での肯定回答が93.5%であり、所属別では神道文化学部(専門)が96.6%と他に比べやや高くなっています。Q7「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」では、全ての所属で肯定回答が9割前後となっています。Q8「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」の肯定割合は、学士課程全体で93.2%となっており、全ての所属において9割を超えています。Q10「この授業の、1回あたりの授業(配信)時間は、平均して何分くらいでしたか」では、「75分以上」と回答した割合が学士課程全体で48.9%となっており、所属別では共通教育科目が約6割、人間開発学部(専門)で5割を上回る結果となっています。Q11「この授業の、1回あたりの授業(配信)時間は、適切な長さだったと思いますか」では、「ちょうどよい」の肯定回答が学士課程全体で73.7%でした。Q12「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」では、学生課程全体で「ちょうどよい」の肯定回答が80.0%でした。

以上の通り、Q16の授業外学修時間と、Q19、Q20の自由記述を除く設問項目を中心に検討しました。全体的な傾向として、ほとんどの設問で肯定回答が9割を上回る所属がほとんどであり、授業到達目標達成度や満足度においても学士課程全体の肯定回答は9割を上回っています。なお、全ての所属で肯定回答が9割に達しなかった項目は「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」のみとなっており、この点に注力する必要があると考えられます(2-1)。

【3. 考察(1)設問間のクロス表分析について(前期)】

ここでは、属性や設問項目間との関係性を検討するために、クロス集計による分析を行いました。

- 3-1-1では、授業形態ごとに授業到達目標達成度・満足度について検討しました。全ての学部、学年において、対面のみの場合、あるいは配信を伴う授業形態でも、対面を含んだり、遠隔のみでもオンデマンドの場合は、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修してよかったと回答しています。授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、授業到達目標達成度や満足度が高くなると考えられます。
- 3-1-2では、授業(配信)時間の長さに対する学生の反応について検討しました。その結果、30分以上～40分未満、40分以上～50分未満、及び50分以上～60分未満では、「ちょうどよい」の回答が8割を上回る結果となりました。
一方で、30分未満、及び75分以上では、「ちょうどよい」の割合が7割程度に減ることから、おおむね60分までが履修学生にとって「ちょうどよい」と感じる授業(配信)の長さであると考えられます。
- 3-1-3では、授業(配信)時間の長さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。授業・配信の長さが「ちょうどよい」と回答した場合は、授業到達目標達成度や満足度が9割以上の高い結果となっています。
一方で、「長すぎる、短すぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が67.6%、満足度が61.9%と低い結果となっています。このことから、授業(配信)時間の長さが適切であるかどうかが授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。

- 3-1-4では、課題の量の多さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。提出物・課題の量が「ちょうどよい」と回答した場合は、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が67.7%、満足度が60.7%と低い結果となっています。このことから、提出物・課題等の分量が適切でないと、授業到達目標達成度や満足度が下がると考えられます。
- 3-1-5では、予復習・課題にかけた時間の長さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。その結果、180分未満で学修ありの場合には、9割前後が授業到達目標を達成したと認識、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、学修無し、あるいは180分以上～300分の学修ありの場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は8割程度以下となっています。このことから、あまり負担にならない程度で予復習・課題にかけた時間が、学生の授業到達目標達成度や満足度につながると考えられます。
- 3-2-1では、教員による授業前の明確な説明・指示が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。授業前に教員から明確な指示・説明がなされた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、教員から明確な指示・説明がなされていない場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割程度となっています。このことから、教員が明確に実施方針や受講方法を指示・説明するかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 3-2-2では、教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員から明確な説明がなされた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、明確な説明がなされていない場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は6割弱となっています。このことから、教員が積極的に授業計画・変更・評価方法を説明するかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 3-2-3では、教員によるスムーズな授業進行が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が授業をスムーズに進行できた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、スムーズに進行できなかった場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5～6割となっています。このことから、教員の授業進行がスムーズかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 3-2-4では、教員が提供した教材が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が提供した教材が理解の助けになった場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、教材が理解の助けにならなかった場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、教員が提供する教材が理解の助けになるかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 3-2-5では、授業における教員の説明が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。授業における教員の説明がわかりやすい場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方、教員の説明がわかりにくかった場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割未満となっています。このことから、授業における教員の説明がわかりやすいかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。

- 3-2-6では、課題や小テスト等が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。課題や小テスト等によって理解の定着を図る工夫を行った場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、課題や小テスト等で学生の理解の定着を図る工夫を行っていない場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は6割程度となっています。このことから、教員が課題や小テスト等によって学生の理解の定着を図る工夫を行うかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 3-2-7では、教員の積極的な対話・フィードバックが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行った場合、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、そうでない場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は7割程度となっています。このことから、教員が学生との対話や、課題・質問・コメントへのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行うかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 3-2-8では、授業ごとの単元の整理が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されている場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、そうでない場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が5割未満となっています。このことから、1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されているかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 3-2-9では、毎回の授業内容の関連付けが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が毎回の授業を関連付けて授業を進めた場合、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、そうでない場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が5割未満となっています。このことから、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を進めるかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。

以上の通り、授業の実施形態に対する学生の反応について検証を行いました。授業(配信)の長さや課題の量の適切さ、あるいは、学生が予復習にかかる時間が、大きく授業評価に影響することがわかりました。

また、学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証では、授業前の明確な指示や説明、スムーズな授業の進行、あるいは説明のわかりやすさ等が学生の達成度や満足度に大きく影響を与えていることが示されました。これらの結果をもとに、教員の授業運営を検討する必要があると思われます。

【4. 考察(2)本学学士課程学生の授業外学修時間の現状(前期)】

ここでは、授業外学修時間の現状分析を行いました。

- 本学の令和3年度前期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間は、学修無しが3.9%、60分未満の学修ありが75.3%、60分以上の学修ありが20.8%という結果になっています。

- 所属学部別(4-2)、学科・専攻別(4-3)に分布をみると、ほぼ全ての集計区分で60分未満の学修ありと回答した割合がもっとも多い結果となっています。中国文学科では、60分以上の学修ありが3割を超えている一方、健康体育学科では、学修無しの割合が10.5%と他と比べて高くなっています。
- 学年×所属学部(4-4)、学年×所属学科・専攻別(4-5)に分布をみると、健康体育学科の1～2年生において学修無しの割合が10%を超えており、他と比べて学修時間が少ない傾向となっています。

【5. 自由記述設問の検討(前期)】

ここでは、学生のコメント分析を行いました。

- 5-1では、Q19「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等から分析しています。「毎回の授業を受けるのが楽しかった」「課題によって復習の習慣が身に付いた」「説明が丁寧で分かりやすかった」「グループワークが多く、他の人の意見や考えを聞けた」といった意見が多く挙げられています。
- 5-2では、Q19「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として、「授業内容」「課題」「実施形態」「教員」の4項目について挙げています。授業内容については、「授業計画がしっかり決まっており、受講している側としても学びやすかった」「資料が使いやすかった／レジュメがわかりやすかった」など、授業運営の計画性や資料・レジュメの準備の周到さなどが満足度につながっていることがわかります。課題については、「課題の難易度と量がちょうどよかった」「課題提出後、毎回コメントが書いてあって嬉しかった」など、多すぎず、難しすぎない内容で、提出後のフィードバックがある点について好意的な意見が多く見られました。実施形態については、「ホワイトボード機能を使ったオンライン授業がよかった」「Youtube 配信の字幕が分かりやすかった」など、遠隔授業で改善が重ねられ便利な機能を使うようになったことを評価する意見がありました。教員については「授業後の雑談で距離が縮まった気がして楽しかった」などの意見が挙げられています。
- 5-3では、Q20「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等から分析しています。「授業時間が長いと感じた」「授業の内容が難しく、説明もよく理解できなかった」「毎回、課題の量が多く、提出までの期限が短い」「アンケート機能による課題提出だと、回答が確認できない」「シラバスではオンデマンド方式と書かれていたのに、実際は違った」などの意見が多く挙げられています。
- 5-4では、Q20「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として「教員」「授業内容」「課題」「実施形態」の4項目について挙げています。教員については、「毎回遅刻する上、始める準備にも時間をかけており、かなりの授業時間が削られてしまった」「授業に関係ない雑談が多く、無駄に授業時間が延びることが多かった」など、授業時間を有効に使えていない点で不満を述べる意見がありました。授業内容については、「一部の資料や動画が使い回されたり、内容が古いままだったりした」「教科書や資料をただ読み上げるだけでつまらなかった」等の意見がありました。課題については、「オンデマンド授業なのに、その日の授業終了時間までに課題提出など期限が短すぎた」「期末に課題が集中しすぎて大変だった」など、課題を出すタイミングや提出期限に配慮を求める意見が多くみられました。実施形態については、「教室に来て Zoom で授業するのは無駄だと思った」「突然休講になったり、オンデマンドに切り替えることが多かった」などの意見がみられました。

以上の結果について、より詳細な検討が必要ではありますが、授業内容に関するコメントからは、時間配分や資料作成、遠隔授業での工夫などにおいて、肯定的・消極的いずれの意見にも授業運営の参考にできる点が多いと思われます。

【6. 後期集計結果について】

- 各開講科目の所属別集計をみると、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」では、「対面のみ」の実施形態が、共通教育科目で5割に達している一方、経済学部(専門)、法学部(専門)では1割程度にとどまっています。Q2「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」では、学士課程全体での肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計)が95.6%と非常に高い結果となっています。Q5「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか」では、全ての所属で肯定回答が9割以上となっています。Q6「教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配布資料)は、理解の助けになりましたか」では、専門教育科目の全ての学部で「強くそう思う」割合が5割を超えています。Q7「授業における教員の説明はわかりやすかったですか」では、全ての所属で肯定回答が9割前後となっています。Q8「教員は、課題や小テスト等を出题することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」の肯定割合は、学士課程全体で93.9%となっており、全ての所属において9割を超えています。Q10「この授業の、1回あたりの授業(配信)時間は、平均して何分くらいでしたか」では、「75分以上」と回答した割合が学士課程全体で49.8%と約半数になっており、所属別では共通教育科目が6割に達し、人間開発学部(専門)、教職・資格課程科目で5割を上回る結果となっています。Q11「この授業の、1回あたりの授業(配信)時間は、適切な長さだったと思いますか」では、「ちょうどよい」の肯定回答が学士課程全体で76.0%でした。Q12「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」では、学生課程全体で「ちょうどよい」の肯定回答が81.8%でした。所属別では、文学部(86.4%)と神道文化学部(85.7%)が他に比べて高い結果となっています。

以上の通り、Q16の授業外学修時間と、Q19、Q20の自由記述を除く設問項目を中心に検討しました。全体的な傾向として、ほとんどの設問で肯定回答が9割を上回る所属がほとんどであり、授業到達目標達成度や満足度においても学士課程全体の肯定回答は9割を上回っています。なお、全ての所属で肯定回答が9割に達しなかった項目は、前期と同様に「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」のみでした。引き続き、この点に注力する必要があると考えられます(6-1)。

【7. 考察(1)設問間のクロス表分析について(後期)】

ここでは、属性や設問項目間との関係性を検討するために、クロス集計による分析を行いました。

- 7-1-1では、授業形態ごとに授業到達目標達成度・満足度について検討しました。全ての学部、学年において、対面のみの場合、あるいは配信を伴う授業形態でも、主に対面・一部遠隔のブレンド授業や、遠隔のみでもオンデマンドの場合は、ほぼ9割以上が到達目標を達成した、あるいは履修してよかったと回答しています。授業の臨場感あるいは遠隔ならではのメリットを活かしていくことにより、対面・遠隔を問わず、授業到達目標達成度や満足度が高くなると考えられます。
- 7-1-2では、授業(配信)時間の長さに対する学生の反応について検討しました。その結果、30分以上～40分未満、40分以上～50分未満、及び50分以上～60分未満では、「ちょうどよい」の回答が9割近い結果となりました。
一方で、30分未満、及び75分以上では、「ちょうどよい」の割合が8割未満に減ることから、おおむね60分までが履修学生にとって「ちょうどよい」と感じる授業(配信)の長さであると考えられます。
- 7-1-3では、授業・配信時間の長さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。授業・配信の長さが「ちょうどよい」と回答した場合は、授業到達目標達成度や満足度が9割以上の高い結果となっています。
一方で、「長すぎる、短すぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が70.5%、満足度が61.8%と低い結果となっています。このことから、授業・配信時間の長さが適切であるかどうかは授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。

- 7-1-4では、課題の量の多さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。提出物・課題の量が「ちょうどよい」と回答した場合は、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
 一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が70.1%、満足度が59.5%と低い結果となっています。このことから、提出物・課題等の分量が適切でないと、授業到達目標達成度や満足度が下がると考えられます。
- 7-1-5では、予復習・課題にかけた時間の長さが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。その結果、10分以上90分未満で学修ありの場合には、9割以上が授業到達目標を達成したと認識、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
 一方で、学修無しの場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は8割程度となっています。このことから、予復習・課題にかけた時間が、学生の授業到達目標達成度や満足度につながると考えられます。
- 7-2-1では、教員による授業前の明確な説明・指示が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。授業前に教員から明確な指示・説明がなされた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
 一方で、教員から明確な指示・説明がなされていない場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割程度となっています。このことから、教員が明確に実施方針や受講方法を指示・説明するかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 7-2-2では、教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員から明確な説明がなされた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
 一方、明確な説明がなされていない場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割強となっています。このことから、教員が明確に授業計画・変更・評価方法を説明するかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 7-2-3では、教員によるスムーズな授業進行が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が授業をスムーズに進行できた場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
 一方、スムーズに進行できなかった場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、教員の授業進行がスムーズかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 7-2-4では、教員が提供した教材が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が提供した教材が理解の助けになった場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
 一方、教材が理解の助けにならなかった場合、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は5割前後となっています。このことから、教員が提供する教材がわかりやすいかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。

- 7-2-5では、授業における教員の説明が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。授業における教員の説明がわかりやすい場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、教員の説明がわかりにくかった場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は4～5割となっています。このことから、授業における教員の説明がわかりやすいかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 7-2-6では、課題や小テスト等が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。課題や小テスト等によって理解の定着を図る工夫を行った場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、課題や小テスト等で学生の理解の定着を図る工夫を行っていない場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は6割程度となっています。このことから、教員が課題や小テスト等によって学生の理解の定着を図る工夫を行うかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 7-2-7では、教員の積極的な対話・フィードバックが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行った場合、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、そうでない場合には、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は7割前後となっています。このことから、教員が学生との対話や、課題・質問・コメントへのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行うかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 7-2-8では、授業ごとの単元の整理が、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されている場合には、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、そうでない場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が5割未満となっています。このことから、1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されているかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。
- 7-2-9では、毎回の授業内容の関連付けが、学生の授業到達目標達成度や満足度に与える影響について検討しました。教員が毎回の授業を関連付けて授業を進めた場合、9割以上の学生が授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方、そうでない場合は、授業到達目標を達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が4～5割となっています。このことから、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を進めるかどうか、学生の授業到達目標達成度や満足度に大きく影響すると考えられます。

以上の通り、授業の実施形態に対する学生の反応について検証を行いました。授業(配信)の長さや課題の量の適切さ、あるいは、学生が予復習にかけ時間が、大きく授業評価に影響することがわかりました。

また、学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証では、授業前の明確な指示や説明、スムーズな授業の進行、あるいは説明のわかりやすさ等が学生の達成度や満足度に大きく影響を与えていることが示されました。これらの結果をもとに、教員の授業運営を検討する必要があると思われます。

【8. 考察(2)本学学士課程学生の授業外学修時間の現状(後期)】

ここでは、授業外学修時間の現状分析を行いました。

- 本学の令和3年度後期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間は、学修無しが3.2%、60分未満の学修ありが76.4%、60分以上の学修ありが20.4%という結果になっています。
- 所属学部(8-2)、学科・専攻別(8-3)に分布をみると、ほぼ全ての集計区分で60分未満の学修ありと回答した割合がもっとも多い結果となっています。中国文学科、法律専門職専攻、政治専攻では、60分以上の学修ありが25%を超えています。一方、健康体育学科において「学修無し」の割合が13.5%と、他と比べて高くなっています。
- 学年×所属学部(8-4)、学年×所属学科・専攻別(8-5)に分布をみると、健康体育学科1年生において、学修無しの割合が2割近くとなっており、他と比べて学修時間が少ない傾向となっています。

【9. 自由記述設問の検討(後期)】

ここでは、学生のコメント分析を行いました。

- 9-1では、Q19「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等から分析しています。「分かりやすい説明で理解が深まった」「自分で考えたり調べたりする機会が増えた」「提出した課題に毎回フィードバックしてくれた」「社会に役立つ知識が身に付いた」といった意見が多く挙げられています。その他にも、「一年間(半年間)、ありがとうございました」といった感謝の言葉もありました。
- 9-2では、Q19「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として、「授業内容」「課題」「実施形態」「教員」の4項目について挙げています。授業内容については、「前期に比べて発表や質問の時間がしっかり取られていてよかった」「課題提出後のフィードバックやグループワークにより他の人の考え方が分かり有意義だった」など、教員と学生あるいは学生間の双方向の授業が満足度につながっていることがわかります。課題については、「提出期間が長かったので、ゆとりを持って取り組むことができた」「考えさせる内容の課題が多く、大変だが面白かった」など、知識の定着や思考力に結び付く課題の出し方を評価する意見がありました。実施形態については、「講義動画とフィードバックやコメントに関する動画が別々に配信されていて分かりやすかった」などの意見がありました。教員については「早い段階で全員の名前を覚え、生徒一人ひとりに的確な指示、アドバイスができていた」などの意見が挙げられています。
- 9-3では、Q20「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等から分析しています。「授業や動画の時間をもう少し短くしてほしいと思う」「授業前に資料やレジュメを配布してほしい」「課題提出までの期限が短く、分量も多い」「シラバスに書いてある通りに授業が進められなかった」「対面授業ではオンライン授業でできないようなことをしてほしい」などの意見が多く挙げられています。
- 9-4では、Q20「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として「教員」「授業内容」「課題」「実施形態」の4項目について挙げています。教員については、「前期と全く同じ内容の授業を行っていた」「長い授業時間に内容が見合っておらず、雑談や脱線をなくして、もっと短く、簡潔に伝えてほしかった」など、授業内容の質が授業時間に見合っていない不満などが述べられました。授業内容については、「対面授業なのにオンデマンド教材を見ながら授業を進めたり、オンライン授業と変わらなかった」「授業動画が毎回消去されてしまったが、復習のために残してほしい」等の意見がありました。課題については、「提出期限の表記について、例えば0:00ではなく23:59とすると日にちを間違えにくくなると思う」など、提出期限の設定や表記について配慮を求める意見がみられました。実施形態については、「先生が一方向的にしゃべるだけの授業なら対面ではなくオンライン形式でよい」などの意見がみられました。

以上の結果について、より詳細な検討が必要ではありますが、授業内容や実施形態に関するコメントからは、対面授業が増えてくる中で、対面・遠隔それぞれの利点を活かした授業運営をしていくことが学生の満足度向上に欠かせないと思われます。

今年度、前期および後期を通して、Q17.到達目標の達成度、及び Q18.満足度については、全体として9割以上の学生が肯定的な評価をしています。学部別では、神道文化学部と人間開発学部の満足度が、他学部よりやや高い傾向を示しました。また、Q16.予習・復習・課題の取り組みと Q17.到達目標の達成度の関係については、学修時間が180分以上～300分の否定回答割合が、前期の24.5%から後期は14.2%に改善しており、授業評価を低下させるような過度な負担感は軽減してきているようです。また、授業（配信）時間や課題の量の適切さ、および予復習・課題に対する学生の姿勢等は、目標達成度や授業満足度に大きく影響を与えていることが示唆されました。これらの結果をもとに、授業運営の方法やカリキュラム内容に関して検討が必要と思われます。

最後に、令和3年度学生による授業評価アンケートへご協力いただいた先生方、そして真摯に回答してくださった学生の皆さんに心より御礼申し上げます。

以上

資料編

前期集計データ

● 学年

学年	回答件数	%
1年生	12,289	51.7%
2年生	5,717	24.0%
3年生	4,291	18.0%
4年生	1,492	6.3%
合計	23,789	100.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%
文学部	8,639	36.4%
法学部	4,448	18.8%
経済学部	4,610	19.5%
神道文化学部	2,360	10.0%
人間開発学部	3,644	15.4%
合計	23,701	100.0%

● 所属学科

学年	回答件数	%
日本文学科	3,364	14.2%
中国文学科	581	2.5%
外国語文化学科	1,274	5.4%
史学科	2,856	12.1%
哲学科	564	2.4%
法律専攻	3,630	15.3%
法律専門職専攻	413	1.7%
政治専攻	405	1.7%
経済学科	2,261	9.5%
経済ネットワーク学科	337	1.4%
経営学科	2,012	8.5%
神道文化学科	2,360	10.0%
初等教育学科	1,311	5.5%
健康体育学科	1,463	6.2%
子ども支援学科	870	3.7%
合計	23,701	100.0%

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	18.7%	5.2%	12.6%	5.6%	50.6%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		5.1%	2.1%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.2%	48.0%	3.9%	0.9%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.3%	50.1%	7.4%	1.2%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.5%	49.5%	5.1%	0.9%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.8%	45.7%	5.1%	1.4%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.2%	43.8%	5.6%	1.5%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.1%	45.8%	6.3%	1.8%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.5%	47.6%	5.5%	1.4%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.6%	44.5%	11.2%	2.7%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.5%	0.6%	1.1%	2.3%	4.5%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		5.8%	12.6%	21.7%	40.6%	8.3%

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		3.8%	18.9%	73.7%	1.5%	0.3%
		講義・配信なし				
		1.9%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		3.8%	13.3%	80.0%	2.4%	0.5%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.3%	53.7%	4.2%	0.8%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.1%	52.5%	3.7%	0.7%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.3%	50.1%	6.8%	1.9%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.9%	5.0%	9.8%	17.8%	22.3%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.3%	10.0%	9.5%	3.4%	3.4%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		1.9%	1.1%	0.8%	0.7%	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		27.5%	62.9%	8.3%	1.3%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.2%	48.2%	5.4%	2.2%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	20.5%	4.7%	14.7%	4.1%	49.0%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		4.0%	3.1%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.9%	47.4%	3.9%	0.9%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.4%	50.2%	5.5%	0.9%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.5%	49.6%	5.0%	1.0%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.5%	45.6%	4.8%	1.1%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		50.5%	43.0%	5.1%	1.4%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.5%	45.2%	5.8%	1.5%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.9%	47.3%	6.3%	1.5%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.3%	42.5%	12.5%	2.7%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.9%	0.3%	0.8%	1.9%	3.7%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		4.6%	12.2%	23.2%	42.6%	7.9%

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		2.6%	15.8%	77.5%	1.5%	0.3%
		講義・配信なし				
		2.3%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		2.6%	10.7%	83.5%	2.8%	0.5%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.6%	52.3%	4.4%	0.7%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.9%	51.6%	3.9%	0.6%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.8%	48.8%	6.8%	1.7%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.4%	4.4%	9.7%	18.4%	22.7%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.3%	10.0%	9.1%	3.4%	3.6%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		24.5%	65.4%	8.9%	1.2%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.9%	47.9%	5.0%	2.2%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	15.8%	2.7%	8.7%	6.5%	59.7%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		4.9%	1.6%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.6%	45.6%	4.0%	0.7%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.3%	46.0%	5.8%	0.9%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.3%	46.5%	4.4%	0.8%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.4%	45.1%	4.1%	1.4%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.8%	43.1%	5.7%	1.4%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.5%	44.8%	5.8%	1.9%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.5%	44.4%	4.6%	1.5%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.9%	43.8%	10.5%	2.8%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.4%	0.4%	0.8%	2.6%	6.9%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		8.2%	16.1%	19.7%	32.1%	10.9%

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		4.6%	17.9%	74.0%	1.5%	0.2%
		講義・配信なし				
		1.7%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.0%	14.2%	78.5%	2.8%	0.6%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.0%	51.4%	3.6%	1.0%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.6%	50.3%	3.4%	0.7%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.8%	48.9%	6.4%	1.9%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.7%	3.4%	9.1%	17.1%	22.7%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		11.3%	11.5%	10.0%	3.6%	3.5%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		30.6%	60.3%	7.6%	1.5%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.2%	46.6%	5.9%	2.3%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	17.5%	9.4%	8.2%	9.1%	49.4%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		4.7%	1.7%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.6%	50.3%	3.9%	1.1%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.8%	51.0%	10.6%	2.7%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.6%	51.4%	5.7%	1.3%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.2%	46.4%	6.1%	2.3%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.1%	45.6%	6.5%	1.9%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.7%	47.8%	7.2%	2.3%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.3%	50.0%	4.6%	1.2%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.2%	47.8%	10.7%	3.3%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.7%	0.9%	1.5%	3.2%	6.5%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		6.9%	13.1%	18.2%	39.4%	8.6%

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		5.2%	24.1%	68.0%	1.1%	0.4%
		講義・配信なし				
		1.2%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		5.0%	15.5%	77.0%	2.3%	0.2%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.8%	57.7%	4.3%	1.3%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.9%	56.5%	3.6%	1.0%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.7%	53.7%	7.9%	2.6%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.8%	7.4%	13.1%	21.4%	23.7%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		8.5%	7.4%	7.5%	2.1%	1.8%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		1.2%	0.8%	0.5%	0.8%	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		27.9%	61.8%	8.7%	1.6%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.1%	50.7%	6.3%	2.8%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	14.3%	3.3%	12.7%	5.6%	60.4%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		2.7%	1.0%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.9%	50.5%	3.9%	0.7%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.5%	52.6%	4.9%	1.0%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.1%	50.3%	4.1%	0.5%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.9%	45.3%	4.4%	1.3%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		50.2%	42.8%	5.7%	1.3%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.1%	46.0%	6.4%	1.5%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.2%	49.4%	5.1%	1.3%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.8%	45.2%	10.1%	1.9%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.6%	0.3%	0.7%	1.5%	2.2%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		3.8%	11.9%	26.8%	44.6%	6.4%

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		3.3%	20.1%	73.8%	1.6%	0.0%
		講義・配信なし				
		1.1%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		3.4%	12.4%	81.9%	1.7%	0.6%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.2%	54.8%	4.2%	0.8%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.1%	52.3%	3.1%	0.6%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.4%	49.1%	6.5%	2.1%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.1%	4.0%	9.2%	18.1%	21.3%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		12.2%	9.9%	10.7%	4.1%	3.9%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		1.9%	1.0%	0.2%	0.5%	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		27.0%	60.1%	10.7%	2.1%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.9%	48.1%	5.3%	1.7%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	22.0%	4.8%	17.8%	4.2%	38.9%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		10.5%	1.8%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.0%	48.1%	4.1%	0.8%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.2%	52.6%	11.5%	0.8%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.1%	50.9%	6.0%	1.0%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.3%	46.1%	6.5%	1.2%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.0%	45.1%	5.5%	1.4%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.1%	45.8%	7.3%	1.8%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.2%	48.5%	6.1%	1.1%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.2%	45.6%	10.8%	2.4%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.7%	1.3%	2.3%	2.2%	2.5%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		5.7%	9.5%	21.5%	44.5%	6.9%

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		4.1%	20.4%	70.9%	1.5%	0.6%
		講義・配信なし				
		2.4%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		5.4%	16.6%	76.2%	1.4%	0.4%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.5%	54.7%	4.3%	0.6%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.3%	53.0%	4.1%	0.5%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.5%	51.1%	6.1%	1.3%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		7.0%	5.8%	7.2%	13.0%	19.8%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.4%	11.8%	11.6%	4.1%	4.3%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		2.1%	1.1%	1.0%	0.7%	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		30.3%	63.4%	5.7%	0.5%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.7%	48.3%	4.6%	1.4%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

後期集計データ

● 学年

学年	回答件数	%
1年生	6,309	47.3%
2年生	3,682	27.6%
3年生	2,363	17.7%
4年生	978	7.3%
合計	13,332	100.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%
文学部	5,425	40.8%
法学部	2,542	19.1%
経済学部	1,846	13.9%
神道文化学部	1,537	11.6%
人間開発学部	1,944	14.6%
合計	13,294	100.0%

● 所属学科

学年	回答件数	%
日本文学科	2,046	15.4%
中国文学科	333	2.5%
外国語文化学科	750	5.6%
史学科	1,952	14.7%
哲学科	344	2.6%
法律専攻	2,058	15.5%
法律専門職専攻	198	1.5%
政治専攻	286	2.2%
経済学科	952	7.2%
経済ネットワーク学科	181	1.4%
経営学科	713	5.4%
神道文化学科	1,537	11.6%
初等教育学科	782	5.9%
健康体育学科	690	5.2%
子ども支援学科	472	3.6%
合計	13,294	100.0%

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	30.7%	3.0%	3.5%	3.3%	52.8%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		5.2%	1.6%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.4%	47.3%	3.7%	0.6%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.9%	49.5%	5.4%	1.3%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.9%	48.9%	4.4%	0.8%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.1%	45.8%	4.8%	1.3%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.9%	43.2%	5.5%	1.5%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.8%	45.8%	5.8%	1.7%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.4%	47.5%	5.0%	1.1%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.5%	44.7%	10.0%	2.8%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.3%	0.3%	1.0%	2.3%	4.9%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		6.1%	12.4%	21.1%	40.1%	9.6%

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		3.8%	16.7%	76.0%	1.4%	0.3%
		講義・配信なし				
		1.7%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		3.2%	12.4%	81.8%	2.2%	0.4%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.5%	53.0%	3.8%	0.8%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.1%	50.9%	3.4%	0.7%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.9%	48.6%	6.5%	2.0%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.2%	4.5%	9.5%	18.6%	22.6%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.2%	10.9%	9.6%	3.7%	3.2%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		1.6%	0.8%	0.6%	0.9%	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		27.7%	63.2%	7.9%	1.2%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.7%	47.4%	5.6%	2.3%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	33.1%	4.2%	5.2%	2.3%	47.8%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		5.1%	2.1%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		50.2%	46.0%	3.3%	0.5%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.1%	47.6%	5.0%	1.3%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.9%	47.4%	4.0%	0.7%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		50.0%	44.5%	4.6%	0.9%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		50.9%	42.9%	5.0%	1.2%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.4%	45.0%	5.2%	1.4%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.7%	47.3%	4.9%	1.0%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.6%	43.0%	10.7%	2.7%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.2%	0.3%	1.0%	2.0%	4.3%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		4.8%	11.0%	20.7%	44.5%	9.3%

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		2.3%	14.8%	79.4%	1.4%	0.3%
		講義・配信なし				
		1.8%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		1.7%	10.5%	85.3%	2.0%	0.5%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.9%	52.0%	3.5%	0.6%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.0%	49.1%	3.4%	0.5%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.5%	47.3%	6.5%	1.7%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.8%	4.8%	9.6%	18.8%	21.9%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.2%	11.3%	9.5%	3.9%	3.3%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		25.9%	64.8%	8.4%	0.9%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.1%	46.7%	5.1%	2.1%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	23.1%	3.1%	0.7%	3.8%	63.1%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		5.1%	1.1%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.7%	48.6%	3.8%	0.9%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.3%	50.6%	4.2%	0.9%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.2%	49.6%	4.4%	0.8%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.8%	47.5%	4.7%	2.0%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.0%	44.0%	5.6%	1.4%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.0%	47.1%	5.8%	2.1%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.3%	45.3%	5.4%	1.0%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.2%	46.9%	9.2%	2.6%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.2%	0.5%	1.1%	2.7%	6.9%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		9.1%	15.4%	18.8%	30.9%	13.4%

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		5.1%	17.6%	74.7%	1.3%	0.4%
		講義・配信なし				
		0.9%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.2%	13.3%	79.0%	2.6%	0.9%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.6%	52.6%	4.0%	0.8%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.5%	51.4%	3.5%	0.6%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.2%	50.8%	6.9%	2.2%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.5%	3.3%	8.7%	18.7%	22.8%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		11.3%	11.4%	9.7%	4.1%	3.5%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		2.1%	1.0%	1.0%	0.9%	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		29.0%	62.7%	7.0%	1.3%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.4%	48.2%	5.9%	2.6%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	21.7%	1.4%	1.6%	3.3%	64.7%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		5.7%	1.7%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.5%	48.4%	3.1%	0.9%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.9%	48.3%	4.1%	1.7%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.3%	48.5%	4.1%	1.2%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.1%	44.6%	4.8%	1.5%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.7%	43.1%	5.4%	1.8%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.5%	46.2%	5.4%	1.8%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.4%	46.2%	4.1%	1.3%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.3%	46.3%	9.6%	2.8%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.4%	0.2%	0.7%	2.7%	6.0%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		10.1%	15.9%	23.6%	30.3%	9.2%

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		5.5%	17.7%	73.7%	1.7%	0.4%
		講義・配信なし				
		0.9%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.5%	13.6%	79.3%	2.6%	0.1%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.1%	52.4%	3.4%	1.1%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.5%	51.8%	2.8%	0.9%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.5%	47.6%	6.1%	2.9%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.6%	4.4%	10.2%	21.0%	25.0%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.9%	8.7%	8.7%	2.4%	3.0%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		31.2%	59.2%	7.7%	1.8%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.8%	46.7%	6.4%	3.1%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	28.1%	1.7%	3.1%	5.3%	59.3%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		2.0%	0.6%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.7%	50.3%	3.6%	0.4%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.2%	50.6%	6.3%	1.0%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.7%	52.6%	4.4%	0.3%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.3%	48.4%	5.2%	1.0%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.0%	44.4%	5.7%	1.0%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.7%	46.9%	7.3%	1.1%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.4%	51.2%	5.5%	0.9%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.1%	45.6%	9.4%	1.9%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.7%	0.1%	0.5%	2.9%	4.2%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		4.2%	12.1%	23.0%	43.1%	8.2%

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		5.5%	18.8%	72.9%	1.3%	0.3%
		講義・配信なし				
		1.2%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		3.0%	11.6%	82.5%	2.5%	0.4%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.3%	57.9%	4.2%	0.7%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.9%	55.6%	2.9%	0.6%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.6%	49.3%	7.5%	1.7%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.0%	4.0%	10.6%	18.8%	25.2%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		9.5%	10.9%	10.4%	3.9%	1.6%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		1.1%	0.3%	0.1%	0.5%	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		26.1%	62.7%	9.9%	1.4%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.0%	50.2%	5.3%	1.5%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔同時実施 (ハイブリッド授業)	主に対面・一部遠隔 (ブレンド授業)	遠隔:ライブ (リアルタイム)	遠隔:オンデマンド (動画配信)
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	43.8%	1.7%	4.0%	4.2%	37.1%
		遠隔:ライブ・オンデマンド併用	Web上での資料配布・課題提出のみ			
		7.5%	1.6%			
Q2	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		48.9%	45.2%	5.2%	0.7%	
Q3	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.0%	53.0%	8.3%	1.6%	
Q4	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.7%	49.0%	6.2%	1.2%	
Q5	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.1%	46.1%	5.3%	1.4%	
Q6	教員が提供した教材(スライド・レジュメなど)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.2%	41.6%	6.7%	2.5%	
Q7	授業における教員の説明はわかりやすかったですか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.6%	44.5%	6.8%	2.1%	
Q8	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.3%	48.8%	5.2%	1.6%	
Q9	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.4%	43.5%	10.4%	3.6%	
Q10	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	講義・配信 なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		5.1%	0.2%	1.2%	1.7%	3.4%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		3.8%	9.4%	21.1%	47.0%	6.9%

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		3.5%	18.8%	72.6%	1.4%	0.2%
		講義・配信なし				
		0.9%				
Q12	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.7%	16.0%	77.7%	1.4%	0.1%
Q13	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.1%	52.5%	4.4%	1.0%	
Q14	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.7%	50.3%	4.1%	0.9%	
Q15	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.0%	49.2%	5.9%	2.0%	
Q16	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		8.2%	6.0%	9.2%	15.6%	20.5%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		8.7%	11.3%	9.9%	3.4%	3.8%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
Q17	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		29.2%	63.3%	6.2%	1.3%	
Q18	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.5%	46.5%	5.9%	2.1%	
Q19	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q20	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

令和3（2021）年度 教育開発センター委員

〔委員長〕	教育開発センター長	石川 則夫
〔委 員〕	副センター長	
	・教育開発推進機構事務課次長	原田 佳昌
	教務部長	山田 佳弘
	文学部准教授	スピーアーズ・スコット
	法学部教授	藤嶋 亮
	経済学部教授	大西 祥恵
	神道文化学部助教	柏木 亨介
	人間開発学部教授	坂本 正徳
	教育開発推進機構准教授	新井 大祐
	教育開発推進機構准教授	小濱 歩
	教学事務部長	仙北谷 穂高
〔幹 事〕	教育開発推進機構事務課書記補	富永 萌香

＊職名は当時のもの

令和3（2021）年度 学生による授業評価アンケート分析報告書

編集・発行 國學院大學 教育開発推進機構
教育開発センター
分析・執筆 株式会社 グループワークス

刊行年月日 令和4年12月1日